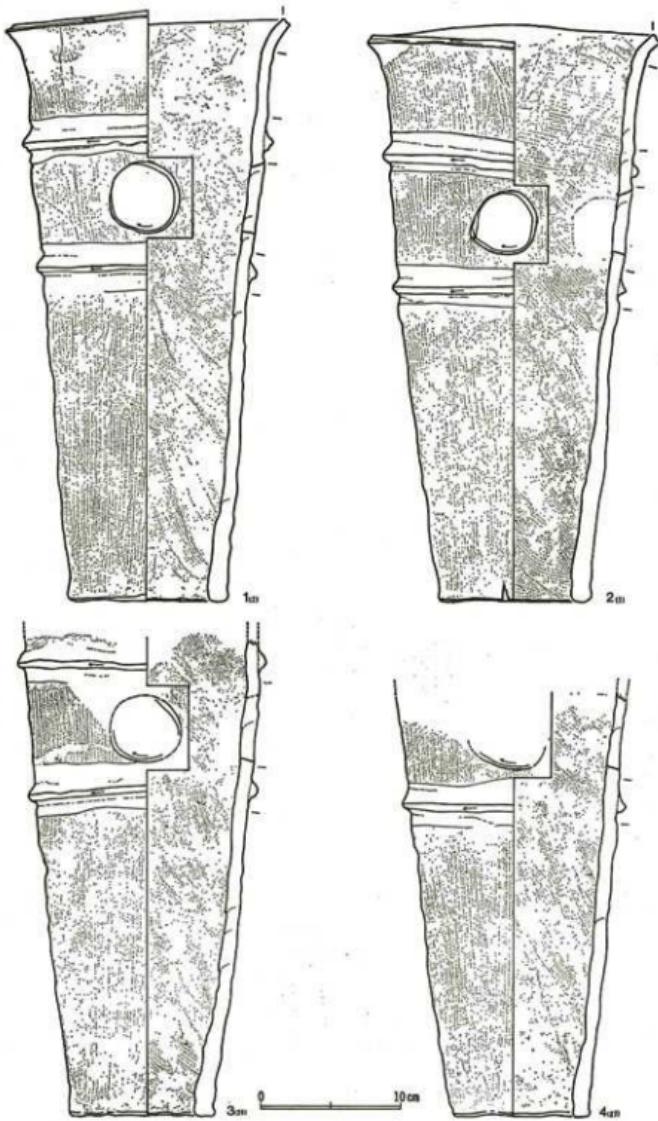
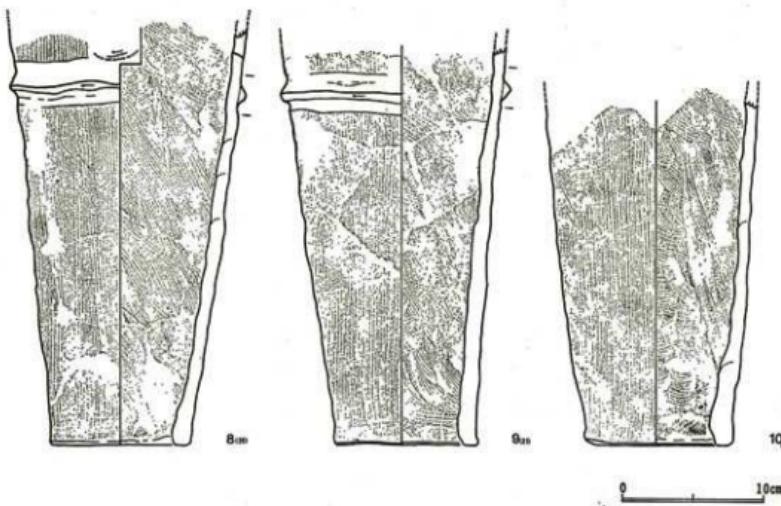
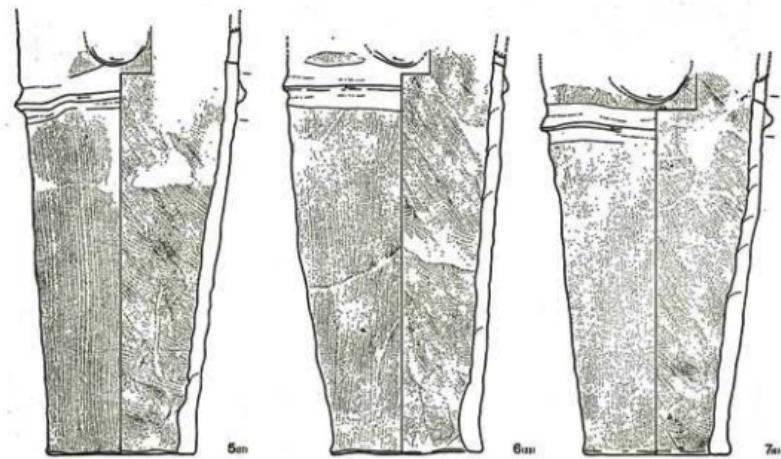


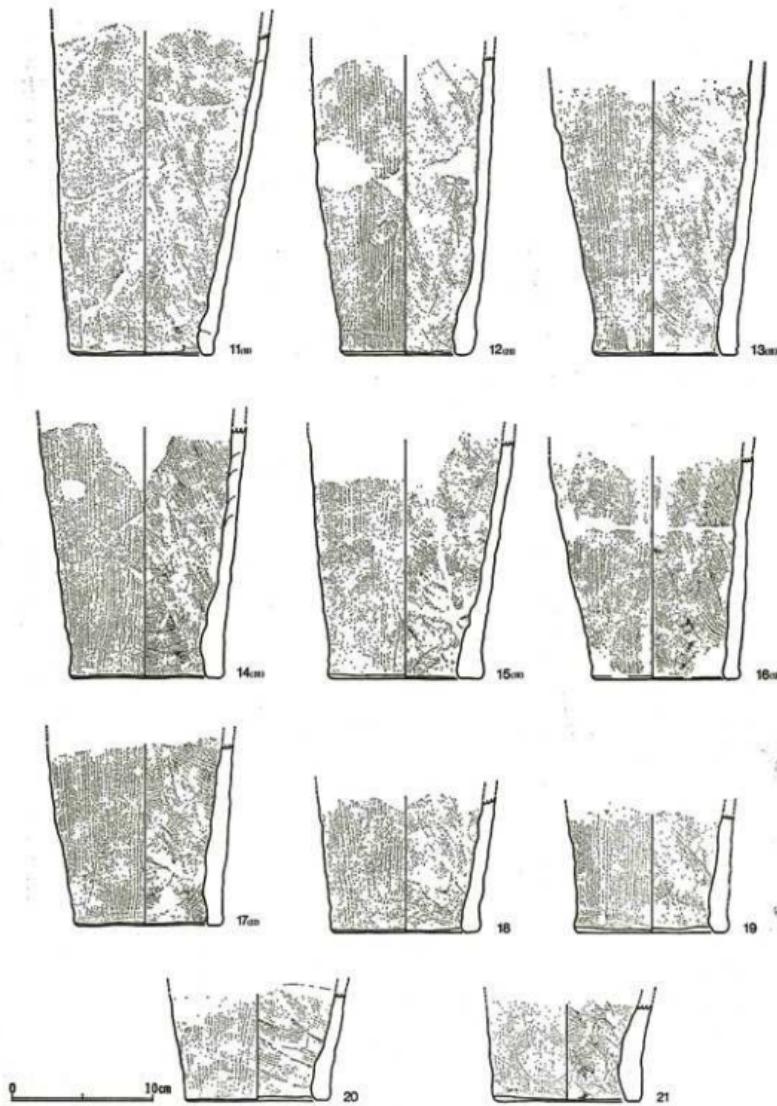
第34図 三ヶ尻林遺跡 4号填石室内遺物分布図



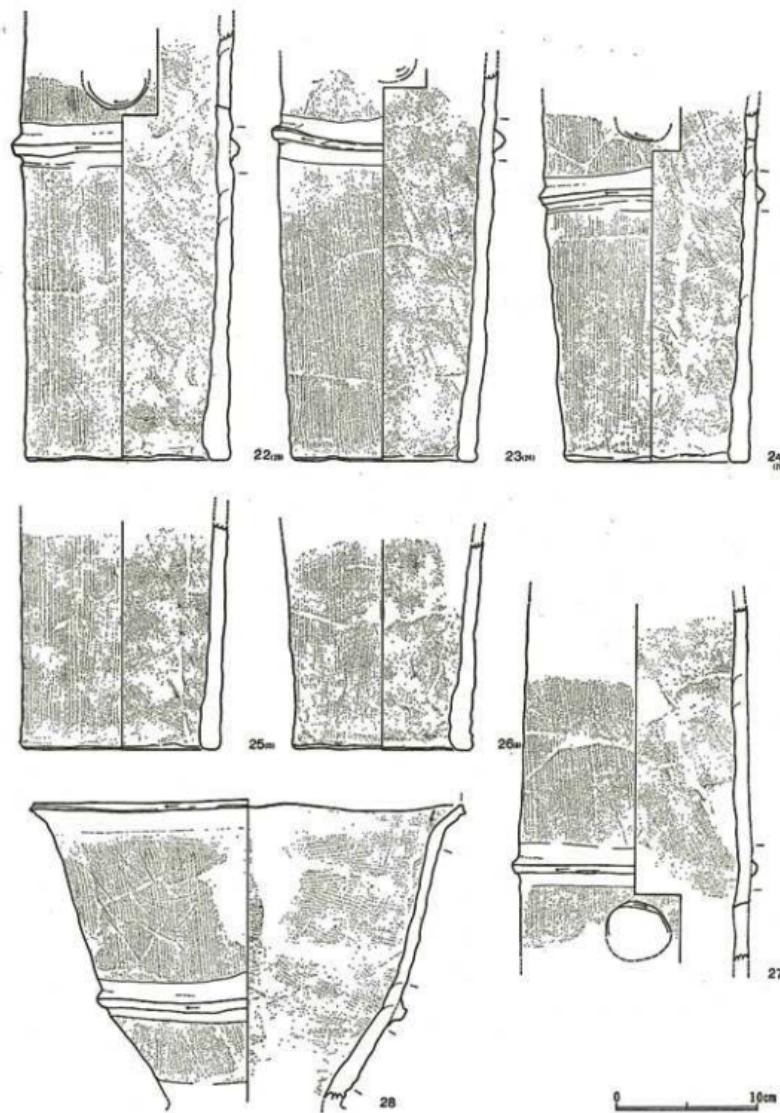
第55図 三ヶ尻林遺跡 4号墳出土埴輪 (1)



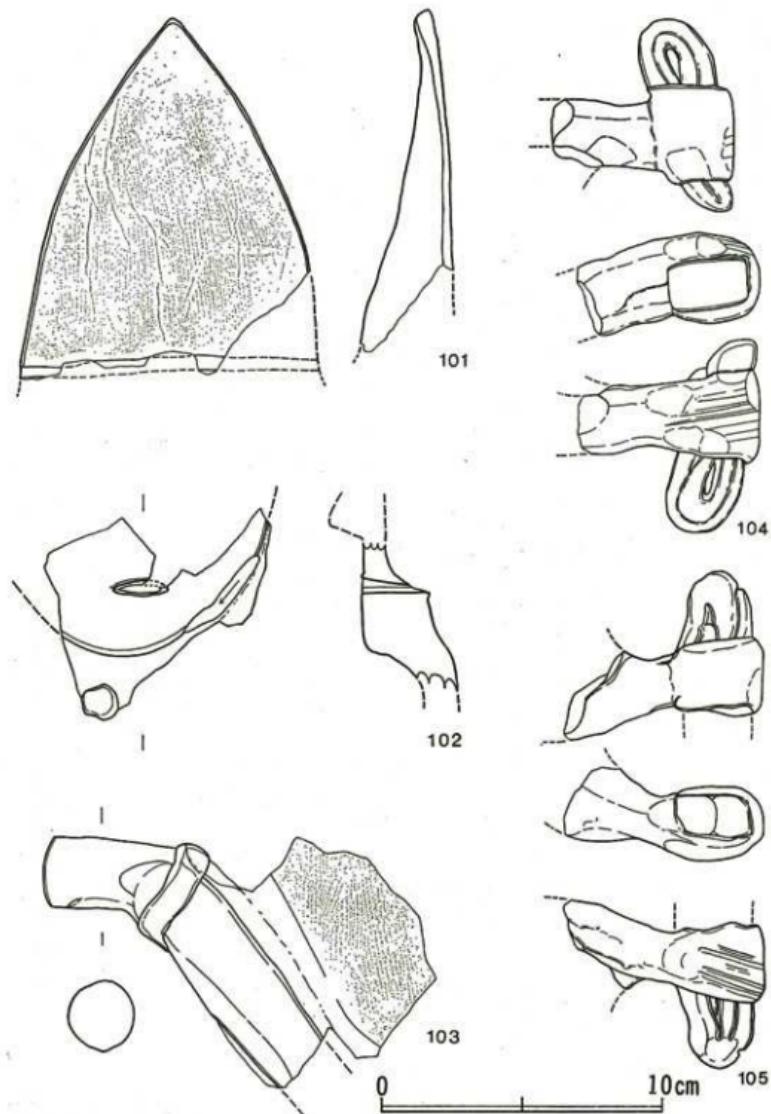
第56図 三ヶ尻林遺跡 4号墳出土埴輪 (2)



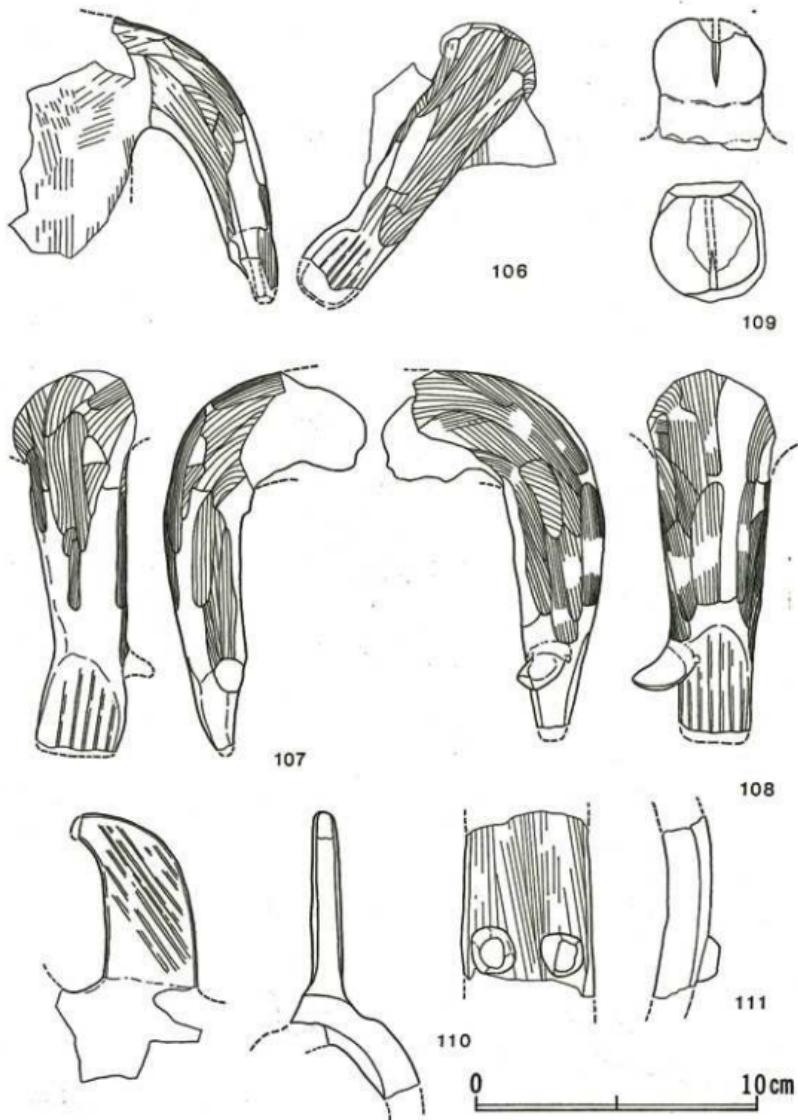
第57図 三ヶ尻林遺跡 4号墳出土埴輪 (3)



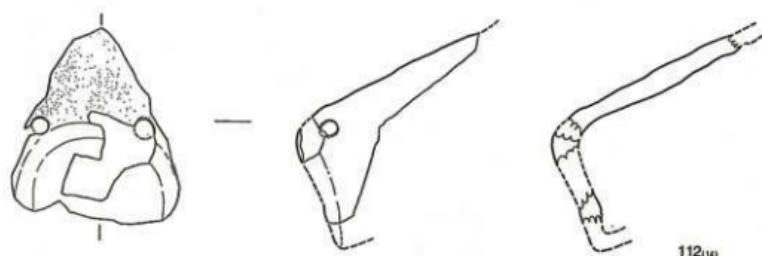
第58図 三ヶ尻林遺跡 4号墳出土埴輪(4)



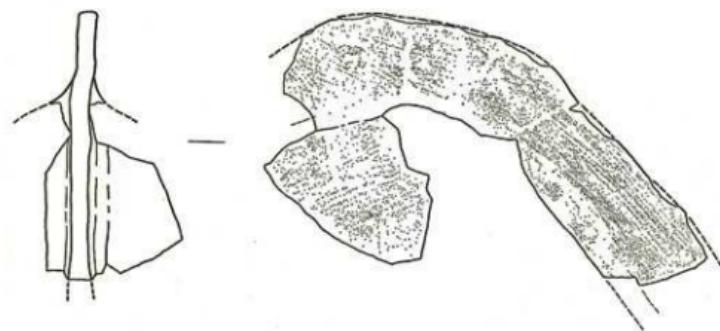
第59圖 三ヶ尻林遺跡4号墳出土埴輪(5)



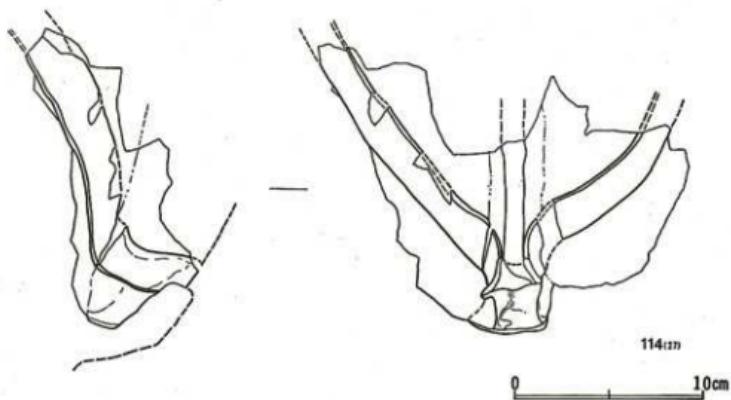
第60圖 三ヶ尻林遺跡4号墳出土埴輪(6)



112(a)



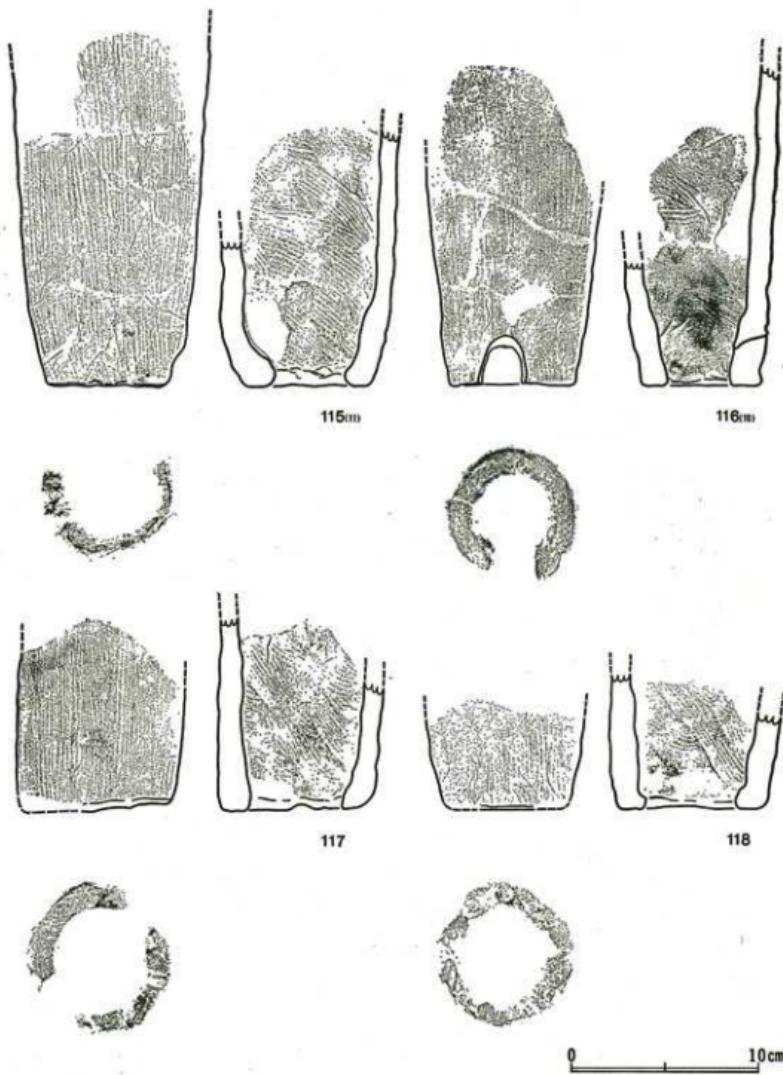
113



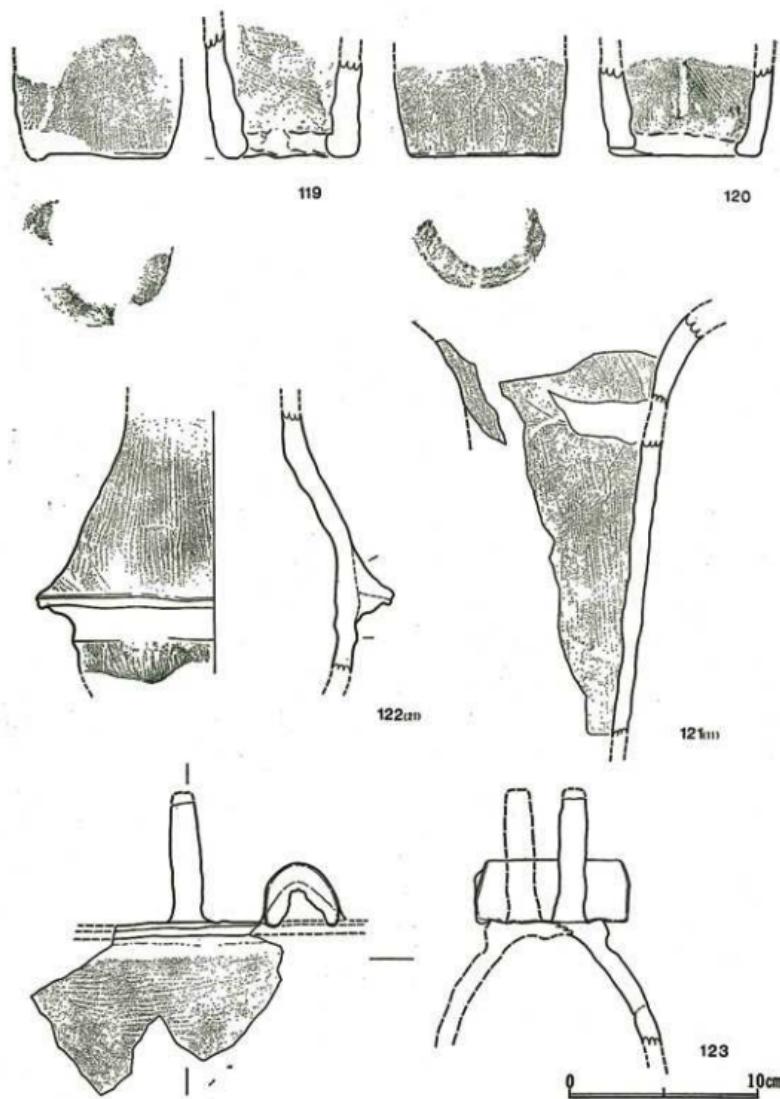
114(b)



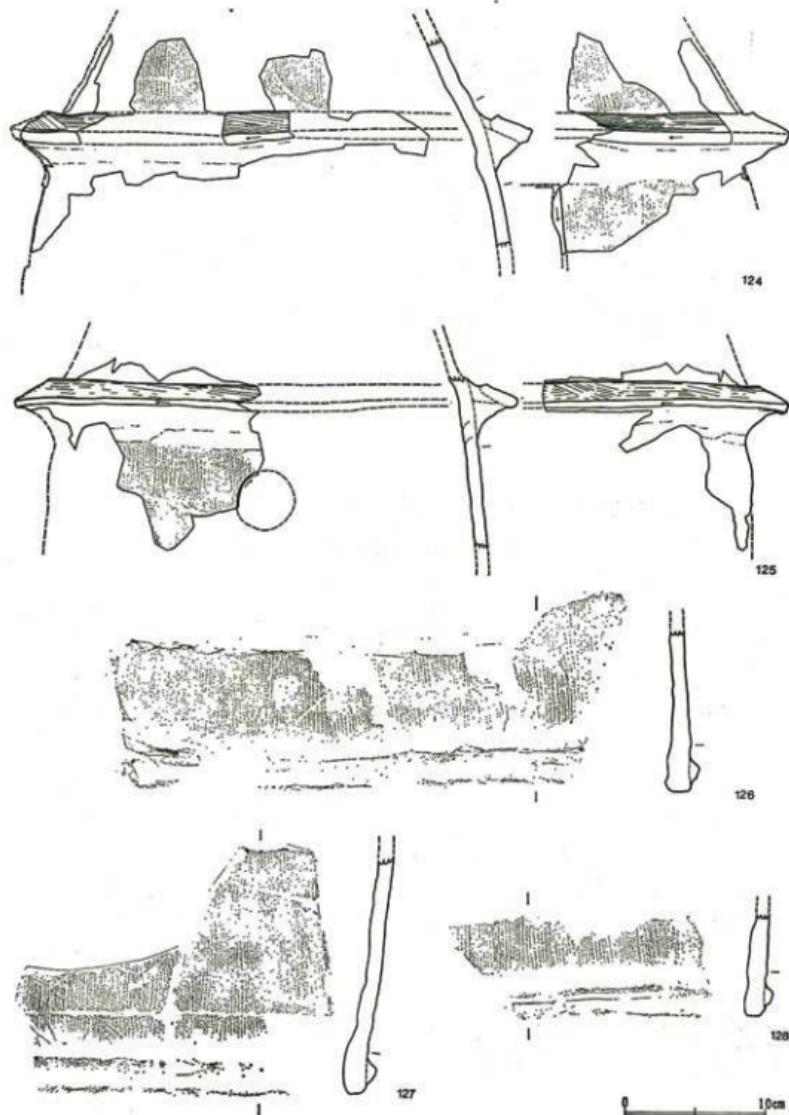
第61図 三ヶ尻林遺跡 4号墳出土埴輪 (?)



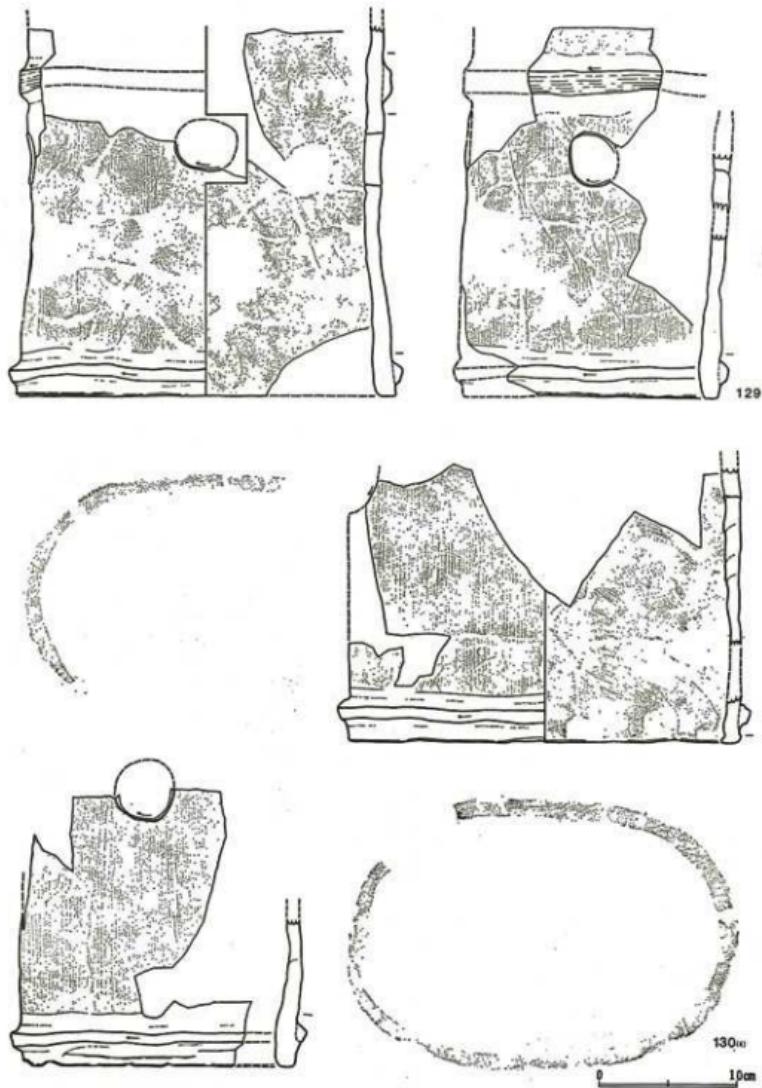
第62図 三ヶ尻林遺跡 4号出境土埴輪 (8)



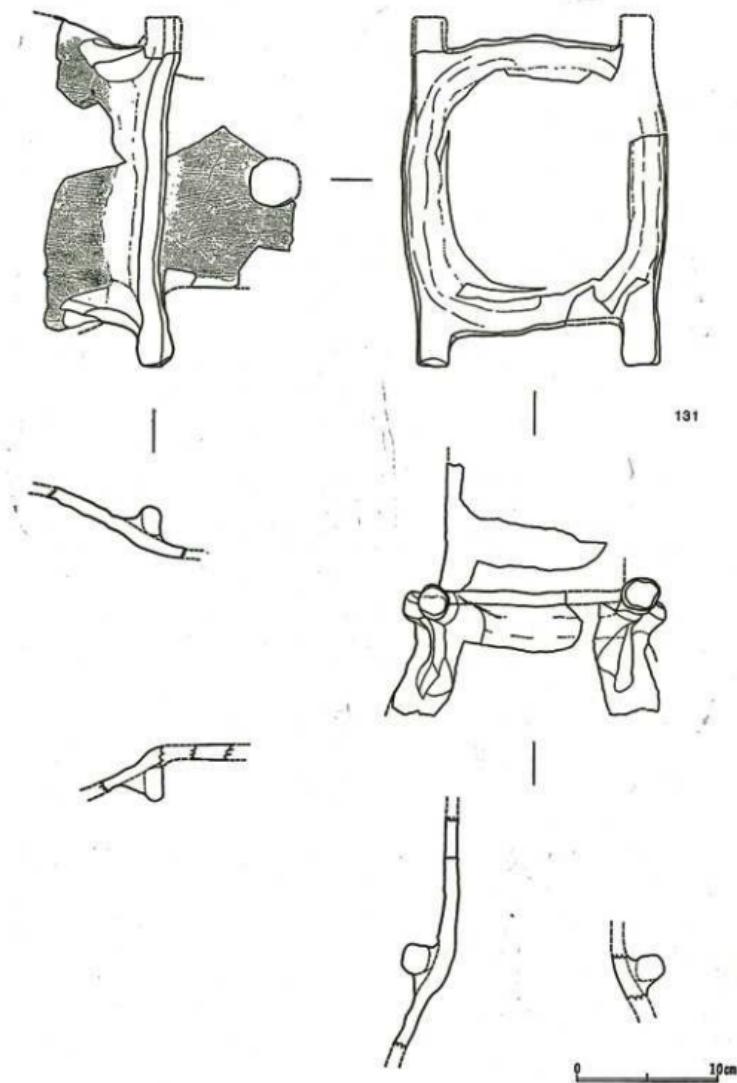
第63図 三ヶ尻林遺跡 4号墳出土埴輪 (9)



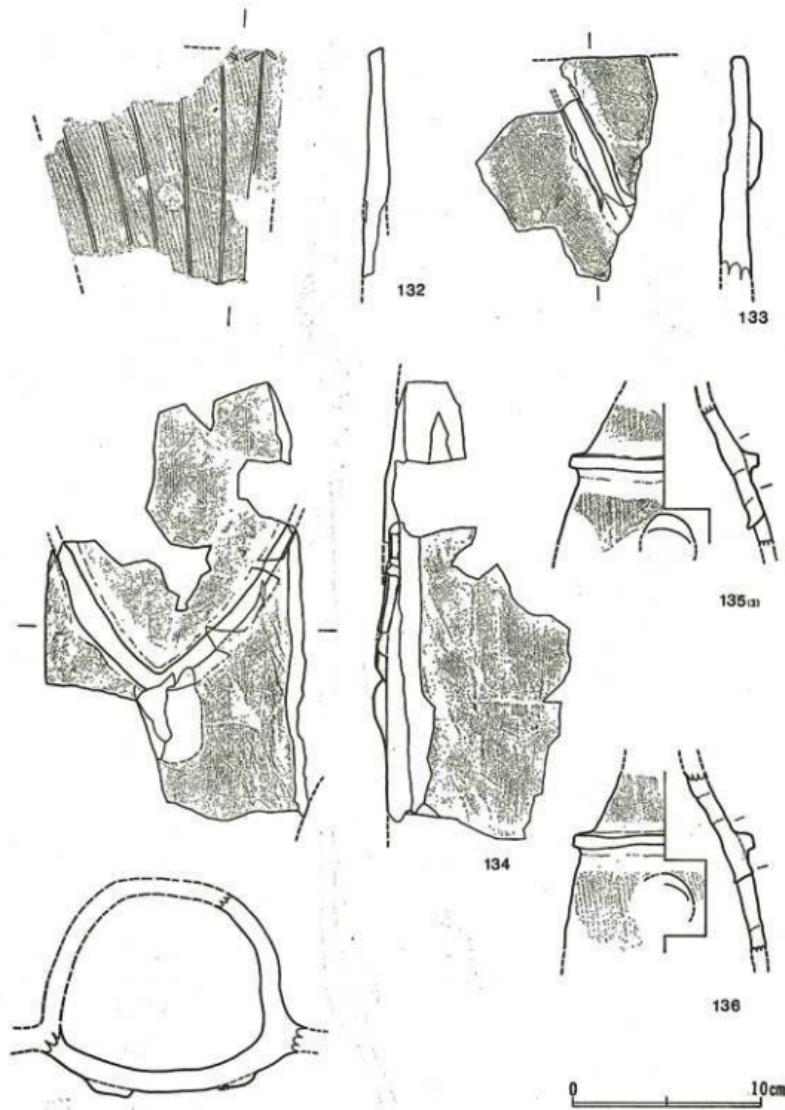
第64図 三ヶ尻林遺跡 4号墳出土埴輪(4)



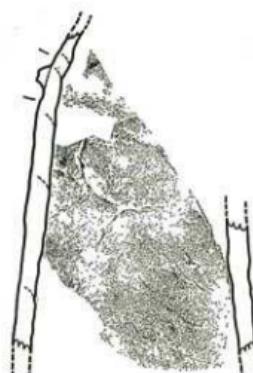
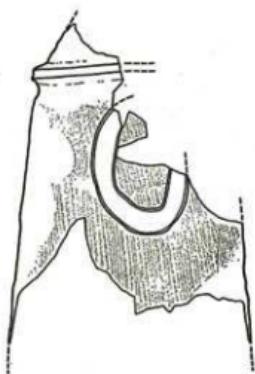
第65図 三ヶ尻林遺跡4号墳出土埴輪 (1)



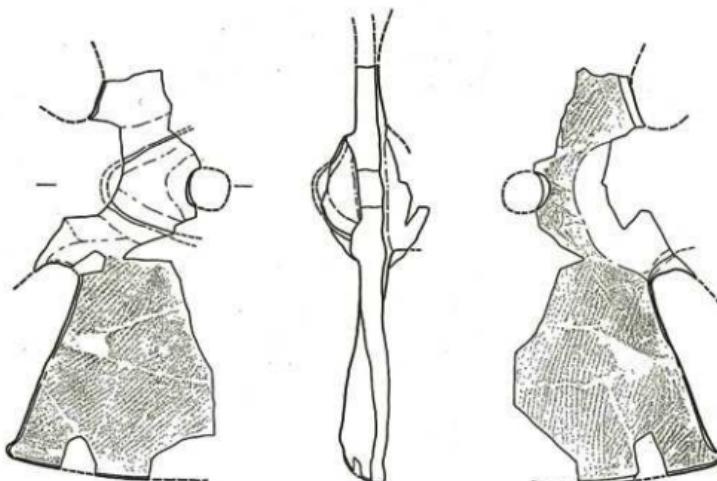
第66図 三ヶ尻林遺跡 4号墳出土埴輪 (3)



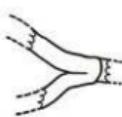
第67圖 三ヶ尻林遺跡4号墳出土埴輪 (3)



137

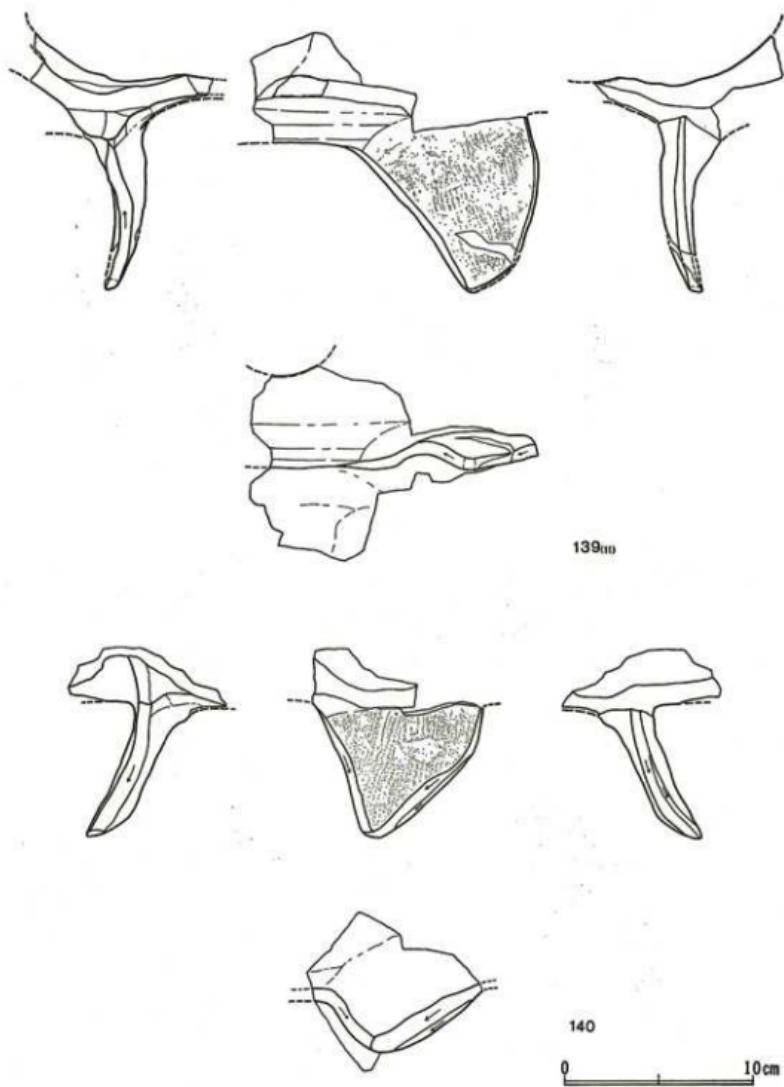


138cm

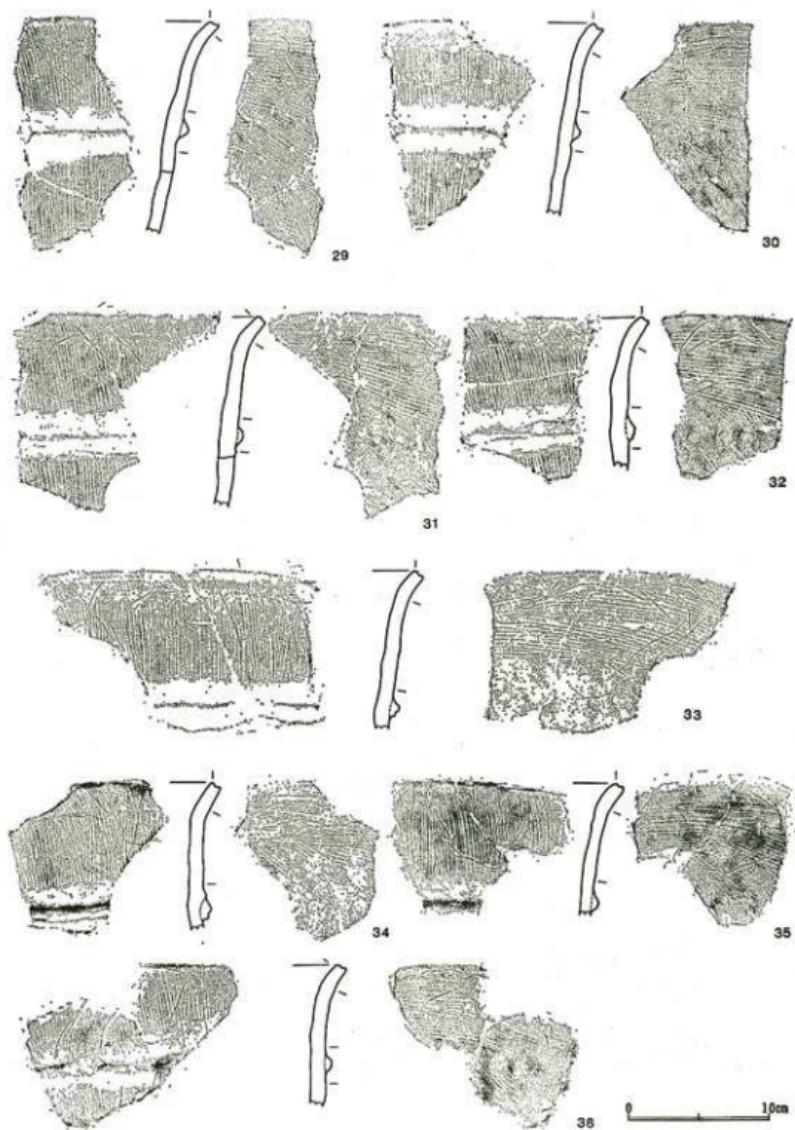


0 10 cm

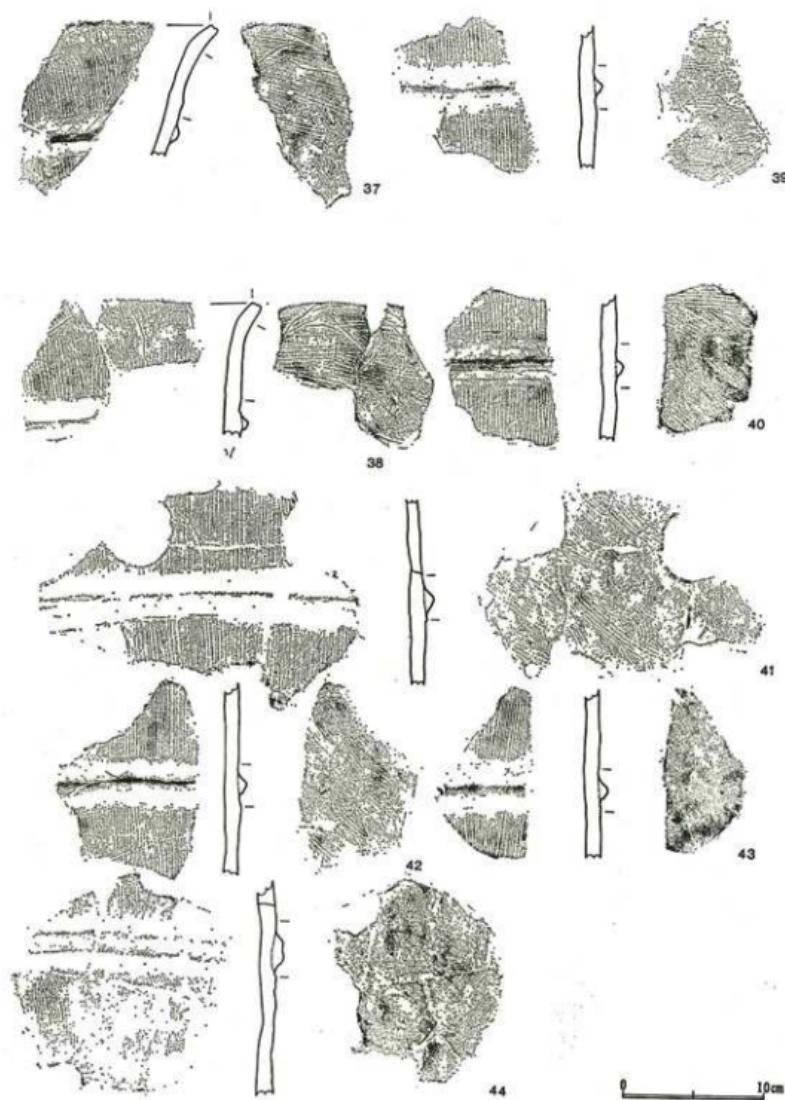
第68図 三ヶ尻林遺跡 4号墳出土埴輪 04



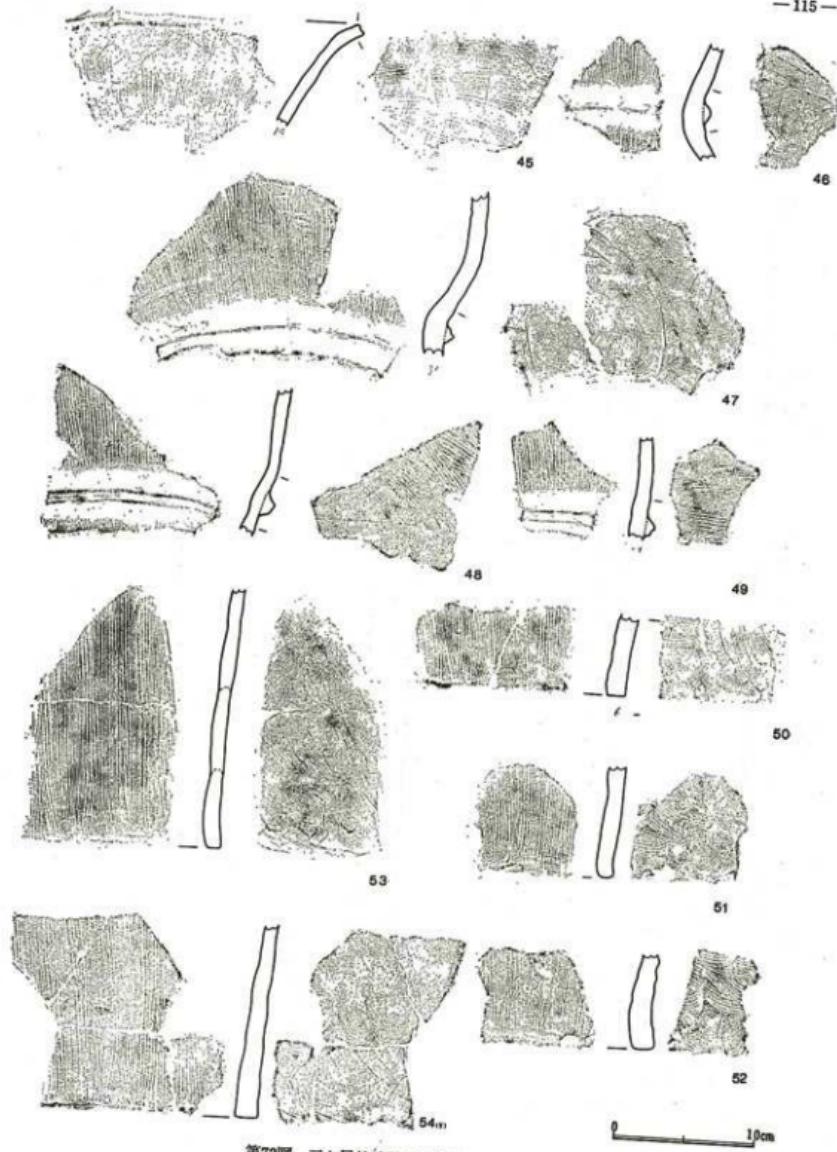
第69図 三ヶ尻林遺跡4号墳出土埴輪 姉



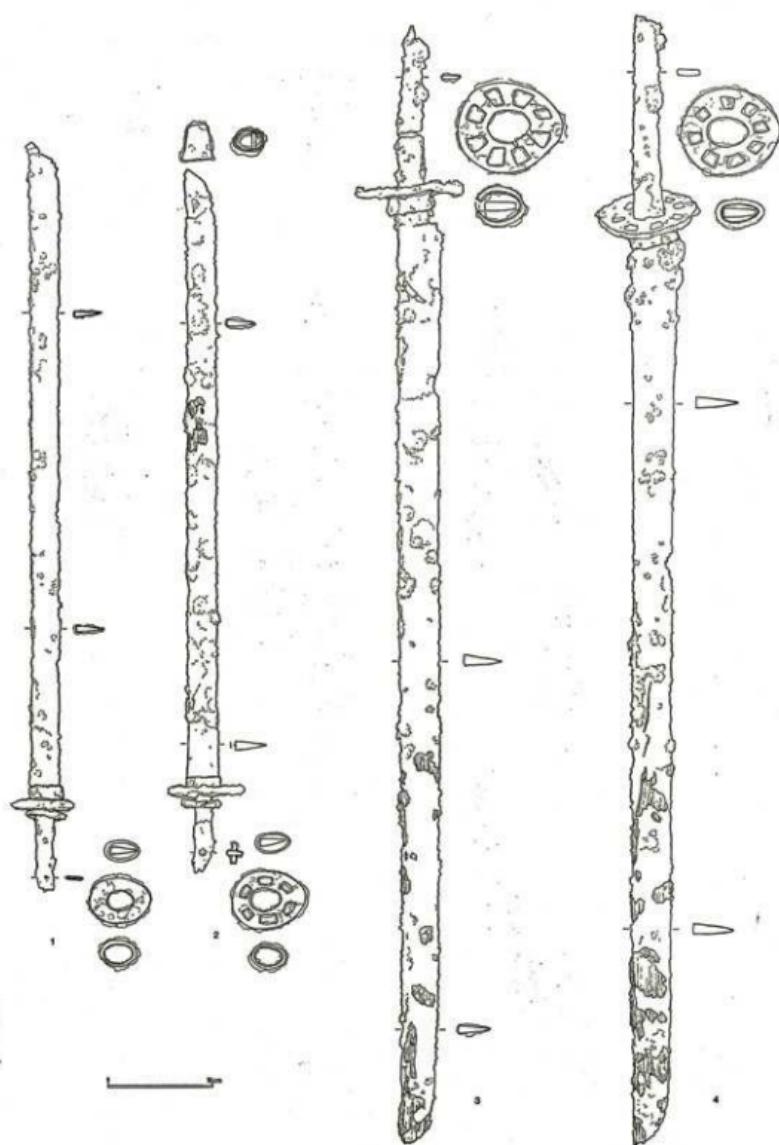
第70図 三ヶ尻林遺跡4号墳出土埴輪 60



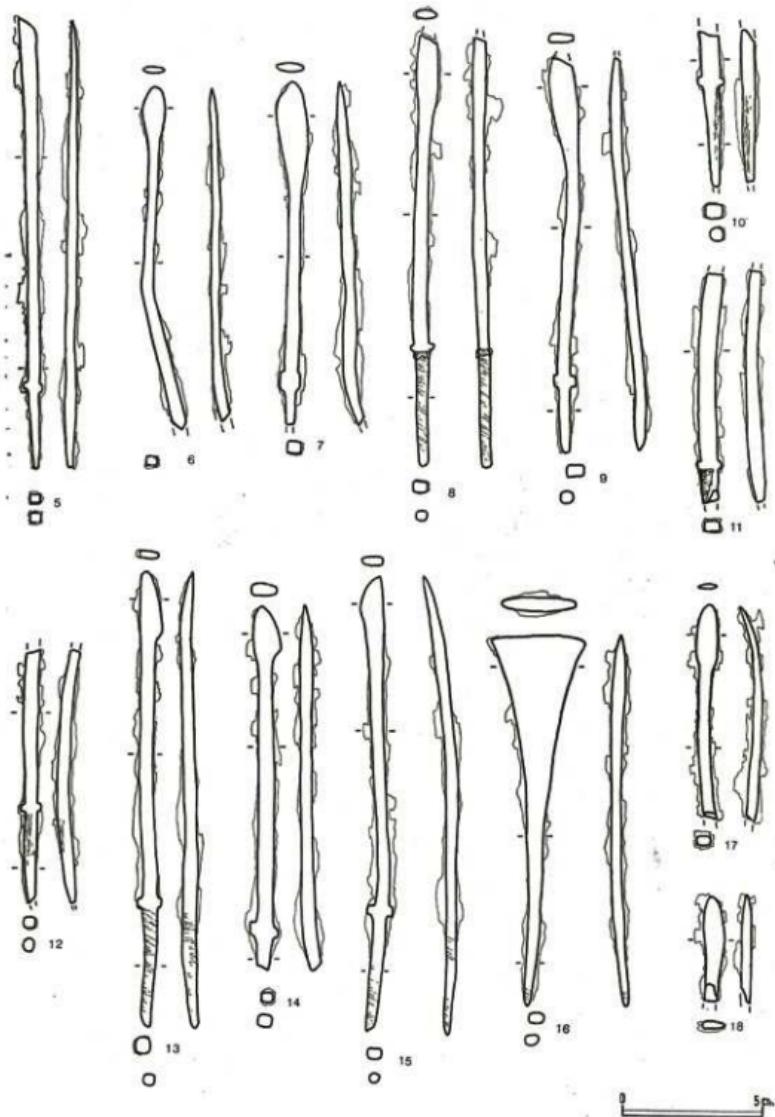
第71図 三ヶ尻林遺跡4号墳出土埴輪 (1)



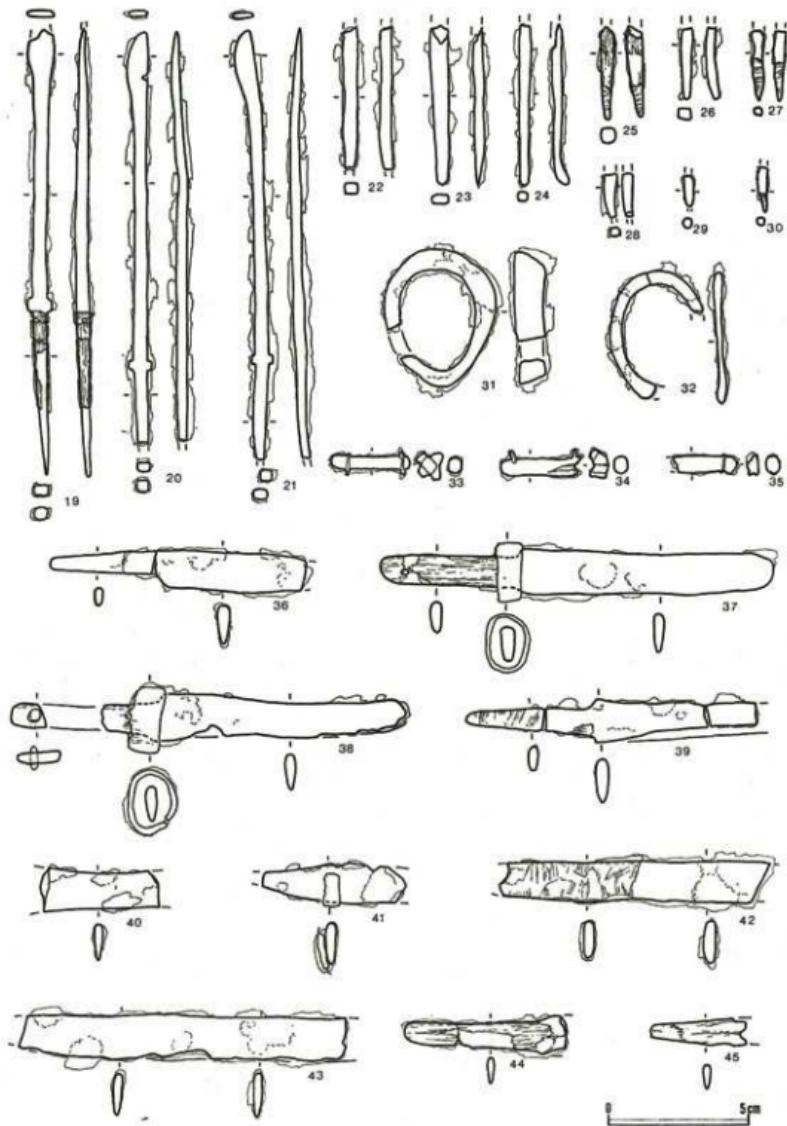
第72図 三ヶ尻林遺跡4号墳出土埴輪 (19)



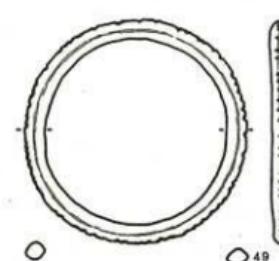
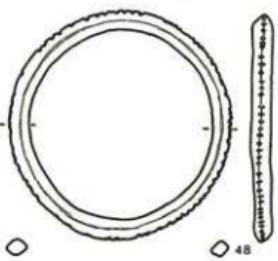
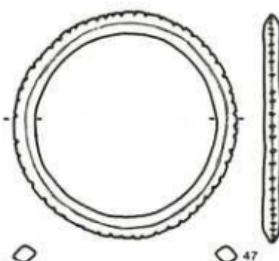
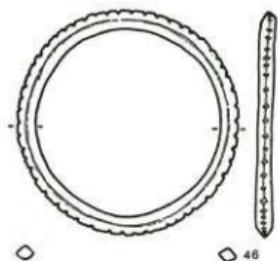
第73図 三ヶ尻林遺跡4号墳出土直刀



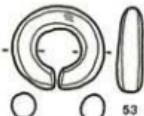
第74図 三ヶ尻林遺跡4号墳出土鉄器



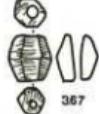
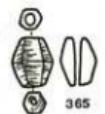
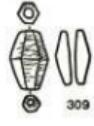
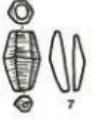
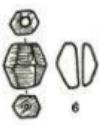
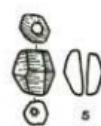
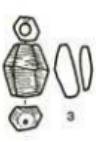
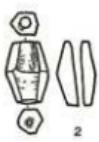
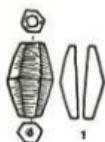
第75図 三ヶ尻林遺跡4号墳出土鉄器（19～30）・刀装具（31・32）・弓金具（33～35）・刀子（36～45）



■ 金箔



第76圖 三ヶ尻林遺跡4号墳出土銅鏡・耳環



6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

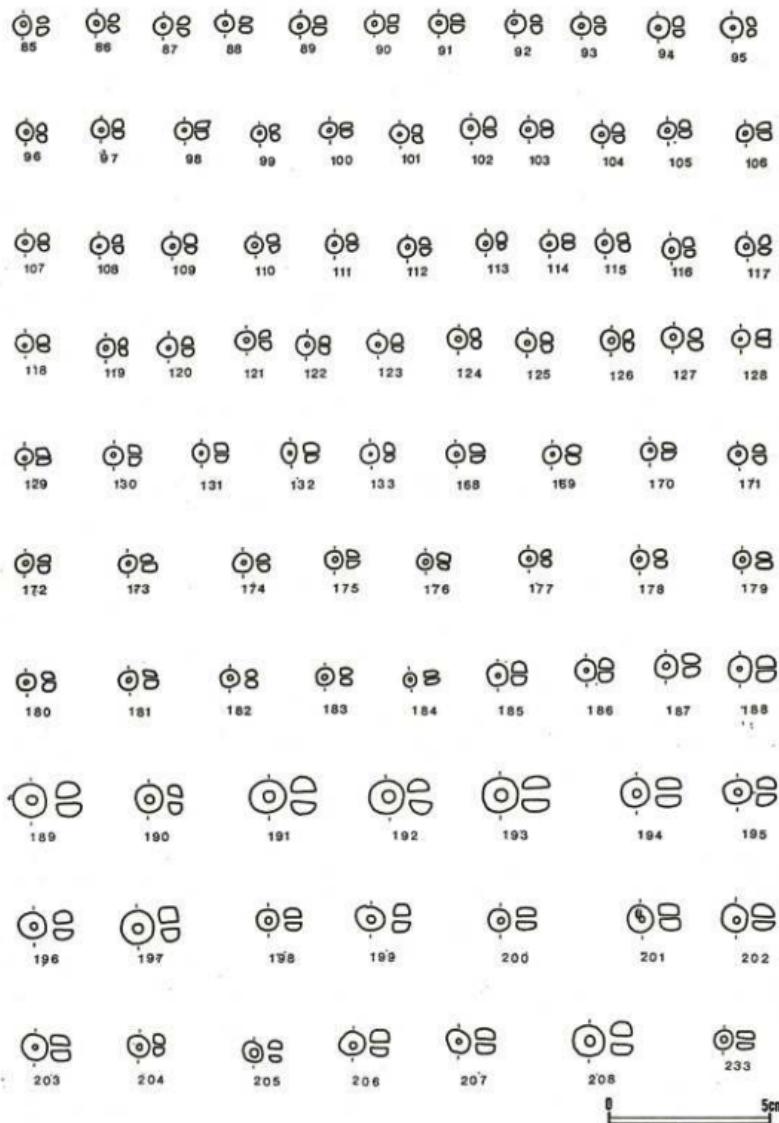
31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53

54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76

77 78 79 80 81 82 83 84



第77図 三ヶ尻林遺跡4号墳出土水晶切子玉・ガラス小玉

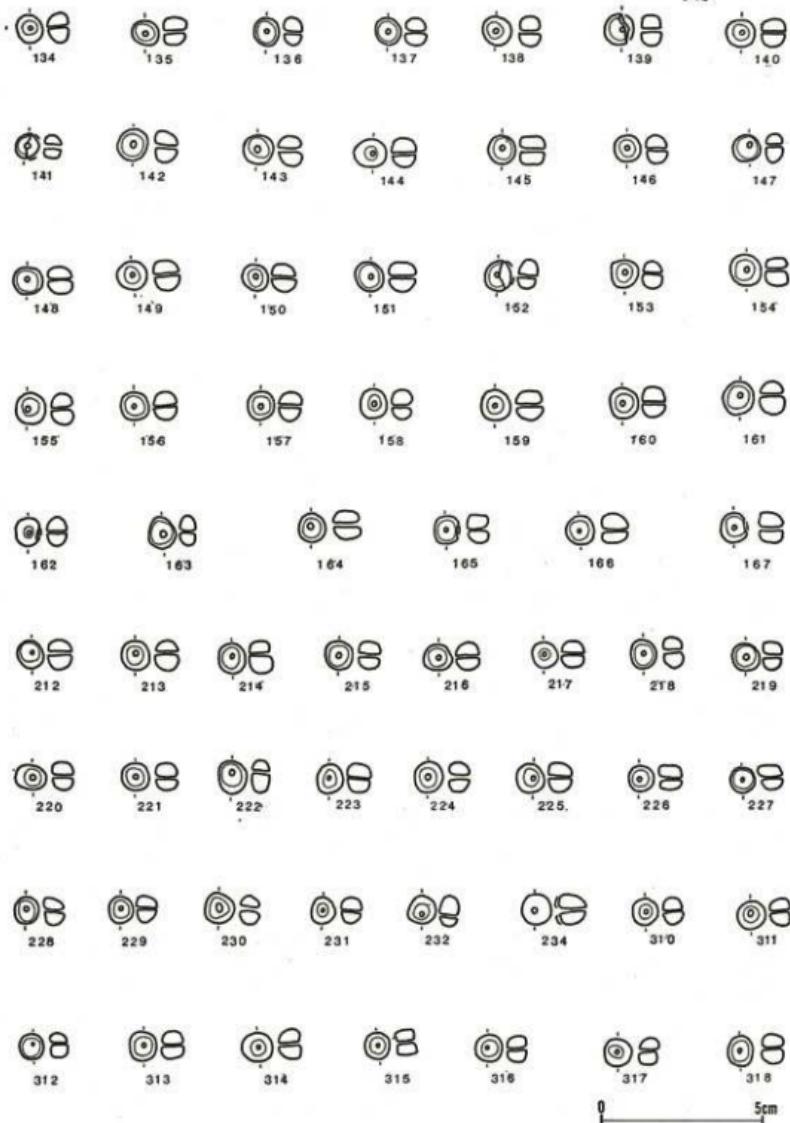


第78図 三ヶ尻林遺跡4号墳出土ガラス小玉

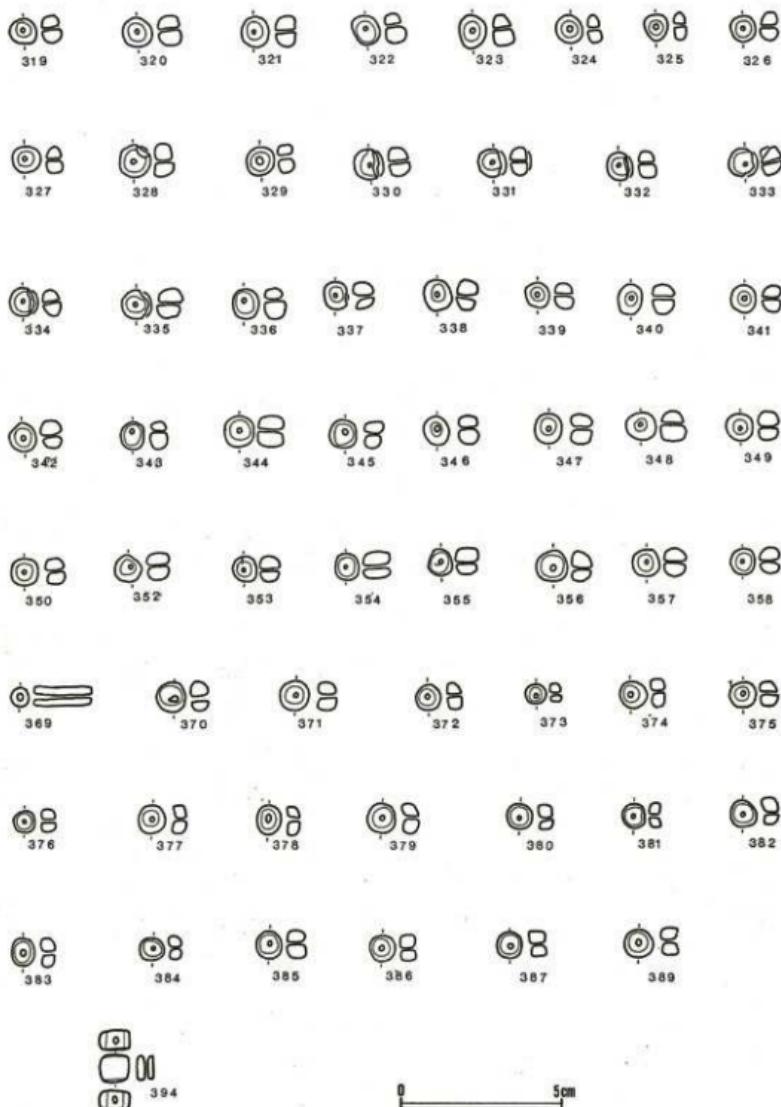
| | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 235 | 236 | 237 | 238 | 239 | 240 | 241 | 242 | 243 |
| 244 | 245 | 246 | 247 | 248 | 249 | 250 | 251 | 252 |
| 253 | 254 | 255 | 256 | 257 | 258 | 259 | 260 | 261 |
| 262 | 263 | 264 | 265 | 266 | 267 | 268 | 269 | 270 |
| 271 | 272 | 273 | 274 | 275 | 276 | 277 | | |
| 278 | 279 | 280 | 281 | 282 | 283 | 284 | 285 | 286 |
| 288 | 289 | 290 | 291 | 292 | 293 | 294 | 295 | 296 |
| 297 | 298 | 299 | 300 | 301 | 302 | 303 | 304 | 305 |
| 306 | 307 | 308 | 359 | 360 | 361 | 362 | 363 | 364 |

0 5cm

第79図 三ヶ尻林遺跡4号墳出土ガラス小玉



第80図 三ヶ尻林遺跡4号墳出土土製小玉



第81図 三ヶ尻林遺跡4号墳出土土製小玉・埋木玉、5号墳出土土製管玉および小玉(369~389)

三ヶ尻林遺跡 4号墳出土円筒埴輪

胎土

大別すると次の3種類になる。①胎土自体のきめが細かく、極めて微粒の砂と黒色雲母をよく含むもの。②きめは細かいがやや粗い砂粒を含み、雲母が少量のもの。③きめ細かく、砂粒の大きさと量が①、②の中間位的で、雲母のほとんど見られないもの。①には1~6・8~10・12~15・17~21・23・25・28・31~33・35・38~40・42~48・51・53・54が、②には7・22・24・26・27・29・36・37・41・49・50・52が、また③には11・16・30・34が各々挙げられる。

焼成

いずれも磨耗度は低く、よく焼きしまってはいるが、便宜上3段階（より良好のものより④・⑤・⑥）に分けてみた。全般的には3・5・6・13号墳のものよりもかなり良く、16号墳のものより弱いという印象を受ける。④には1・2・4~6・8・9・12・14・17・18・20・22・23・25・28・29・33・35・38~40・42・43・45~47・51・53・54があり、⑤には3・7・10・13・21・31・32・44・48・49・50・52がある。また⑥には11・15・16・19・24・26・27・30・34・36・37・41が挙げられる。

色調

明度に若干の差はあるが、28が暗褐色を呈する以外は橙色（3・7・11・15・16・19・27・34・36・37・41）、赤褐色（8・9・12・20・23・25・32・46~49・51・54）、明赤褐色（1・2・4~6・10・13・14・17・18・21・22・24・26・28~31・33・35・38~40・42~45・50・52・53）を呈している。

器面調整

外面はすべて縱方向の刷毛が施されるが、普通円筒埴輪の内面は、①斜方向の刷毛調整がなされた後、部分的に狭幅の縱撫でが施されるもの。②斜方向の布撫でのみのもの。に分けられる。①には1~21が、②には22~27がそれぞれ挙げられる。但し、①の口縁部と28（朝顔）は横方向の刷毛調整となっている。また、43・44・46・47は②と思われ、48・49は刷毛の後に布撫でが施されている。

①・②は底径の大小にその違いがよく表われており、①が平均約10.5cm、②が同13.6cmとなっている。さらに①は全体が漏斗状を呈するのに対し、②はずん胴の円筒形となっている。このことから、②は形象埴輪もしくは朝顔形円筒埴輪（48・49の例から）に属するものと考えられる。

円孔の位置と形状

第二段に一対がヘラ穿孔されるが、1~3・5・7・8・23・27はその後撫で調整される。直徑約4.8cmで、ほぼ円形を呈する。

突帯の位置と形状

2本が貼付されるが、第一突帯は全器高の中央よりも上に位置する。突帯間隔は約9cmで、断面は狭い台形から丸味の強い三角形を呈する。撫で付けはていねいで、特に下端部は強く器面がえぐられる。

三ヶ尻林遺跡 4号墳出土形象埴輪

形象埴輪

人物埴輪（第59図101～105、第60図106～108、第63図122、写真図版34）

101は9C区出土の天冠で、顔面に添って湾曲する。下端は額部との境界になると思われる。残存高12.8cm、復元下辺幅10.9cm、厚さ0.6～1.0cmを計る。器面調整は、表面が縦方向の刷毛（13本／2cm）、裏面がごく粗い刷毛となっている。胎土は極めて細かく、少量の白色砂粒を含む。焼成は良好で明褐色を呈する。

102は7C区より出土した唯一の顔面部破片である。わずか7.5×5.0cm程の小片であるが、鼻下より頸部まで伺い知ることができる。顔面は頸下の線に添って頸部に接合されており、一部に指で削去した痕が残るが、その輪郭はくっきりと表出されている。口唇は鋭いヘラ（刀子？）で切り込み、上顎を押し上げて形成している。頸部には径1.3cm、厚さ0.6cmの円形粘土が1個貼付されているが、本来は丸玉一連の首飾りを表現したものであろう。胎土中にはきめの細かい砂粒を多く含む。焼成は良好で橙色を呈し、堅敏な印象を受ける。

103は8C区出土で胴部（恐らくは腰部辺）に「へ」状の刀子（太刀？）を装着するものである。胴部は器厚0.9cmを計る。器面調整は、外面が縦方向の刷毛（8本／2cm）、内面は斜方向の布撫でとなっている。刀子は下部を欠損するが1本の粘土からなり、柄と鞘を表現する。その境界には幅約0.9cmの粘土紐が貼付され、両部を分けている。柄は径2.1cmの丸棒状で4.2cm程と短い。鞘は幅約3.2cm、厚さ1.3cmの台形を呈する。胴部との接合は、刀子鞘部の裏面を平滑化し、さらに粗い刷毛を加えてから行っている。但し、柄は胴部に接していない。胎土中には細かい砂粒を多量に含む。焼成は良好で橙色を呈する。刀子の表現はていねいである。

104・105はいずれも巻紐を握る腕である。104は9C区出土の左手、105は6C区出土で巻紐の上部を仄く右手である。上腕端に接合痕が見られることから、すぐ肩に移行する短いものと判断される。ここから上腕がつく（曲げたひじ）かとも思われたが、接合痕からの推定線では否定的である。104は腕長6.5cm、径約2.5cm、掌の幅3.3cm、同じく厚さ約3.2cmを計る。105は腕長7.4cm、径約2.0cm、掌の幅2.4cm、厚さ2.6cmを計る。いずれも腕全体は1本の棒状粘土からなるが、掌は平板化し、そこに巻紐を握らせて包み込んでいる。また、手の甲には粗い刷毛を施して指を表出し、手首も細く絞られている。巻紐は幅1.8cm、厚さ約0.5cmの粘土紐を二重に巻き、掌の上方に大きく出して梢円形状となる。この巻紐はその形状から革紐の表現ではないかと思われる。しかし、人物の全体像を考えた場合、これが何を意味するのかは不明である。同時に巻紐の下端部甲側には接着痕が見られるが、どこに接していたかも不明である。いずれも胎土中には極めて微粒の砂を含むが、ほとんど目立たない。焼成は良好で明赤褐色を呈する。特に104はていねいに作られ、秀美な印象を受ける。両腕はよく似るが、形状・形質が微妙に異なり、別個体のものと思われる。

106～108はいずれも差し込み式の腕で、1本の粘土からなる。106は墳丘内④区出土で、器厚0.9cmの胴部がわずかに残存する左腕である。胴に腕を接合した後に刷毛調整が施される。腕長約10.8cm、径約2.5cmを計る。107は8C区出土の腕長約14.0cm、径約2.7cmを計る右腕であり、親指の欠損痕が見られる。108は7C・8C区出土の腕長約14.5cm、径約3.5cmを計る左腕で、長さ2.3cm、

付根の径1.3cmの接合された親指を有する。3本とも同様な作りである。すなわち、手首がくびれ、掌はややすぼみ、手の甲には粗い刷毛で指を表出している。胎土中には細かい砂が多く含む。よく焼きしまり、明赤褐色を呈する。107・108はその形状・大きさから同一人物の左右両腕であると思われる。

122は腰部の衣服裾部片である。残存高13.8cm、器厚1.2cm、裾部の復元径19.0cmを計る。裾は文字通り裾広がりとなって突出し、裾下には粘土を補填強化している。器面調整は、外面に縱方向の刷毛(9本/2cm)、内面に斜方向の布撫が施される。胎土中には細かい砂粒、黒色雲母粒を多く含む。焼成は良好で明赤埴色を呈する。

写真図版34-141~150は腕の破片である。このうち、141~144は7B・8C区出土である。肩部を残す最長のもので18.0cmを計る細長い腕で、径は3.0cm前後である。いずれも手の先に巻きつけるように2本(一部は痕跡のみ)、その間に渡すように1本、各々幅約2.0cm粘土紐が貼付される。籠手を表現したものであろうか。

写真図版34-151は7B区出土の頸部小片である。成形は粘土輪積みからなる。外面は刷毛調整が施されるが、内面は押さえつけるのみで輪積み痕が明瞭に見られる。外面には径1.2cm程の粘土粒が3個残存するが、接着痕(3個)から見て、丸玉一連の首飾りを表現したものであろう。胎土・焼成・色調等は102の顔面片と酷似し、一体である可能性を持つ。

なお図示し得なかつたが5C・8C・9J・9K区から人物胴部破片が出土している。背中と思われる面はやや丸味を帯び、猫背氣味である。また、脇がくびれて肩の張りが強調される。残存高22.3cm、器厚1.0cmを計る。外面は背上部で横方向、他は疎な縦方向の刷毛が施され、腹部に布撫でが見られる。内面は剥落が激しく不明瞭であるが、斜方向の布撫でと思われる。尚、脇腹最下部に長さ2.0cm程の切り込みがあるが、何を表わしたものかは不明である。胎土中には粗い砂粒を多く含み、かなり目立つ。焼成は良いが器表は荒れる。色調は全体的に橙色を呈する。

以上、人物埴輪は特にその腕より見て、7体以上が存在したものと思われる。

動物埴輪(第60図109。第61図112~114、第62図 115~118、第63図119~121、写真図版35)

馬形埴輪

109は前底部下南区出土の鈴で、高さ4.4cm、直径3.8cmを計る。上部にヘラによる幅0.2cm、深さ0.3cmの切り込みが施され、接着面に刷毛目が見られる。胎土中には極めて多量の砂粒を含む他、やや粗い黒色雲母粒もよく含む。焼成は良いが器表はややザラつき、橙色を呈する。

112は出土位置図 №14の鼻先破片である。径約0.9cmの鼻孔が2個穿たれ、器厚1.0cm、残存長11.5cmを計る。器面調整は、外面に鼻筋に添う刷毛、内面も同方向の布撫でが施される。胎土中にはやや粗い砂粒を含むが、全体的にはほとんど目立たない。焼成も良く褐色を呈する。

113は頭頂からたてがみにかけての破片で、出土は4B・4C・4D・7B・9J・10Iの各区にわたっている。たてがみは幅4.5cm、厚さ1.0cm程の粘土板を直立貼付し、両面を粗い刷毛で疎に撫でている。頭部は器厚1.0cmで、外面に粗い刷毛、内面に布撫でが施される。胎土・焼成・色調ともに112に似る。

114は鞍の前輪との接合痕と手綱が認められる頭部破片で、出土位置図 №27、南トレント・9J

・10 J 区からの出土である。手綱は幅2.5cm、厚さ0.3cm程の粘土帯を頭の左右へ対称に配するが、馬体には撫でつけていない。これも112・113の胎土・焼成・色調によく似る。上記3片は同一馬体であると思われる。

115~121は脚部破片である。115は出土位置図№11・5 B・6 C区出土で残存高18.6cm、底径6.5×6.2cm、器厚1.0cmを計る。器面調整は、外面が縱方向の刷毛（10本／2cm）内面が斜方向の刷毛となっている。胎土中には微粒の砂を平均的に含むが、径3~5mmの小石も疎に見られる。焼成は良いがやや軟質な感を受け、明褐色を呈する。116は出土位置図№10で残存高17.0cm、底径6.7×6.4cm、器厚1.0cmを計る。底部より幅2.5cm、高さ2.6cmに梢円形のヘラ切削が施され、蹄を表現している。器面調整は、外面に縱方向の刷毛（9本／2cm）、内面が斜方向の刷毛後に部分的な撫でが施される。胎土中にはやや粗い砂粒を多く含む。焼成は良好であるが細かいひびが散り、色調は黄橙色を呈する。117は4 C・9 C区出土で、残存高10.1cm、底径8.0×7.4cm、器厚1.0~1.3cmを計る。器面調整は外面が縱方向の刷毛（9本／2cm）、内面が斜方向の刷毛となる。胎土中には微粒の黒色砂粒を多量に含む。焼成は良好だがやや軟質的で色調は橙色を呈する。118~120は5 B・6 B・6 C区出土で、残存高5.2~7.2cm、底径6.5~7.1×7.0~8.1cm、器厚0.9~1.3cmを計り、出土位置図№11の121とともに器面調整・胎土・焼成・色調は117と同様、あるいは近似する。このことから、117~121は同一馬体の脚である可能性が高い。

尚、各脚の底径は横位より正面位のはうが大きい。また、底部から10~11cm程は粘土板を筒状に丸めたものと思われ、その接合痕が各脚内面に見られる。

写真図版35~153~156は鞍の破片である。153は8 C・9 C・9 D区、154は3 C区、155は6 B区の出土で、いずれも馬の胸に幅約5.0cm、厚さ約1.0cmの粘土板を「匁」形に、馬体に対して垂直方向に貼付する。はその前輪部であるが、前輪接合後にたてがみを充填している。細かい砂粒を多く含み、焼成良好で明赤褐色を呈する。

以上、馬形埴輪は特にその脚より見て、少なくとも3体以上が設置されていたものと思われる。

家形埴輪（第63図123 第64図124・125）

123は南トレント・8 H・9 H区出土の切妻屋根流れ部の片側片である。屋根はわずかに内湾する急勾配（傾斜約70°）のもので、残存高15.5cm、器厚1.0cmを計る。粘土紐の積み上げから成り、器面は外面が横方向の刷毛（7本／2cm）、内面は斜方向の布撫である。棟には檼魚木（実際に接合しないが、その痕跡より図上復元した。）が乗るが、これは幅8.3cm、厚さ1.5cm程の粘土板を掌上で丸め、半筒状にしたものを棟上に貼付している。また、棟には檼魚木と隣接して直立する棒が配される。復元長8.3cm、径約1.6cmの棒状粘土を貼付したもので、檼魚木より復元した棟幅から見て、本来は2本並立するものと思われる。破片は胎土中にやや粗い白色砂粒を多量に含む。焼成は良く、かなり焼きしまった感を受ける。色調は全体的に赤褐色を呈する。写真図版36~157~159も恐らく同一体の檼魚木であろう。

124・125はともに寄棟屋根の家になると思われるが、ごく部分的な残存なのでその全体の形状は不明である。124は軒部分を中心とした破片であるが、屋根・壁・入口（？）の一部も残存する。

出土位置は主体部内・墳丘内③・8H・9Hの各区にわたっている。器厚は1.0cm程で、軒部での復元径は37.0cmとなる。入口部の位置・大きさより見てほぼ同様の正・側面となろう。軒はまず器表に断面三角形の粘土帯を貼付し、その上面を平滑化させる。次に、この上に3.0×1.0cmの平板状粘土を置き、これを撫で付け整形する。入口部は現存で高さわずかに4.5cmを計るのみであるが、下部のやや広がる台形を呈すると思われる。ヘラ穿孔後に撫でられている。外面は縦方向の刷毛（9本／2cm）調整、内面は斜方向の刷毛調整後、布撫でが加えられる。胎土中には黒色砂粒とやや粗い白色砂粒をよく含む。焼成は良好で橙色を呈する。125は残存高12.1cm、幅17.8cm程の軒部分小片であるが、壁面に復元径4.2×4.0cmのヘラ穿孔された窓（？）が見られる。出土位置は南トレンチ・周溝・7B・10Eの各区にわたる。軒部の形成および器面調整・胎土・焼成・色調は124と同様または近似するが、軒の曲線から見て別個体と思われる。

以上の家形埴輪はその形状・形質より判断して、3個体以上が存在したものと考えられる。

形象基台部（第64図126～128、第65図129～130、第66図131）

129は底面が椭円形を呈し、底部直上に突帶の巡る形象埴輪の基台と考えられるものである。8C区出土で残存高26.8cm、復元の底径27.6×18.6cm、器厚1.0cmを計る。長短軸両面の中央・上位突帶下に各一对と思われる円孔を有するが、長軸面のものがやや高く位置する。残存する円孔の径は、長軸面が3.7×4.6cm、短軸面が復元3.9×3.5cmを計る。いずれもヘラ状工具による穿孔である。上位の突帶は幅3.4cm、厚さ0.5cm、下位の突帶は幅2.0cm、厚さ0.7cmである。器面調整は内外面とも縦方向の刷毛（8本／2cm）が施される。胎土中には多量の微砂粒を含み、焼成は良好で暗黄褐色を呈する。

130は出土位置図No.4で、129同様の器形を呈する。残存高19.9cm、底径28.5×19.8cm、器厚1.1cmを計る。円孔は短軸面に一对が見られるが、復元径4.2×4.3cmのヘラ穿孔である。突帶は幅2.2cm、厚さ0.7cmを計る。器面調整は、外面が縦方向の刷毛（8本／2cm）、内面は斜方向の刷毛後に部分的な狭幅の縦撫でが施される。胎土中には極めて微粒の砂をよく含む。かなり良く焼きしまり赤褐色を呈する。

126～128はいずれも底部直上に突帶が貼付され、129・130と同様の器形を呈すると考えられる。126は6K区、127は主体部・10E・8H・9H区、128は主体部・周溝の出土である。このうち126・127の突帶は幅2.0cm、厚さ0.7cmを計り、器面調整は、外面が縦方向の刷毛（8本／2cm）、内面が斜方向の粗く薄い布撫でとなる。また胎土中には多量の微砂粒を含み、やや軟質な焼成で橙色を呈する。このため2片は同一と判断される。128も2片によく似るが、突帶は幅1.9cm、厚さ0.7cmに貼付され、色調も橙色で焼きしまっている。以上、この器形の基台は4個体以上が存在したものと考えられる。

131は主体部・南トレンチ出土で、残存高16.3cm、器厚1.0cmを計る。胴中位の両長軸面に径2.0～2.5cm、復元長25.0cm程の丸棒状粘土を置き、下部に粘土を補填して器表に貼付される。また、短軸面の同位にも2.4×1.3cm程の平棒状粘土を渡し、同様の貼付を行っている。さらに、両棒状粘土の接合下にも粘土が補填され、四隅を支えるようになっている。この棒状部での器径は20.9×18.7cmを計る。長軸面の棒状部上方には円孔が残存し、復元径3.4×3.6cmのヘラ穿孔であることが

伺える。器面調整は、外面に縦方向の刷毛（10本／2 cm）、内面に斜方向の布撫でが施される。しかし、内面は剥落が激しく、上位は横方向の指撫でかもしれない。

器財埴輪

軒（第67図132～134、写真図版37～38）

132は南トレンチ出土の矢柄と縁の表現部片である。一枚の粘土から成り、復元上辺長14.6cm、側辺長12.8cm、厚さ0.7～1.2cmを計る。矢は6本であるが、器面縦方向の刷毛（9本／2 cm）調整後縁を矢印状にして、幅0.2cmの浅い線刻で表現する。胎土中には細かい砂粒をよく含み、焼成は良好で明赤褐色を呈する。

133は石室入口部出土の左側牆部上辺破片である。辺に対して斜めに幅1.3cm、厚さ0.7cmの粘土紐を貼付して懸紐を表わしている。器面調整は、表面が縦から斜方向の刷毛（13本／2 cm）、裏面が横から斜方向の刷毛となっている。胎土中には細かい砂粒を含むがほとんど目立たない。焼成は良く浅黄橙色を呈する。

134は133と同一個体と思われる矢筒部分であるが、出土位置は5 J・4 K・6 K区とやや離れる。また、両側の縁は欠損する。矢筒は粘土輪積みから成り、残存高23.2cm、器厚1.1cmを計る。横断面は前面部がいくぶん平坦で、側面部から後部にかけて丸味が強い（径13.0×11.0cm）。矢筒の前面には1.6cm、厚さ0.5cmの粘土紐が「U」形に貼付され懸紐を表現している。さらに、その下端にも房飾りと思われる貼付痕が見られる。（縁の折欠損は真横よりやや前面に寄り、横断面では「ハ」状となる。）器面調整は、外面に縦方向の刷毛（16本／2 cm）、内面に斜方向の刷毛が施されている。胎土中にはきめ細かいがやや粗い砂粒をよく含む。焼成は良好で焼きしまった感を受け、浅黄橙色を呈する。

写真図版38～162～165は鱗破片で、162は5 C区、163は2 E区、164は6 B区の出土である。いずれも小片でその形状・規模は不明であるが、器厚は1.0cm前後で、両面に粗い刷毛が施される。また、前面と思われる面には交錯する裾歯状沈線が配される。

以上、観は各片の部位が異なるために明確でないが、2体以上が存在したと考えられる。

太刀（第67図135・136、第68図137、第60図111、写真図版37～38）

135～137はいずれも柄と鞘の境界部片であるが、柄は欠損する。鞘部上位には小円孔がヘラ穿孔され、その上には小突帯が貼付される。135は石室入口部8 H・9 H区の出土である。残存高7.5cm、突帯部での復元径10.0cm、器厚0.8cmを計る。器面調整は、外面に縦方向の刷毛（9本／2 cm）、内面に撫でが施される。胎土中には細かい砂粒と黒色雲母粒を多く含む。焼成は良く橙色を呈する。136は10 E区出土で、残存高9.4cm、突帯部の復元径9.6cm、器厚0.9cmを計る。器面調整・胎土・焼成・色調は135によく似る。137は出土位置図No.3・8 H・9 H区出土である。残存高16.5cm、突帯部の復元径12.5cm、器厚1.0cmを計る。器面には「U」形に幅1.3cm、厚さ0.4cmの粘土紐が貼付されるが、本来は左右対になり、房飾りを表現したものと思われる。尚、図示しなかったが、この裏面に径約3.0cmの円孔が見られる。器面調整は、外面が縦方向の刷毛（10本／2 cm）、内面鞘部が斜方向の布撫でとなっている。胎土中には極めて微粒の砂をよく含む。焼成は良好でよく焼きしまり、明褐色を呈する。全体的に堅緻な作りとなる。

111は、前庭部から出土した柄部につく勾金と思われるが、定かではない。残存長6.5cm、幅4.6cm、厚さ1.6cmを計る。器面には表裏とも粗い刷毛が施され、その後には径1.5cm、厚さ0.6cmの円形粘土が貼付される。写真図版38-166はその先端部と思われる。

以上、太刀は3体以上が存在したと判断される。

不明（第60図110、第68図138、第69図139・140（写真図版34-36）

110は主体部出土で、器厚1.2cmの胴部（？）に鱗状の突起物を有する破片である、全体の形状もその上下関係も不明である。鉤状の突起は幅3.4cm、長さ5.8cm、厚さ1.1cmを計り、片面に斜方向の粗い刷毛が施される。胎土中には極めて微粒の砂をよく含むが、ほとんど目立たず滑沢である。焼成はかなり良好で明赤褐色を呈する。堅緻な印象を受ける。

138はせばまつた基部より、左右に広がる板状体を有するものである。出土位置図No.27・石室入口部・3C・3D・5C・9H・8H・9I・10I・10J区とかなり広く分散出土した小片が接合した。基部は中空で、上部の円孔（？）で接合または折り返されたものと思われる。一面は凸状もう一面は凹状に整形されており、両側には厚さ0.9cmの粘土板が接合されて広がる。上部は欠損のためにその展開形は不明であるが、左右の板は交互にひねられてプロペラ様を呈する。このことら、左右の板状体は一連ではなく、孔を中心として扇を2本開いた恰好になるとと考えられる。表面には粗い刷毛が施され、胎土中には黒色の微砂粒を多量に含む。焼成は良好で明褐色を呈する。

139は出土位置図No.11・第1葺石内・9C区から出土した。器厚0.9cmの形状不明胴部より、水平方向へ鱗状体が突出する。鱗は幅10.7cm、長さ9.2cm、厚さ1.6cmを計る。わずかに湾曲し、三角形を呈するが、魚の鱗のような形状である。両面は刷毛が施され、胎土中にはやや粗い砂粒と黒色雲母粒を多く含む。焼成は良好で橙色を呈する。

140もほぼ同様の破片で墳丘内④区出土である。鱗は器厚1.0cmの円筒形胴部から水平方向やや下垂気味に突出している。幅8.8cm、長さ6.8cm、厚さ1.6cmを計り、139より小ぶりである。両面ともに刷毛が施され、胎土中には黒色砂粒をよく含む。焼成は良いが、軟質的で橙色を呈する。

写真図版34-152も幅7.0cm、長さ7.0cm、厚さ1.5cm程の鱗状片で出土位置図のNo.3にあたる。両面とも粗い刷毛が施され胴部を欠くが、139・140と同様体となろう。

写真図版36-160・161は18.0×9.0cm、厚さ1.3cm程の板状破片で、端部はL状に折り曲げられる。表面には刷毛が施されるが、ほとんど布撫によって消去されている。胎土中にはやや粗い白色砂粒を多量に含み、焼成は良く赤褐色を呈する。

第17表 三ヶ尻林遺跡4号墳出土埴輪観察表

| 図版番号 | 器種 | 出土位置 | 器高 | 器厚 | 器径 | 円孔 | 刷毛 | 突帯 | 備考 |
|------------|----|--------------|--------------|---------------------------------|--------------------------------------|--------------------|------------------|-------------------------------|----------------|
| 第55図1 2 | 円筒 | No.2 No.1 | 42.0 41.0 | 0.8 0.9 0.9 1.0 0.9 | 口 20.1 底 11.4 口 20.8 底 10.9 | 5.1×5.0 4.5×4.6 | 9本/2cm 8本/2cm | 0.6/2.2 0.5/1.5 0.4/1.9 | 80%残存 90%残存 |
| | | | | | | | | | |

| 図版番号 | 器種 | 出土位置 | 器高 | 器厚 | 器径 | 円孔 | 刷毛 | 突帯 | 備考 |
|--------|------|----------|--------|------------|---------|---------|----------|---------|----------|
| 3 | 円筒 | No.28 | (33.9) | 1.0 1.0 | 底 10.4 | 4.7×5.2 | 9本/2cm | 0.6/1.6 | |
| 4 | 円筒 | No.27 | (30.1) | 0.8 0.9 | 底 9.8 | | 9本/2cm | 0.6/1.7 | |
| 第56図5 | 円筒 | No.17 | (30.4) | 1.2 | 底 10.7 | ×(4.5) | 10本/20cm | 0.6/2.1 | |
| 6 | 円筒 | No.23 | (27.8) | 0.9 | 底 10.7 | | 8本/2cm | 0.4/2.0 | |
| 7 | 円筒 | No.26 | (27.1) | 1.0 | 底 10.5 | ×(6.0) | 9本/2cm | 0.7/1.5 | |
| 8 | 円筒 | No.26 | (29.6) | 1.1 | 底 10.1 | | 9本/20cm | 0.4/1.8 | |
| 9 | 円筒 | No.21 | (28.3) | 0.9 | 底 10.1 | | 8本/2cm | 0.6/2.1 | |
| 10 | 円筒 | No.10 | (24.4) | 0.8 | 底 10.5 | | 8本/2cm | | |
| 第57図11 | 円筒 | No.18 | (22.9) | 0.8 | 底 10.2 | | 10本/2cm | | |
| 12 | 円筒 | No.25・27 | (21.2) | 0.8 | 底 9.4 | | 9本/2cm | | |
| 13 | 円筒 | No.19 | (19.2) | 0.9 | 底 10.3 | | 9本/2cm | | |
| 14 | 円筒 | No.29 | (17.8) | 1.0 | 底 11.0 | | 10本/2cm | | |
| 15 | 円筒 | No.16 | (16.9) | 0.8 | 底 10.1 | | 8本/2cm | | |
| 16 | 円筒 | No.13 | (15.8) | 1.0 | 底 10.6 | | 9本/2cm | | |
| 17 | 円筒 | No.22 | (12.9) | 1.2 | 底 10.6 | | 9本/2cm | | |
| 18 | 円筒 | 5B | (9.7) | 1.0 | 底 10.6 | | 9本/2cm | | |
| 19 | 円筒 | 8H・9H | (8.2) | 1.1 | 底 10.8 | | 9本/2cm | | |
| 20 | 円筒 | 主体部 | (7.6) | 0.9 | 底(10.4) | | 9本/2cm | | |
| 21 | 円筒 | 4C・5C | (6.9) | 1.2 | 底 10.5 | | 10本/2cm | | 反転実測 |
| 第58図22 | 形象基台 | No.25 | (30.6) | 0.9 | 底 14.6 | ×(4.7) | 8本/2cm | 0.6/2.0 | |
| | | | | 1.0 | | | | | |
| 23 | 形象基台 | No.24 | (27.8) | 1.0 | 底 13.2 | | 9本/2cm | 0.8/1.7 | |
| 24 | 形象基台 | No.7 | (25.0) | 0.9 | 底 13.2 | | 9本/2cm | 0.6/2.0 | |
| 25 | 形象基台 | No.15 | (16.0) | 0.9 | 底 14.1 | | 9本/2cm | | |
| 26 | 形象基台 | No.8 | (14.9) | 0.9 | 底 12.9 | | 9本/2cm | | |
| 27 | 形象基台 | 主体部・8H | (25.3) | 1.1 | | | 10本/2cm | 0.4/1.6 | 反転実測 |
| | | 前庭部 | | 1.0 | | | | | |
| 28 | 朝顔 | 5K | (20.9) | 0.8 | 口 31.1 | | 8本/2cm | 0.8/1.2 | |
| | | | | 1.4 | | | | | |
| 第70図29 | 円筒 | 5K | (15.1) | 1.0 | | | 8本/2cm | 0.6/1.4 | 13と同一個体? |
| 30 | 円筒 | No.30 | (13.7) | 1.0 | | | 9本/2cm | 0.5/1.5 | |
| 31 | 円筒 | 5K | (13.4) | 1.2 | | | 7本/2cm | 0.4/1.4 | |
| 32 | 円筒 | 4K | (10.8) | 1.2 | | | 9本/2cm | 0.6/1.9 | |
| 33 | 円筒 | 1F | (11.1) | 1.0 | | | 8本/2cm | 0.7/1.5 | |
| 34 | 円筒 | 1G・2G | (10.4) | 1.1 | | | 9本/2cm | 0.8/1.7 | |
| 35 | 円筒 | 南トレンチ | (9.3) | 0.9 | | | 9本/2cm | 0.5/1.8 | |
| 36 | 円筒 | 5C | (10.0) | 1.0 | | | 8本/2cm | 0.5/0.8 | 3と同一個体? |
| | | 第1フキ石内 | | | | | | | |
| 第71図37 | 円筒 | No.6 | (10.3) | 1.0 | | | 8本/2cm | 0.4/1.4 | 7と同一個体? |
| 38 | 円筒 | 8H・9H | (9.5) | 1.1 | | | 7本/2cm | 0.5/0.9 | |
| 39 | 円筒 | 7K | (10.1) | 1.1 | | | 7本/2cm | 0.6/1.3 | |
| 40 | 円筒 | 2D | (10.3) | 1.1 | | | 8本/2cm | 0.5/1.2 | |
| 41 | 円筒 | 1G・2G | (13.1) | 1.1 | | | 9本/2cm | 0.7/2.0 | |
| 42 | 円筒 | 8I | (13.6) | 1.0 | | | 8本/2cm | 0.6/1.6 | |
| 43 | 形象基台 | 埴丘内3区 | (11.8) | 1.1 | | | 9本/2cm | 0.6/1.7 | |
| 44 | 形象基台 | No.9 | (15.1) | 1.0 | | | 9本/2cm | 0.9/2.8 | |

| 図版番号 | 器種 | 出土位置 | 器高 | 器厚 | 器径 | 円孔 | 刷毛 | 突帯 | 備考 |
|--------|------|---------------------|--------|-----|----|----|---------|---------|----------|
| 第72図45 | 朝顔 | 8 C | (7.5) | 0.9 | | | 10本/2cm | | |
| 46 | 朝顔 | Bトレンチ | (8.0) | 1.3 | | | 10本/2cm | 0.5/1.6 | |
| 47 | 朝顔 | 4 K | (11.5) | 1.2 | | | 9本/2cm | 0.7/1.3 | |
| 48 | 朝顔 | 8 H・9 H | (9.8) | 0.9 | | | 8本/2cm | 0.8/1.9 | |
| 49 | 朝顔 | Bトレンチ | (7.3) | 1.1 | | | 9本/2cm | 0.7/1.5 | |
| 50 | 円筒 | 6 K | (5.8) | 1.3 | | | 8本/2cm | | |
| 51 | 円筒 | No.10 | (7.8) | 1.3 | | | 9本/2cm | | |
| 52 | 円筒 | 主体部内 | (6.7) | 1.6 | | | 8本/2cm | | |
| 53 | 形象基台 | 1 G ~ 4 G | (18.4) | 1.1 | | | 9本/2cm | | |
| 54 | 形象基台 | No.9・6 B・6 C・6 B | (13.1) | 1.3 | | | 9本/2cm | | 25と同一個体? |

第18表 三ヶ尻遺跡4号・5号・7号墳・土壤出土金属器計測表

| 番号 | 名称 | 遺構名 | 材質 | 長(cm) | 幅(cm) | 厚(cm) | 重量(g) | 備考 |
|--------|-----|-------|----|-------|-------|-------|--------|--------|
| 第73図1 | 直刀 | 4号墳玄室 | 鉄 | 70.8 | 2.6 | 0.7 | 608.0 | |
| 2 | フ | フ | フ | 65.7 | 2.8 | 0.7 | 750.0 | |
| 3 | フ | フ | フ | 105.8 | 4.0 | 1.0 | 1358.0 | |
| 4 | フ | フ | フ | 107.2 | 4.0 | 1.0 | 1550.0 | |
| 第74図5 | 鉄簇 | フ | フ | 16.0 | 0.6 | 0.4 | 16.36 | 基部欠 |
| 6 | フ | フ | フ | 12.2 | 0.8 | 0.3 | 8.29 | フ |
| 7 | フ | フ | フ | 12.2 | 1.1 | 0.5 | 11.23 | フ |
| 8 | フ | フ | フ | 15.3 | 0.8 | 0.5 | 13.40 | 先端欠 |
| 9 | フ | フ | フ | 14.0 | 1.0 | 0.4 | 12.58 | フ |
| 10 | フ | フ | フ | 5.5 | 0.9 | 0.5 | 3.99 | 先端・基部欠 |
| 11 | フ | フ | フ | 8.2 | 0.6 | 0.5 | 8.95 | フ |
| 12 | フ | フ | フ | 9.9 | 0.5 | 0.5 | 8.08 | フ |
| 13 | フ | フ | フ | 16.1 | 0.8 | 0.5 | 14.84 | |
| 14 | フ | フ | フ | 13.0 | 0.9 | 0.5 | 12.63 | 基部欠 |
| 15 | フ | フ | フ | 16.0 | 0.8 | 0.4 | 13.83 | フ |
| 16 | フ | フ | フ | 13.0 | 3.4 | 0.5 | 22.84 | |
| 17 | フ | フ | フ | 7.6 | 0.7 | 0.3 | 6.02 | 基部欠 |
| 18 | フ | フ | フ | 3.7 | 0.8 | 0.3 | 2.96 | 先端のみ |
| 第75図19 | フ | フ | フ | 15.8 | 1.0 | 0.5 | 11.70 | 先端欠 |
| 20 | フ | フ | フ | 14.6 | 0.8 | 0.4 | 12.17 | 基部欠 |
| 21 | フ | フ | フ | 15.3 | 0.8 | 0.5 | 13.47 | フ |
| 22 | フ | フ | フ | 5.0 | 0.5 | 0.4 | 4.43 | 先端・基部欠 |
| 23 | フ | フ | フ | 5.6 | 0.6 | 0.4 | 3.40 | 基部のみ |
| 24 | フ | フ | フ | 5.7 | 0.4 | 0.3 | 5.48 | フ |
| 25 | フ | フ | フ | 3.3 | 0.4 | 0.5 | 1.04 | フ |
| 26 | フ | フ | フ | 2.5 | 0.4 | 0.3 | 1.08 | フ |
| 27 | フ | フ | フ | 2.5 | 0.5 | 0.3 | 0.29 | フ |
| 28 | フ | フ | フ | 1.6 | 0.5 | 0.4 | 0.64 | フ |
| 29 | フ | フ | フ | 1.1 | 0.4 | 0.3 | 0.10 | フ |
| 30 | フ | フ | フ | 1.6 | 0.4 | 0.3 | 0.10 | フ |
| 31 | 刀装具 | フ | フ | 4.9 | 4.0 | 0.4 | 20.33 | |
| 32 | フ | フ | フ | 4.5 | 3.4 | 0.3 | 3.62 | |
| 33 | 弓金具 | フ | フ | 2.8 | 0.7 | 0.5 | 2.36 | |

| 番号 | 名称 | 遺構名 | 材質 | 長(cm) | 幅(cm) | 厚(cm) | 重量(g) | 備考 |
|---------|-----|--------|----|-------|-------|-------|-------|--------|
| 34 | 弓金具 | 4号墳玄室 | 鉄 | 3.0 | 0.8 | 0.6 | 2.62 | |
| 35 | " | " | " | 2.3 | 0.7 | 0.5 | 1.58 | |
| 36 | 刀子 | " | " | 9.2 | 1.4 | 0.4 | 14.35 | 先端欠 |
| 37 | " | " | " | 14.0 | 1.4 | 0.4 | 31.19 | |
| 38 | " | " | " | 14.1 | 1.7 | 0.3 | 26.98 | |
| 39 | " | " | " | 10.4 | 1.6 | 0.4 | 11.10 | 先端欠 |
| 40 | " | " | " | 4.6 | 1.6 | 0.3 | 5.72 | 先端・基部欠 |
| 41 | " | " | " | 5.1 | 1.5 | 0.3 | 9.50 | " |
| 42 | " | " | " | 9.6 | 1.5 | 0.4 | 27.56 | " |
| 43 | " | " | " | 11.6 | 1.5 | 0.3 | 29.89 | " |
| 44 | " | " | " | 5.7 | 1.3 | 0.3 | 8.59 | 基部のみ |
| 45 | " | " | " | 3.4 | 1.0 | 0.3 | 2.41 | " |
| 第76図46 | 銅 鋼 | " | 銅 | 8.0 | 8.0 | 0.5 | 38.51 | |
| | 47 | " | " | 8.0 | 8.0 | 0.6 | 43.19 | |
| | 48 | " | " | 8.1 | 8.0 | 0.7 | 43.19 | |
| | 49 | " | " | 8.0 | 8.0 | 0.7 | 43.30 | |
| | 50 | 耳環 | " | 1.7 | 1.8 | 0.7 | 5.09 | |
| | 51 | " | " | 3.0 | 3.2 | 0.8 | 26.51 | |
| | 52 | " | " | 2.1 | 2.3 | 0.7 | 2.50 | |
| 53 | " | " | " | 3.0 | 3.3 | 0.8 | 26.11 | |
| 第87図54 | 鉄 旗 | 5号墳玄室 | 鉄 | 3.0 | 1.2 | 0.2 | 2.13 | 先端のみ |
| | 55 | " | " | 2.6 | 0.3 | 0.3 | 1.20 | 基部のみ |
| | 56 | " | " | 10.4 | 0.4 | 0.3 | 6.38 | |
| | 57 | 刀装具 | " | 2.7 | 2.2 | 0.4 | 5.13 | |
| | 58 | 鉄製品 | " | 2.7 | 2.0 | 0.3 | 1.95 | |
| | 59 | " | " | 5.3 | 1.2 | 0.2 | 4.30 | |
| | 60 | " | " | 4.4 | 1.7 | 0.3 | 4.21 | |
| | 61 | " | " | 5.3 | 2.1 | 0.4 | 9.42 | |
| | 62 | " | " | 4.1 | 1.5 | 0.3 | 4.59 | |
| | 63 | " | " | 7.6 | 1.9 | 0.4 | 11.32 | |
| 64 | " | " | " | 7.8 | 2.0 | 0.2 | 7.11 | |
| 第90図65 | 鉄 旗 | 7号墳玄室 | " | 14.5 | 0.8 | 0.3 | 10.99 | |
| | 66 | " | " | 2.8 | 0.5 | 0.3 | 1.11 | 基部のみ |
| | 67 | " | " | 1.6 | 0.3 | 0.3 | 0.44 | " |
| | 68 | 直刀 | " | 4.2 | 1.8 | 0.6 | 6.85 | |
| | 69 | 弓金具 | " | 3.7 | 0.8 | 0.5 | 2.79 | |
| | 70 | " | " | 3.1 | 0.8 | 0.6 | 2.44 | |
| | 71 | " | " | 2.7 | 0.6 | 0.4 | 2.12 | |
| 72 | 耳環 | " | " | 2.7 | 3.1 | 0.7 | 15.35 | |
| 73 | " | " | " | 3.1 | 3.5 | 0.6 | 23.62 | |
| 第135図74 | 鉄 鋒 | A区6号土壙 | " | 5.6 | 0.8 | 0.3 | 8.29 | |
| | 76 | " | " | 2.6 | 0.2 | 0.2 | 2.39 | |

第19表 三ヶ尻林遺跡4号・5号墳出土玉計測表

| 番号 | 名称 | 遺構名 | 材質 | 長(cm) | 幅(cm) | 厚(cm) | 重量(g) | 備考 |
|--------|-------|----------|-----|-------|-------|-------|-------|--------|
| 第77図 1 | 切子玉 | 4号墳玄室床 | 水晶 | 2.2 | 1.3 | 1.3 | 4.85 | |
| 2 | × | × | × | 1.8 | 1.2 | 1.2 | 4.00 | |
| 3 | × | × | × | 1.6 | 1.1 | 1.3 | 3.48 | |
| 4 | × | × | × | 1.4 | 1.1 | 1.3 | 2.44 | |
| 5 | × | × | × | 1.3 | 1.2 | 1.3 | 3.12 | |
| 6 | × | × | × | 1.3 | 1.2 | 1.3 | 2.66 | |
| 7 | × | × | × | 1.8 | 1.0 | 1.1 | 2.51 | 1~6の一部 |
| 8 | ガラス小玉 | 4号墳玄室床8群 | ガラス | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.08 | |
| 9 | × | × | × | 0.4 | 0.3 | 0.2 | 0.09 | |
| 10 | × | × | × | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.08 | |
| 11 | × | × | × | 0.3 | 0.2 | 0.2 | 0.09 | |
| 12 | × | × | × | 0.3 | 0.4 | 0.2 | 0.08 | |
| 13 | × | × | × | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.05 | |
| 14 | × | × | × | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.08 | |
| 15 | × | × | × | 0.4 | 0.3 | 0.2 | 0.09 | |
| 16 | × | × | × | 0.4 | 0.3 | 0.2 | 0.08 | |
| 17 | × | × | × | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.07 | |
| 18 | × | × | × | 0.4 | 0.3 | 0.2 | 0.07 | |
| 19 | × | × | × | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.09 | |
| 20 | × | × | × | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.09 | |
| 21 | × | × | × | 0.4 | 0.3 | 0.2 | 0.08 | |
| 22 | × | × | × | 0.3 | 0.3 | 0.1 | 0.07 | |
| 23 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.3 | 0.11 | |
| 24 | × | × | × | 0.4 | 0.3 | 0.2 | 0.08 | |
| 25 | × | × | × | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.07 | |
| 26 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.05 | |
| 27 | × | × | × | 0.4 | 0.3 | 0.2 | 0.07 | |
| 28 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.09 | |
| 29 | × | × | × | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.07 | |
| 30 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.06 | |
| 31 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.05 | |
| 32 | × | × | × | 0.3 | 0.4 | 0.2 | 0.07 | |
| 33 | × | × | × | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.06 | |
| 34 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.08 | |
| 35 | × | × | × | 0.4 | 0.3 | 0.2 | 0.07 | |
| 36 | × | × | × | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.08 | |
| 37 | × | × | × | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.07 | |
| 38 | × | × | × | 0.5 | 0.5 | 0.2 | 0.10 | |
| 39 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.06 | |
| 40 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.06 | |
| 41 | × | × | × | 0.3 | 0.3 | 0.1 | 0.03 | |
| 42 | × | × | × | 0.4 | 0.3 | 0.2 | 0.06 | |
| 43 | × | × | × | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.06 | |
| 44 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.07 | |
| 45 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.05 | |
| 46 | × | × | × | 0.4 | 0.3 | 0.2 | 0.06 | |

| 番号 | 名称 | 遺構名 | 材質 | 長(cm) | 幅(cm) | 厚(cm) | 重量(g) | 備考 |
|------|-------|----------|-----|-------|-------|-------|-------|----|
| 47 | ガラス小玉 | 4号墳玄室床8群 | ガラス | 0.4 | 0.4 | 0.3 | 0.05 | |
| 48 | x | x | x | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.06 | |
| 49 | x | x | x | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.04 | |
| 50 | x | x | x | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.05 | |
| 51 | x | x | x | 0.4 | 0.3 | 0.2 | 0.06 | |
| 52 | x | x | x | 0.4 | 0.3 | 0.2 | 0.07 | |
| 53 | x | x | x | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.07 | |
| 54 | x | x | x | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.06 | |
| 55 | x | x | x | 0.4 | 0.3 | 0.2 | 0.06 | |
| 56 | x | x | x | 0.4 | 0.3 | 0.2 | 0.06 | |
| 57 | ガラス小玉 | 4号墳玄室5群 | ガラス | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.07 | |
| 58 | x | x | x | 0.4 | 0.3 | 0.2 | 0.07 | |
| 59 | x | x | x | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.06 | |
| 60 | x | x | x | 0.4 | 0.3 | 0.1 | 0.04 | |
| 61 | x | x | x | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.05 | |
| 62 | x | x | x | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.07 | |
| 63 | x | x | x | 0.4 | 0.3 | 0.2 | 0.04 | |
| 64 | x | x | x | 0.4 | 0.3 | 0.2 | 0.09 | |
| 65 | x | x | x | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.08 | |
| 66 | x | x | x | 0.4 | 0.3 | 0.2 | 0.07 | |
| 67 | x | x | x | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.06 | |
| 68 | x | x | x | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.05 | |
| 69 | x | x | x | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.07 | |
| 70 | x | x | x | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.08 | |
| 71 | x | x | x | 0.4 | 0.3 | 0.2 | 0.08 | |
| 72 | x | x | x | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.10 | |
| 73 | x | x | x | 0.4 | 0.3 | 0.2 | 0.07 | |
| 74 | x | x | x | 0.4 | 0.3 | 0.2 | 0.08 | |
| 75 | x | x | x | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.09 | |
| 76 | x | x | x | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.09 | |
| 77 | x | x | x | 0.4 | 0.4 | 0.3 | 0.13 | |
| 78 | x | x | x | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.08 | |
| 79 | x | x | x | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.07 | |
| 80 | x | x | x | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.08 | |
| 81 | x | x | x | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.08 | |
| 82 | x | x | x | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.09 | |
| 83 | x | x | x | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.07 | |
| 84 | x | x | x | 0.4 | 0.3 | 0.2 | 0.08 | |
| 第78区 | 85 | 4号墳玄室1群 | x | 0.6 | 0.6 | 0.3 | 0.21 | |
| | 86 | x | x | 0.6 | 0.6 | 0.3 | 0.25 | |
| | 87 | x | x | 0.6 | 0.6 | 0.3 | 0.26 | |
| | 88 | x | x | 0.5 | 0.5 | 0.4 | 0.21 | |
| | 89 | x | x | 0.6 | 0.5 | 0.4 | 0.21 | |
| | 90 | x | x | 0.6 | 0.6 | 0.3 | 0.20 | |
| | 91 | x | x | 0.6 | 0.5 | 0.4 | 0.23 | |
| | 92 | x | x | 0.6 | 0.6 | 0.3 | 0.19 | |
| | 93 | x | x | 0.6 | 0.5 | 0.3 | 0.19 | |
| | 94 | x | x | 0.7 | 0.7 | 0.4 | 0.33 | |

| 番号 | 名称 | 遺構名 | 材質 | 長(cm) | 幅(cm) | 厚(cm) | 重量(g) | 備考 |
|----------|-------|---------|-----|-------|-------|-------|-------|------|
| 第78図 95 | ガラス小玉 | 4号墳玄室1群 | ガラス | 0.7 | 0.6 | 0.3 | 0.23 | |
| 96 | × | × | × | 0.5 | 0.5 | 0.3 | 0.18 | |
| 97 | × | × | × | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.22 | |
| 98 | × | × | × | 0.6 | 0.5 | 0.3 | 0.23 | |
| 99 | × | × | × | 0.5 | 0.5 | 0.4 | 0.20 | |
| 100 | × | × | × | 0.5 | 0.5 | 0.3 | 0.14 | |
| 101 | × | × | × | 0.5 | 0.5 | 0.3 | 0.16 | |
| 102 | × | × | × | 0.6 | 0.6 | 0.4 | 0.22 | |
| 103 | × | × | × | 0.5 | 0.5 | 0.4 | 0.17 | |
| 104 | × | × | × | 0.6 | 0.5 | 0.3 | 0.21 | |
| 105 | × | × | × | 0.5 | 0.5 | 0.4 | 0.19 | |
| 106 | × | × | × | 0.5 | 0.5 | 0.4 | 0.21 | |
| 107 | × | × | × | 0.6 | 0.5 | 0.4 | 0.15 | |
| 108 | × | × | × | 0.6 | 0.5 | 0.3 | 0.20 | |
| 109 | × | × | × | 0.5 | 0.5 | 0.4 | 0.21 | |
| 110 | × | × | × | 0.6 | 0.5 | 0.4 | 0.15 | |
| 111 | × | × | × | 0.6 | 0.5 | 0.4 | 0.18 | |
| 112 | × | × | × | 0.6 | 0.5 | 0.4 | 0.20 | |
| 113 | × | × | × | 0.6 | 0.5 | 0.3 | 0.16 | |
| 114 | × | × | × | 0.5 | 0.5 | 0.4 | 0.16 | |
| 115 | × | × | × | 0.6 | 0.6 | 0.4 | 0.19 | |
| 116 | × | × | × | 0.6 | 0.6 | 0.3 | 0.13 | |
| 117 | × | × | × | 0.6 | 0.6 | 0.4 | 0.17 | |
| 118 | × | × | × | 0.6 | 0.5 | 0.5 | 0.15 | |
| 119 | × | × | × | 0.6 | 0.6 | 0.3 | 0.18 | |
| 120 | × | × | × | 0.6 | 0.6 | 0.4 | 0.23 | |
| 121 | × | × | × | 0.6 | 0.6 | 0.4 | 0.19 | |
| 122 | × | × | × | 0.6 | 0.6 | 0.4 | 0.16 | |
| 123 | × | × | × | 0.6 | 0.6 | 0.4 | 0.18 | |
| 124 | × | × | × | 0.6 | 0.6 | 0.3 | 0.19 | |
| 125 | × | × | × | 0.7 | 0.6 | 0.4 | 0.22 | |
| 126 | × | × | × | 0.6 | 0.6 | 0.3 | 0.22 | |
| 127 | × | × | × | 0.7 | 0.7 | 0.4 | 0.29 | |
| 128 | ガラス小玉 | 4号墳玄室3群 | ガラス | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 0.22 | |
| 129 | × | × | × | 0.5 | 0.5 | 0.4 | 0.20 | |
| 130 | × | × | × | 0.6 | 0.6 | 0.4 | 0.25 | |
| 131 | × | × | × | 0.5 | 0.5 | 0.4 | 0.18 | |
| 132 | × | × | × | 0.6 | 0.4 | 0.4 | 0.23 | |
| 133 | × | × | × | 0.6 | 0.6 | 0.4 | 0.16 | |
| 第80図 134 | 土製小玉 | 4号墳玄室4群 | 土 | 0.7 | 0.7 | 0.7 | 0.36 | |
| 135 | × | × | × | 0.9 | 0.8 | 0.7 | 0.39 | 一部破損 |
| 136 | × | × | × | 0.9 | 0.8 | 0.7 | 0.52 | |
| 137 | × | × | × | 0.8 | 0.9 | 0.7 | 0.39 | |
| 138 | × | × | × | 0.8 | 0.8 | 0.8 | 0.40 | |
| 139 | × | × | × | 0.8 | 0.8 | 0.6 | 0.37 | |
| 140 | × | × | × | 0.8 | 0.8 | 0.8 | 0.56 | |
| 141 | × | × | × | 0.7 | 0.7 | 0.5 | 0.12 | 一部破損 |
| 142 | × | × | × | 0.9 | 0.9 | 0.6 | 0.50 | |

| 番号 | 名称 | 遺構名 | 材質 | 長(cm) | 幅(cm) | 厚(cm) | 重量(g) | 備考 |
|----------|-------|----------|-----|-------|-------|-------|-------|------|
| 第80図 143 | 土製小玉 | 4号玄室床4群 | 土 | 0.9 | 0.8 | 0.7 | 0.50 | |
| 144 | フ | フ | フ | 0.9 | 0.9 | 0.8 | 0.66 | |
| 145 | フ | フ | フ | 0.9 | 0.8 | 0.8 | 0.62 | |
| 146 | フ | フ | フ | 0.8 | 0.8 | 0.7 | 0.43 | |
| 147 | フ | フ | フ | 0.8 | 0.8 | 0.5 | 0.35 | |
| 148 | フ | フ | フ | 0.9 | 0.9 | 0.8 | 0.57 | |
| 149 | フ | フ | フ | 0.9 | 0.9 | 0.8 | 0.58 | |
| 150 | フ | フ | フ | 0.9 | 0.9 | 0.8 | 0.53 | |
| 151 | フ | フ | フ | 0.9 | 0.9 | 0.8 | 0.57 | |
| 152 | フ | フ | フ | 0.8 | 0.8 | 0.7 | 0.40 | |
| 153 | フ | フ | フ | 0.8 | 0.8 | 0.7 | 0.32 | |
| 154 | フ | フ | フ | 0.9 | 0.9 | 0.7 | 0.56 | |
| 155 | フ | フ | フ | 0.9 | 0.9 | 0.7 | 0.59 | |
| 156 | フ | フ | フ | 0.8 | 0.8 | 0.8 | 0.37 | |
| 157 | フ | フ | フ | 0.8 | 0.8 | 0.7 | 0.47 | |
| 158 | フ | フ | フ | 0.9 | 0.8 | 0.7 | 0.42 | |
| 159 | フ | フ | フ | 0.9 | 0.9 | 0.8 | 0.63 | |
| 160 | フ | フ | フ | 0.9 | 0.8 | 0.6 | 0.43 | |
| 161 | フ | フ | フ | 0.9 | 0.9 | 0.7 | 0.57 | |
| 162 | フ | フ | フ | 0.8 | 0.7 | 0.6 | 0.31 | |
| 163 | フ | フ | フ | 0.9 | 0.8 | 0.6 | 0.39 | |
| 164 | フ | フ | フ | 0.8 | 0.8 | 0.7 | 0.50 | |
| 165 | 土製小玉 | 4号墳玄室床1群 | 土 | 0.9 | 0.8 | 0.6 | 0.65 | 一部破損 |
| 166 | フ | フ | フ | 0.9 | 0.8 | 0.8 | 0.56 | |
| 167 | フ | フ | フ | 0.9 | 0.9 | 0.8 | 0.58 | |
| 168 | ガラス小玉 | 4号墳玄室床2群 | ガラス | 0.6 | 0.5 | 0.4 | 0.43 | |
| 169 | フ | フ | フ | 0.6 | 0.6 | 0.4 | 0.36 | |
| 170 | フ | フ | フ | 0.5 | 0.5 | 0.4 | 0.29 | |
| 171 | フ | フ | フ | 0.6 | 0.6 | 0.4 | 0.29 | |
| 172 | フ | フ | フ | 0.5 | 0.5 | 0.4 | 0.35 | |
| 173 | フ | フ | フ | 0.5 | 0.5 | 0.4 | 0.40 | |
| 174 | フ | フ | フ | 0.5 | 0.5 | 0.4 | 0.32 | |
| 175 | フ | フ | フ | 0.5 | 0.5 | 0.4 | 0.31 | |
| 176 | フ | フ | フ | 0.5 | 0.5 | 0.4 | 0.32 | |
| 177 | フ | フ | フ | 0.6 | 0.6 | 0.3 | 0.30 | |
| 178 | フ | フ | フ | 0.6 | 0.6 | 0.3 | 0.25 | |
| 179 | フ | フ | フ | 0.5 | 0.5 | 0.4 | 0.35 | |
| 180 | フ | フ | フ | 0.6 | 0.6 | 0.4 | 0.37 | |
| 181 | フ | フ | フ | 0.6 | 0.5 | 0.4 | 0.40 | |
| 182 | フ | フ | フ | 0.6 | 0.6 | 0.4 | 0.35 | |
| 183 | フ | フ | フ | 0.6 | 0.6 | 0.3 | 0.22 | |
| 184 | フ | フ | フ | 0.4 | 0.4 | 0.4 | 0.20 | |
| 185 | ガラス小玉 | 4号墳玄室床4群 | ガラス | 0.7 | 0.7 | 0.4 | 0.34 | |
| 186 | フ | フ | フ | 0.7 | 0.7 | 0.4 | 0.35 | |
| 187 | フ | フ | フ | 0.7 | 0.7 | 0.5 | 0.41 | |
| 188 | フ | フ | フ | 0.8 | 0.7 | 0.5 | 0.45 | |
| 189 | ガラス小玉 | 4号墳玄室床6群 | ガラス | 1.0 | 1.0 | 0.8 | 0.98 | |
| 190 | フ | フ | フ | 0.8 | 0.8 | 0.4 | 0.39 | |

| 番号 | 名称 | 遺構名 | 材質 | 長(cm) | 幅(cm) | 厚(cm) | 重量(g) | 備考 |
|------|-----|-------|----------|-------|-------|-------|-------|------|
| 第80回 | 191 | ガラス小玉 | 4号墳玄室床6群 | ガラス | 1.1 | 1.0 | 0.8 | 1.06 |
| | 192 | フ | フ | フ | 1.0 | 1.0 | 0.6 | 0.98 |
| | 193 | フ | フ | フ | 1.1 | 1.1 | 0.7 | 1.16 |
| | 194 | フ | フ | フ | 0.8 | 0.8 | 0.7 | 0.72 |
| | 195 | フ | フ | フ | 0.9 | 0.8 | 0.6 | 0.51 |
| | 196 | フ | フ | フ | 0.8 | 0.8 | 0.5 | 0.48 |
| | 197 | フ | フ | フ | 1.0 | 1.0 | 0.5 | 0.81 |
| | 198 | フ | フ | フ | 0.7 | 0.7 | 0.5 | 0.30 |
| | 199 | フ | フ | フ | 0.8 | 0.7 | 0.5 | 0.49 |
| | 200 | フ | フ | フ | 0.7 | 0.6 | 0.6 | 0.29 |
| | 201 | フ | フ | フ | 0.8 | 0.8 | 0.6 | 0.51 |
| | 202 | フ | フ | フ | 0.8 | 0.8 | 0.6 | 0.62 |
| | 203 | フ | フ | フ | 0.8 | 0.8 | 0.6 | 0.60 |
| | 204 | フ | フ | フ | 0.6 | 0.6 | 0.4 | 0.18 |
| | 205 | フ | フ | フ | 0.6 | 0.6 | 0.4 | 0.15 |
| | 206 | フ | フ | フ | 0.6 | 0.5 | 0.6 | 0.39 |
| | 207 | フ | フ | フ | 0.8 | 0.7 | 0.6 | 0.35 |
| | 208 | フ | フ | フ | 0.9 | 0.9 | 0.7 | 0.87 |
| | 209 | フ | フ | フ | 1.0 | 1.0 | 0.7 | 0.64 |
| | 210 | フ | フ | フ | 0.6 | 0.6 | 0.6 | 0.29 |
| | 211 | フ | フ | フ | 0.9 | 0.8 | 0.5 | 0.31 |
| 第80回 | 212 | 土製小玉 | 4号墳玄室床4群 | 土 | 0.8 | 0.8 | 0.6 | 0.55 |
| | 213 | フ | フ | フ | 0.9 | 0.8 | 0.8 | 0.50 |
| | 214 | フ | フ | フ | 0.9 | 0.9 | 0.7 | 0.63 |
| | 215 | フ | フ | フ | 0.9 | 0.9 | 0.7 | 0.52 |
| | 216 | フ | フ | フ | 0.8 | 0.8 | 0.7 | 0.46 |
| | 217 | フ | フ | フ | 0.8 | 0.8 | 0.7 | 0.43 |
| | 218 | フ | フ | フ | 0.8 | 0.8 | 0.6 | 0.41 |
| | 219 | フ | フ | フ | 0.8 | 0.8 | 0.6 | 0.44 |
| | 220 | フ | フ | フ | 0.8 | 0.8 | 0.7 | 0.45 |
| | 221 | フ | フ | フ | 0.8 | 0.8 | 0.8 | 0.50 |
| | 222 | フ | フ | フ | 0.9 | 0.9 | 0.6 | 0.43 |
| | 223 | フ | フ | フ | 0.9 | 0.8 | 0.8 | 0.52 |
| | 224 | フ | フ | フ | 0.9 | 0.8 | 0.7 | 0.49 |
| | 225 | フ | フ | フ | 0.8 | 0.8 | 0.7 | 0.50 |
| | 226 | フ | フ | フ | 0.7 | 0.7 | 0.7 | 0.40 |
| | 227 | フ | フ | フ | 0.7 | 0.7 | 0.7 | 0.40 |
| | 228 | フ | フ | フ | 0.7 | 0.7 | 0.7 | 0.38 |
| | 229 | フ | フ | フ | 0.7 | 0.7 | 0.6 | 0.31 |
| | 230 | フ | フ | フ | 0.9 | 0.9 | 0.6 | 0.50 |
| | 231 | フ | フ | フ | 0.7 | 0.7 | 0.6 | 0.35 |
| | 232 | フ | フ | フ | 0.7 | 0.7 | 0.7 | 0.38 |
| | 233 | ガラス小玉 | 4号墳玄室7群 | ガラス | 0.6 | 0.6 | 0.5 | 0.25 |
| 第79回 | 234 | 土製小玉 | フ | 土 | 0.9 | 0.9 | 0.8 | 0.62 |
| | 235 | ガラス小玉 | フ | ガラス | 0.8 | 0.8 | 0.7 | 0.62 |
| | 236 | フ | フ | フ | 1.0 | 1.0 | 0.7 | 0.84 |
| | 237 | フ | フ | フ | 0.7 | 0.7 | 0.5 | 0.31 |
| | 238 | フ | フ | フ | 0.7 | 0.7 | 0.4 | 0.30 |

一部破損

| 番号 | 名称 | 遺構名 | 材質 | 長(cm) | 幅(cm) | 厚(cm) | 重量(g) | 備考 |
|----------|-------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|----|
| 第80図 239 | ガラス小玉 | 4号墳玄室床 | ガラス | 0.5 | 0.5 | 0.3 | 0.17 | |
| 240 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.3 | 0.09 | |
| 241 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.3 | 0.09 | |
| 242 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.07 | |
| 243 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.06 | |
| 244 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.05 | |
| 245 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.04 | |
| 246 | × | × | × | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.04 | |
| 247 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.04 | |
| 248 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.05 | |
| 249 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.04 | |
| 250 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.04 | |
| 251 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.04 | |
| 252 | × | × | × | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.01 | |
| 253 | × | × | × | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.03 | |
| 254 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.3 | 0.04 | |
| 255 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.04 | |
| 256 | × | × | × | 0.5 | 0.4 | 0.3 | 0.04 | |
| 257 | × | × | × | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.03 | |
| 258 | × | × | × | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.04 | |
| 259 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.04 | |
| 260 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.3 | 0.03 | |
| 261 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.3 | 0.04 | |
| 262 | × | × | × | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.02 | |
| 263 | × | × | × | 0.3 | 0.3 | 0.1 | 0.01 | |
| 264 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.03 | |
| 265 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.03 | |
| 266 | × | × | × | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.02 | |
| 267 | × | × | × | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.02 | |
| 268 | × | × | × | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.02 | |
| 269 | × | × | × | 0.5 | 0.5 | 0.3 | 0.06 | |
| 270 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.03 | |
| 271 | × | × | × | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.02 | |
| 272 | × | × | × | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 0.01 | |
| 273 | × | × | × | 0.2 | 0.3 | 0.2 | 0.02 | |
| 274 | × | × | × | 0.4 | 0.4 | 0.3 | 0.03 | |
| 275 | × | × | × | 1.1 | 1.1 | 0.7 | 1.00 | |
| 276 | × | × | × | 0.8 | 0.8 | 0.6 | 0.55 | |
| 277 | × | × | × | 0.7 | 0.7 | 0.7 | 0.49 | |
| 278 | × | × | × | 0.7 | 0.7 | 0.4 | 0.22 | |
| 279 | × | × | × | 0.5 | 0.5 | 0.4 | 0.15 | |
| 280 | × | × | × | 0.5 | 0.5 | 0.4 | 0.18 | |
| 281 | × | × | × | 0.6 | 0.5 | 0.4 | 0.13 | |
| 282 | × | × | × | 0.6 | 0.6 | 0.4 | 0.15 | |
| 283 | × | × | × | 0.6 | 0.6 | 0.4 | 0.19 | |
| 284 | × | × | × | 0.5 | 0.5 | 0.4 | 0.05 | |
| 285 | × | × | × | 0.5 | 0.5 | 0.3 | 0.05 | |
| 286 | × | × | × | 0.6 | 0.5 | 0.4 | 0.14 | |

| 番号 | 名称 | 遺構名 | 材質 | 長(cm) | 幅(cm) | 厚(cm) | 重量(g) | 備考 |
|-------------|-------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|------------|
| 287 | ガラス小玉 | 4号墳玄室床 | ガラス | 0.5 | 0.5 | 0.4 | 0.14 | |
| 288 | " | " | " | 0.5 | 0.5 | 0.4 | 0.15 | |
| 289 | " | " | " | 0.6 | 0.6 | 0.4 | 0.15 | |
| 290 | " | " | " | 0.6 | 0.6 | 0.4 | 0.16 | |
| 291 | " | " | " | 0.6 | 0.6 | 0.4 | 0.17 | |
| 292 | " | " | " | 0.5 | 0.5 | 0.3 | 0.12 | |
| 293 | " | " | " | 0.5 | 0.5 | 0.4 | 0.18 | |
| 294 | " | " | " | 0.6 | 0.6 | 0.3 | 0.12 | |
| 295 | " | " | " | 0.6 | 0.6 | 0.4 | 0.15 | |
| 296 | " | " | " | 0.5 | 0.5 | 0.4 | 0.11 | |
| 297 | " | " | " | 1.6 | 0.6 | 0.3 | 0.12 | |
| 298 | " | " | " | 0.6 | 0.6 | 0.4 | 0.14 | |
| 299 | " | " | " | 0.5 | 0.4 | 0.4 | 0.12 | |
| 300 | " | " | " | 0.5 | 0.5 | 0.2 | 0.05 | |
| 301 | " | " | " | 0.6 | 0.6 | 0.3 | 0.19 | |
| 302 | " | " | " | 0.6 | 0.6 | 0.3 | 0.09 | |
| 303 | " | " | " | 0.6 | 0.5 | 0.2 | 0.08 | |
| 304 | " | " | " | 0.6 | 0.6 | 0.3 | 0.12 | |
| 305 | " | " | " | 0.6 | 0.5 | 0.3 | 0.12 | |
| 306 | ガラス小玉 | 4号墳 | ガラス | 0.8 | 0.8 | 0.5 | 0.34 | |
| 307 | " | " | " | 0.7 | 0.6 | 0.5 | 0.34 | |
| 308 | " | " | " | 0.7 | 0.6 | 0.7 | 0.54 | |
| 第77図 309 | 切子玉 | " | 水晶 | 1.7 | 1.1 | 1.1 | 2.52 | 1~6に入る可能性有 |
| 第80図 310 | 土製小玉 | 4号墳玄室床 | 土 | 0.8 | 0.8 | 0.6 | 0.49 | |
| 311 | " | " | " | 0.8 | 0.8 | 0.5 | 0.39 | |
| 312 | " | " | " | 0.7 | 0.7 | 0.6 | 0.40 | |
| 313 | " | " | " | 0.8 | 0.8 | 0.7 | 0.52 | |
| 314 | " | " | " | 0.9 | 0.9 | 0.7 | 0.58 | |
| 315 | " | " | " | 0.8 | 0.8 | 0.8 | 0.59 | |
| 316 | " | " | " | 0.8 | 0.8 | 0.7 | 0.47 | |
| 317 | " | " | " | 0.8 | 0.8 | 0.7 | 0.51 | |
| 318 | " | " | " | 0.9 | 0.9 | 0.7 | 0.48 | |
| 第81図 319 | " | " | " | 0.8 | 0.8 | 0.7 | 0.39 | |
| 320 | " | " | " | 0.9 | 0.9 | 0.7 | 0.45 | |
| 321 | " | " | " | 0.9 | 0.9 | 0.6 | 0.46 | |
| 322 | " | " | " | 0.9 | 0.9 | 0.6 | 0.47 | |
| 323 | " | " | " | 1.0 | 0.9 | 0.6 | 0.42 | |
| 324 | " | " | " | 0.8 | 0.8 | 0.5 | 0.34 | |
| 325 | " | " | " | 0.7 | 0.7 | 0.4 | 0.24 | |
| 326 | " | " | " | 0.8 | 0.8 | 0.6 | 0.28 | |
| 327 | " | " | " | 0.9 | 0.9 | 0.5 | 0.37 | |
| 328 | " | " | " | 0.9 | 0.9 | 0.7 | 0.51 | |
| 329 | " | " | " | 0.8 | 0.8 | 0.7 | 0.47 | |
| 330 | " | " | " | 0.9 | 0.8 | 0.7 | 0.43 | 一部破損 |
| 331 | " | " | " | 0.8 | 0.7 | 0.5 | 0.35 | " |
| 332 | " | " | " | 0.8 | 0.6 | 0.6 | 0.37 | " |
| 333 | " | " | " | 0.8 | 0.7 | 0.6 | 0.29 | " |
| 334 | " | " | " | 0.8 | 0.8 | 0.6 | 0.42 | " |

| 番号 | 名称 | 遺構名 | 材質 | 長(cm) | 幅(cm) | 厚(cm) | 重量(g) | 備考 |
|----------|-------|----------|-----|-------|-------|-------|-------|------|
| 第81図 335 | 土製小玉 | 4号墳玄室床 | 土 | 0.8 | 0.8 | 0.7 | 0.53 | |
| 336 | × | 4号墳玄室床3群 | 土 | 0.9 | 0.9 | 0.6 | 0.47 | |
| 337 | × | × | 土 | 0.8 | 0.7 | 0.7 | 0.36 | 一部破損 |
| 338 | × | × | 土 | 0.8 | 0.8 | 0.7 | 0.50 | |
| 339 | × | × | 土 | 0.8 | 0.7 | 0.7 | 0.35 | |
| 340 | × | × | 土 | 0.8 | 0.8 | 0.7 | 0.50 | |
| 341 | × | × | 土 | 0.8 | 0.8 | 0.6 | 0.46 | |
| 342 | × | × | 土 | 0.8 | 0.8 | 0.6 | 0.43 | |
| 343 | × | × | 土 | 0.9 | 0.9 | 0.6 | 0.52 | |
| 344 | × | × | 土 | 0.9 | 0.9 | 0.8 | 0.70 | |
| 345 | × | × | 土 | 0.8 | 0.8 | 0.6 | 0.43 | |
| 346 | × | × | 土 | 0.8 | 0.8 | 0.6 | 0.41 | |
| 347 | × | × | 土 | 0.9 | 0.9 | 0.6 | 0.48 | |
| 348 | × | × | 土 | 0.8 | 0.8 | 0.7 | 0.60 | |
| 349 | × | × | 土 | 0.8 | 0.8 | 0.7 | 0.53 | |
| 350 | × | × | 土 | 0.8 | 0.8 | 0.6 | 0.46 | |
| 351 | × | × | 土 | 0.8 | 0.8 | 0.8 | 0.53 | |
| 352 | × | × | 土 | 0.8 | 0.8 | 0.6 | 0.46 | |
| 353 | × | × | 土 | 0.7 | 0.7 | 0.7 | 0.45 | |
| 354 | × | × | 土 | 0.7 | 0.7 | 0.9 | 0.57 | |
| 355 | × | × | 土 | 0.8 | 0.8 | 0.7 | 0.38 | |
| 356 | × | × | 土 | 0.9 | 0.9 | 0.7 | 0.57 | |
| 357 | × | × | 土 | 0.8 | 0.8 | 0.7 | 0.53 | |
| 358 | × | × | 土 | 0.8 | 0.8 | 0.6 | 0.42 | |
| 第79図 359 | ガラス小玉 | 4号墳玄室床 | ガラス | 0.7 | 0.7 | 0.6 | 0.47 | |
| 360 | × | × | ガラス | 0.7 | 0.7 | 0.4 | 0.33 | |
| 361 | × | × | ガラス | 0.7 | 0.7 | 0.4 | 0.28 | |
| 362 | × | × | ガラス | 0.7 | 0.7 | 0.3 | 0.23 | |
| 363 | × | × | ガラス | 0.8 | 0.8 | 0.6 | 0.45 | |
| 363 | × | × | ガラス | 0.8 | 0.8 | 0.6 | 0.45 | |
| 364 | × | × | ガラス | 0.6 | 0.6 | 0.4 | 0.21 | |
| 第77図 365 | 切子玉 | 4号墳玄室床 | 水晶 | 1.5 | 1.1 | 1.1 | 2.42 | |
| 366 | × | × | 水晶 | 1.1 | 1.1 | 0.9 | 1.71 | |
| 367 | × | × | 水晶 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 3.08 | |
| 368 | × | × | 水晶 | 1.5 | 1.3 | 1.3 | 3.22 | |
| 第81図 369 | 土製管玉 | 5号墳玄室床 | 土 | 1.8 | 0.6 | 0.6 | 0.63 | |
| 370 | 土製小玉 | 5号墳玄室床 | 土 | 0.8 | 0.8 | 0.5 | 0.34 | |
| 371 | × | 5号墳玄室床 | 土 | 0.9 | 0.9 | 0.6 | 0.50 | |
| 372 | × | 5号墳玄室床 | 土 | 0.8 | 0.8 | 0.5 | 0.22 | |
| 373 | × | 5号墳玄室床 | 土 | 0.6 | 0.6 | 0.4 | 0.13 | |
| 374 | × | 5号墳玄室床 | 土 | 0.8 | 0.8 | 0.5 | 0.29 | |
| 375 | × | 5号墳玄室床 | 土 | 0.8 | 0.8 | 0.5 | 0.29 | |
| 376 | × | 5号墳玄室床 | 土 | 0.8 | 0.7 | 0.4 | 0.30 | |
| 377 | × | 5号墳玄室床 | 土 | 0.8 | 0.8 | 0.5 | 0.37 | |
| 378 | × | 5号墳玄室床 | 土 | 0.8 | 0.8 | 0.5 | 0.33 | |
| 379 | × | 5号墳玄室床 | 土 | 0.9 | 0.8 | 0.5 | 0.42 | |
| 380 | × | 5号墳玄室床 | 土 | 0.8 | 0.8 | 0.5 | 0.26 | |
| 381 | × | 5号墳玄室床 | 土 | 0.7 | 0.7 | 0.4 | 0.22 | |

| 番号 | 名称 | 遺構名 | 材質 | 長(cm) | 幅(cm) | 厚(cm) | 重量(g) | 備考 |
|----------|-------|-----------|-----|-------|-------|-------|-------|----|
| 第81図 382 | 土製小玉 | 5号墳玄室床 | 土 | 0.8 | 0.8 | 0.5 | 0.32 | |
| 383 | " | " | " | 0.8 | 0.8 | 0.5 | 0.29 | |
| 384 | " | " | " | 0.7 | 0.7 | 0.4 | 0.17 | |
| 385 | " | " | " | 0.8 | 0.8 | 0.6 | 0.36 | |
| 386 | " | " | " | 0.8 | 0.8 | 0.5 | 0.32 | |
| 387 | " | 5号墳玄室床6群 | " | 0.8 | 0.8 | 0.5 | 0.32 | |
| 第87図 388 | 管玉 | 5号墳玄室床7群 | 碧玉 | 3.0 | 1.3 | 1.3 | 10.00 | |
| 第81図 389 | 土製小玉 | 5号墳玄室床8群 | 土 | 1.8 | 0.8 | 0.5 | 0.29 | |
| 第87図 390 | 管玉 | 5号墳玄室床9群 | 碧玉 | 2.7 | 1.0 | 1.0 | 4.97 | |
| 391 | 管玉 | 5号墳玄室床10群 | " | 2.9 | 1.0 | 1.0 | 5.62 | |
| 392 | 滑石製小玉 | 5号墳玄室床 | 滑石片 | 1.3 | 1.3 | 0.7 | 1.90 | |
| 393 | " | " | 岩 | 1.0 | 1.0 | 0.5 | 0.66 | |
| 第81図 394 | 埋木玉 | 4号墳玄室 | 木 | 1.0 | 1.0 | 0.6 | 0.46 | |

三ヶ尻林遺跡5号墳（第82～84図）

墳丘がわずかに残り径25m、高さ35cmの地彫れであった。石室は調査区外にのびるが河原石使用の横穴式石室基礎部が検出された。かなり削平されているが疊の抜き取り痕等から幅1.2m前後の玄室が推定できる。奥壁は2次移動したものと復元すると幅1.2mに近いので、左壁プラン状況の観察等から、極くわずかに洞張りを示す長方形に近いプランと思われる。玄室長は左壁の欠失部を玄門位置とすれば2.5m程度である。床は10cm前後の河原石を敷くが、特に形状をそろえた様子はない。後ごめは外側根石がよく残っていた。やや大形砾を「逆U字形」に並べている。石室側壁との中間はやや小形の砾をつめていた。砂利は多く無いので、これらは後ごめ部全体の砾石に相当する。後ごめ外側プランは石室壁とほぼ併行し80～100cmの幅で、右側が厚くなっている。石室は旧地表面の黒色土上に直接築造され特に掘形（ホリカタ）等の地業は施していない。石室壁の根石部は一部くほんでいるが、重量による変化と思われる。周堀は北側が著しく屈曲しやや不規則に巡る。底面は砂利層に達して平坦である。北側に径6mの深掘り部がある。プラン確認状況で周堀の一部と判断した。堀底との比高1.3mで、内面はすべて砂利が露出するが、覆土中に砂利の流入状況は無く、かなり丁寧に掘られている。底面直上と覆土中層に軟質の焼土があった。炭化物は特に無い。北側に偏在し、中層のものは特に厚く大量であった。底面直上のものは径60cm程度の円形状に密に認められたもので、ここだけであった。遺物は石室内から鉄鏃2本分、弓金具（棒状鉄製品）1、玉類（土小玉19、土製管玉1、碧玉製管玉3）、鉄片（刀子茎部片、直刀片）がある。玉類は集中して検出された。墳丘・周堀中から須恵器甕、埴輪（円筒・形象）が少量出土している。墳丘削平や、根切溝の存在等で、これらの中には隣接の4号墳のものも混入していることが考えられる。

三ヶ尻林遺跡6号墳（第85図）

調査できたのは堀の一部のみであった。南側に開口する、おそらくは馬蹄形プランを示すものかも知れない。周堀外側の径は28m程であり、内径は16m程度になる。調査範囲外に墳丘をもつ古墳が隣接しており、これをとり囲む状況である。西側堀はかなり浅く、平底で黒色土がつまっていた。黒色土プランは明瞭であったが、壁はソフトローム土でやや不明確である。底面は砂利混りの

ローム土でやや不明確である。底面は砂利混りのローム面であった。東側は、確認面が既に砂利を多く含む層になり、壁際プランは不明瞭であったが、黒色土はかなりはっきりしていた。一部に急傾斜に落ち込む部分があり、底面の比高差は 90cm、現地表から 2.2m の深さであった。舟底で、砂利層である。ただし 2 m 四方程度で、他の部分はかなり浅くなっている。堀内には両者ともに遺物はなかったがグリッド出土の埴輪片がある。

三ヶ尻林遺跡 7 号墳（第88・89・90図）

墳丘は高さ 2 m、直径 7 m の円形でかなり変形している。

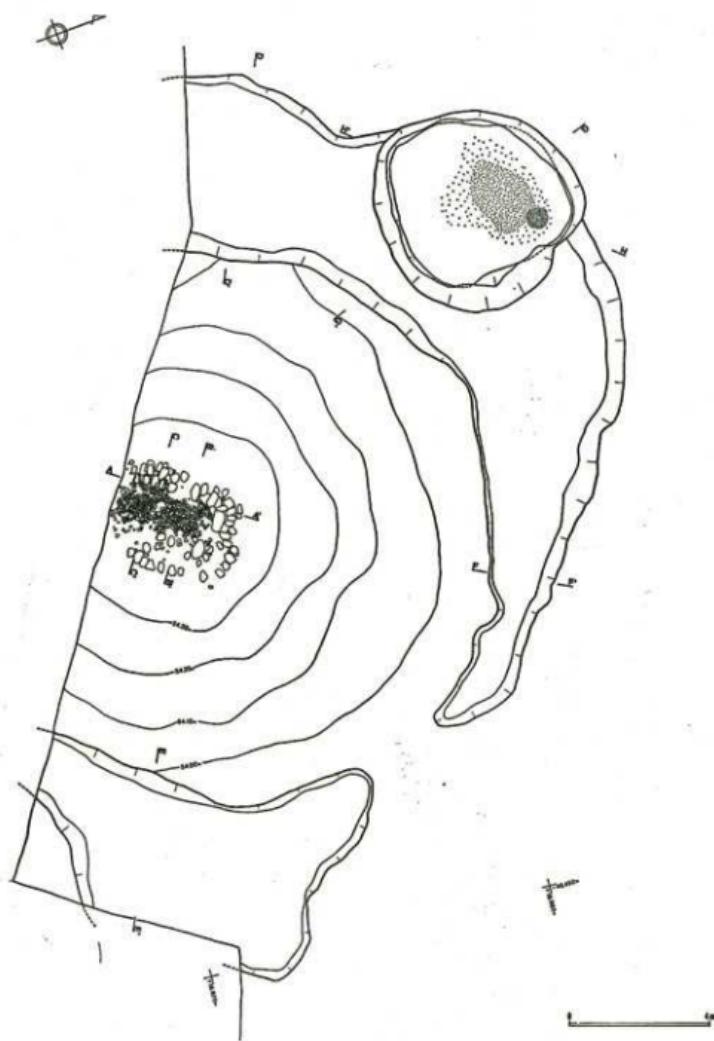
石室は基底部のみ検出された。側壁は石の抜き取り痕が溝状に巡り、奥、左右壁の礫がそれぞれ 1 個原位置で残り、礫床状況等から玄室規模は奥行 2.5m、同幅 1.4m、同主軸 N-43°-E の長方形に近い胴張り型が推定できる。床は 10~15cm 大の扁平自然礫を選び敷き並べていた。南側の境は玄門部に相当し、礫石が置かれていたものと思われる。後ごめは 20~30cm の礫を基礎石として並べ、砂利をつめている。外側の大形礫は後ごめ外側根石であり、残存砂利範囲から「逆 U 字形」の後ごめ外側プランが認められる。石室は後ごめ部も含めて旧地表面の黒色土上にそのまま造られ、特に掘形（ホリカタ）等の施設はなかったが、砂利を上面に敷いた痕跡がある。床面部が特に厚い（10cm）。側壁根石跡のくぼみは重量による二次変化と思われる。

周堀は 3ヶ所で発見されたが、北東側に遊離したものは覆土がやや異なっていたが深さは他のものと同じである。北側と東側のものは一部かなり深く掘り下げられている。現地表下 1.3~2.0m で深い部分と 70~120 cm の差をもち、砂利層を掘り下げている。北堀の一部に箱式石棺が単独で発見されたが、プランとの関連では石棺の方が堀の掘削より古い。なお北側堀の深い部分では外側の傾斜がかなりきつく、内側と対照的であった。

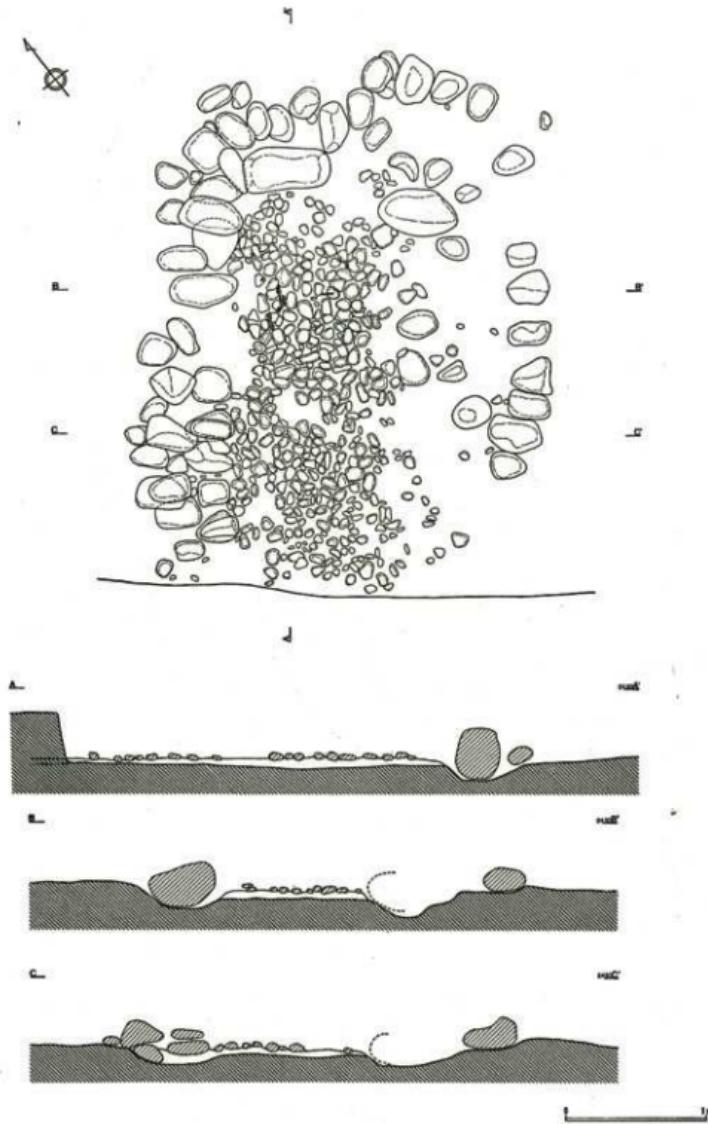
遺物は石室内床面から耳環 2、鉄畿 5~6 本分、鉄片（直刀片？）、弓金具（棒状鉄製品）2、人齒 2、墳丘からは須恵器大甕、埴輪片、繩文土器片（前期）、古銭（寛永通宝）が発見された。又堀内で深い部分の内側斜面中腹に土師器甕が出土しているか、その他覆土の上層中から埴輪片（円筒、形象）、須恵器片（提瓶）、繩文土器片（前期）等が検出された。

三ヶ尻林遺跡 1 号箱式石棺（第91図）

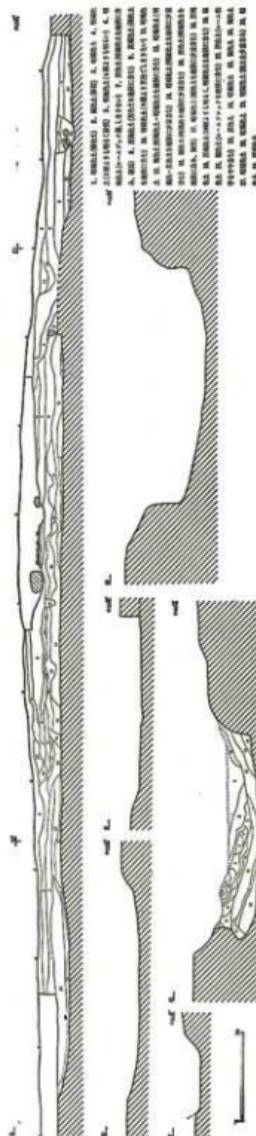
7 号墳の北西周堀に一部かかって発見された。墳丘等の痕跡は全く認められなかった。長さ 1.41 m、幅 38cm、深さ（残存部頂上から礫床中央まで）35cm の非常に整った河原石組の箱式石棺主体部である。主軸は N-5°-E である。用石は長さ 45cm を最大に 35~40cm、高さ、厚さともに 20cm 前後の直方体形の河原石を北および南壁に 1 個、東西の両壁に各々個ずつ長辺側を内面向けて置く。2 次移動礫を除いて、その内面側は平面に近い部分をそろえそれがほぼ垂直になるように、又それぞれきっちりと接して据えつけられている。東（右）壁の南側 3 石の二次移動をもとに復元するときれいな箱形の空間である。周壁は更に一段の礫が積まれ、西壁（東壁も同様と思われる）は北・南壁とは異なる小口積みである。これらの上面はレベルが一定してそろえており、この上に蓋がくるものであろう。しかし、その状況は全く不明であった。床は長さ、幅が 10~15cm、10cm、厚さ 4~5cm の扁平円礫を選んで敷き並べ、中央付近は 1 個ずつ丁寧に貼った状況を示す。東・西両壁際にやや厚く置いた部分があり、横断面が舟底状である。礫床下部は 3cm のローム土を敷いて



第82図 三ヶ尻林遺跡5号墳全体図



第83図 三ヶ尻林遺跡5号墳石室および断面図



第84図 三ヶ尻林遺跡5号墳断面図

いた。掘形（ホリカタ）は石組外周とほぼ同規模で砂利層面まで下っている。礫の背後は直接黒褐色土を充填し、特に蔽きしめはしない。上面に分布する小形礫は平坦面を造り出すためと、蓋の重量により周壁の礫の移動を抑えるためと思われ、その状況は平面、断面図によく示されている。基本的には周壁の裏側には礫を置かず蓋の重量を垂直方向に受けてなお歪まない石積みである。南側の背後の大型礫群は南壁礫（1段）が不整形で不安定なことによる配慮である。南壁礫の影響は平面プランによくあらわれ西壁の小礫は固定補助と思われる。出土遺物は全くなかった。なお7号墳周堀と複合しているが土層観察では判明しなかったが、東壁の上面だけが削られ、また東壁の3石のみにわずかであるが二次移動が認められ、これらは周堀掘削によるものと判断して、7号墳より古いとした。

三ヶ尻林遺跡8号墳（第92図）

深く大形の堀跡である。一部未調査で殆んどが調査範囲外だが、北西側に近接して墳丘が残り、その周堀の一部と思われる。確認面が砂利を多く含むローム層で外側プランの細部は不明であったが明瞭な黒色土が確認された。舟底の底部は北側に浅く、このレベルで調査区外北側に巡るもので最深部を調査したことになる。底面は片側（北側）が特に急斜になる。底面は現地表下2.1mが最深部である。覆土中には土壙（長方形？）、西側底面には攪乱（倒木痕？）がある。遺物は覆土上層に埴輪・炭・焼土が少量検出された。

三ヶ尻林遺跡5号墳出土埴輪（第86図）

胎土

1～2は細かい砂粒を多含するが、2はより多く、かつ粗い小石もかなり含む。3に含まれる砂粒はかなり細かく、多量である。4も含有量が多いが、粒が粗く器表はザラつく。同時に大粒の黒色雲母粒も極めて多く含む。

焼成

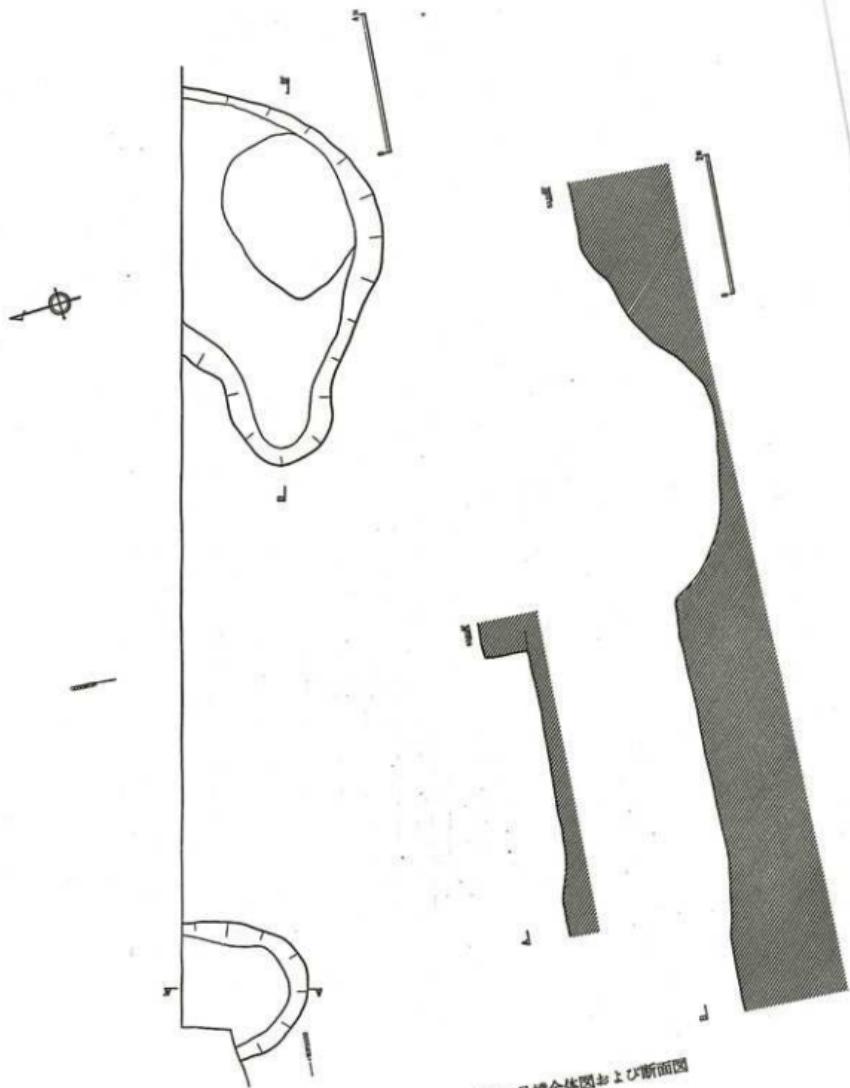
2～3はやや軟質で磨耗度も大きい。1・4はかなり良好であり、1は固くしまった感じを受ける。

色調

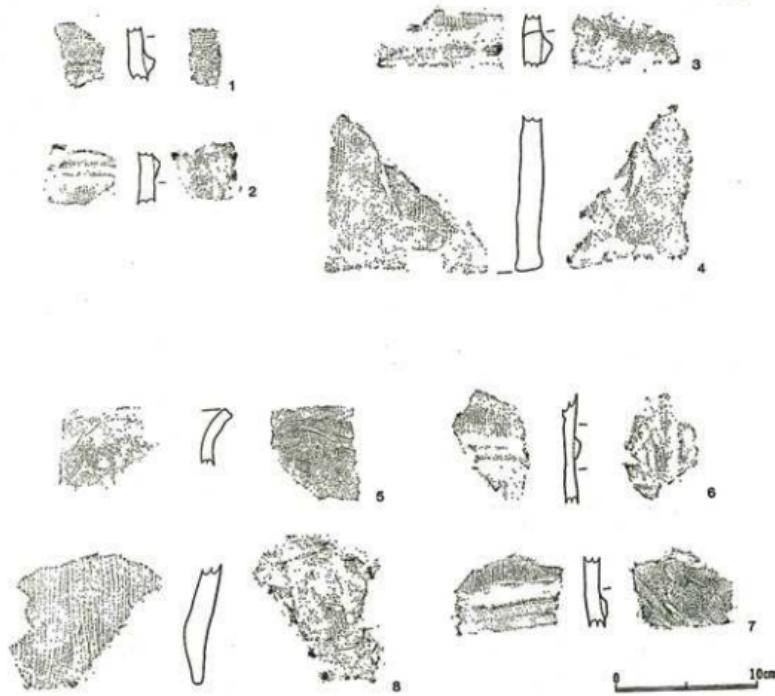
1～3は明赤褐色、2～4は橙色を呈する。

器面調整

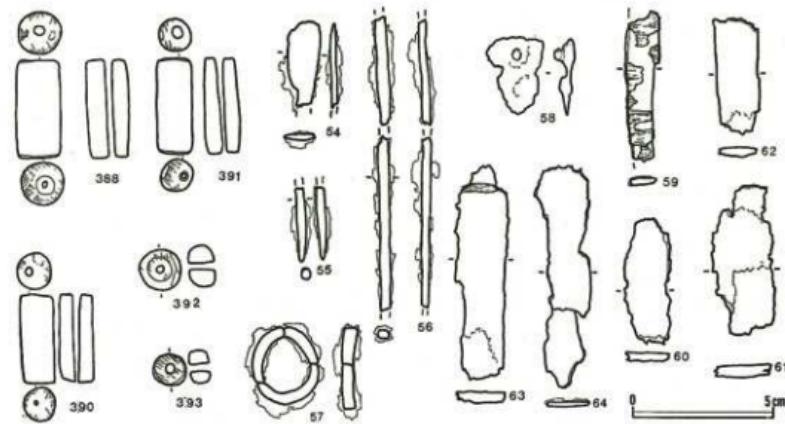
1～4ともに外面は縦方向の刷毛、内面は1が横方向の刷毛、



第85図 三ヶ尻林遺跡6号墳全体図および断面図



第86図 三ヶ尻林遺跡5・6号墳出土埴輪



第87図 三ヶ尻林遺跡5号墳出土管玉・滑石玉・鐵鏃・刀装具・直刀片・刀子片

3が斜方向の刷毛、2・4は斜方向の布撫でとなっている。

円孔の位置と形状

3にごく一部残存するが、ヘラ穿孔の後に撫でが施されたと思われる。突帯の直上に位置する。

突帯の位置と形状

2はその位置不明であるが、1はおそらく朝顔形円筒埴輪のくびれ部、朝顔部と円筒部の境にある突帯と思われる。3は円孔の存在から、その直下に巡るものである。いずれも時計回りに撫でられている。断面は、1が高くて幅の狭い台形、2が低くて広い台形、3はその中間位をそれぞれ呈する。

三ヶ尻林遺跡6号墳（グリッド）出土埴輪（第86図）

胎土

5は極めて微粒の砂をよく含むが、ほとんど目立たない。7も同様であるが、全体に白色微砂粒が多く含まれる。6はやや目の粗い砂粒を多く含み、一部に小石（2～3mm）が見られる。8は他の3片に比して目が粗く、かなり多量の砂と黒色雲母を含む。

焼成

5・6はかなり良好で堅牢な印象を受ける。6・8は磨耗も激しく軟質的であり、特に8はかなり脆弱である。

色調

5・6は橙色、7は灰がかった橙色、8は明赤褐色を呈する。

器面調整

5～8とも外面は縦方向の刷毛であるが、5・7は細かく、8はかなり粗い。また7は深く明瞭に施されている。内面は5が横方向の刷毛、7が斜方向の布撫でとなっている。

円孔の位置と形状

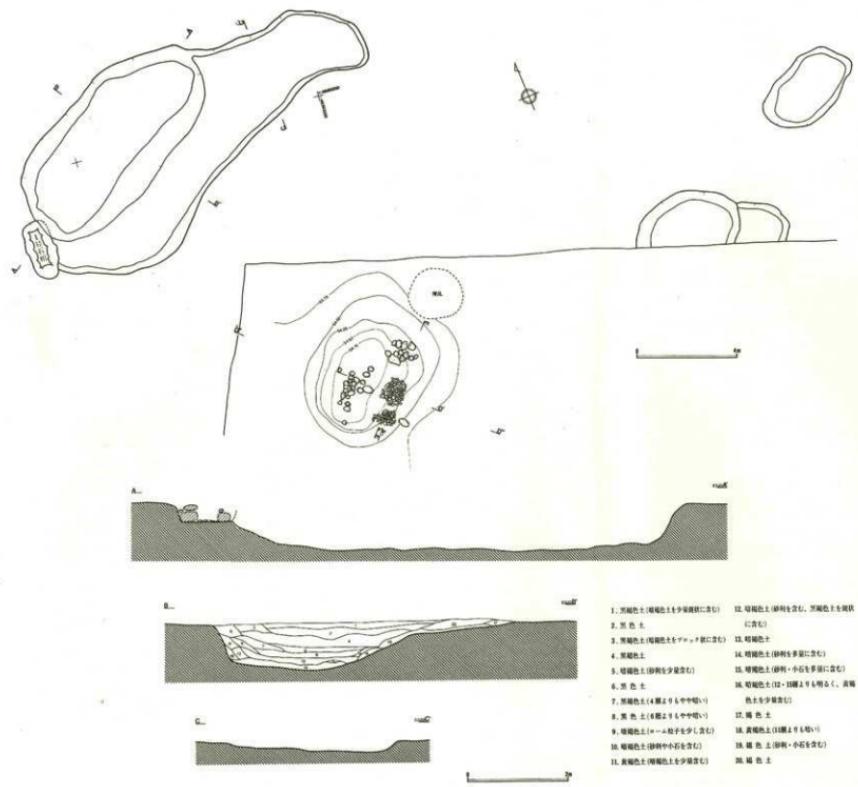
7に一部認められる。突帯の上に位置し、時計回りのヘラ穿孔である。但し、内面は撫で付けてあり、角が丸味を帯びる。

突帯の位置と形状

6は位置不明であるが、器体はこれを境に外反する。断面は低い台形を呈し、下部の撫で付けはない。7は円孔の下位に位置し、断面形は6と同じく低い台形を呈する。しかし幅はかなり広い。

第20表 三ヶ尻林遺跡5号墳・6号墳（グリッド）出土埴輪観察表

| 図版番号 | 器種 | 出土位置 | 器高 | 器厚 | 器径 | 円孔 | 刷毛 | 突帶 | 備考 |
|-------|----|-------|--------|-----|----|----|---------|---------|----|
| 第86図1 | 円筒 | 5号墳周堀 | (3.8) | 1.0 | | | 14本／2cm | 0.8／1.9 | |
| 2 | 円筒 | 5号墳周堀 | (3.2) | 1.1 | | | 12本／2cm | 0.4／1.5 | |
| 3 | 円筒 | 5号墳 | (3.6) | 1.4 | | | 8本／2cm | 0.7／2.0 | |
| 4 | 円筒 | 5号墳周堀 | (11.0) | 1.7 | | | 10本／2cm | | |
| 5 | 円筒 | 6号墳表土 | (3.9) | 0.9 | | | 14本／2cm | | |
| 6 | 円筒 | 6号墳表土 | (7.7) | 0.7 | | | 14本／2cm | 0.5／1.6 | |
| 7 | 円筒 | 6号墳表土 | (5.0) | 1.0 | | | 15本／2cm | 0.4／1.6 | |
| 8 | 円筒 | 6号墳表土 | (8.4) | 1.5 | | | 6本／2cm | | |



第88図 三々尻林遺跡 7号墳全体図および断面図

三ヶ尻林遺跡9号墳（第93図）

調査範囲にわずかにかかるて発見されたものである。明瞭な黒色土落ち込みが発見されたが、この地城は確認面が砂利を含むローム土で、境界プランはかなり不明瞭である。ただし黒色土の状況は他の例と大差ないので古墳周堀の一部と断定した。底面は疊と砂利を多く含む層で止めており、かなりの小おうとつがある平底である。確認面下10cm程度で立ち上がり壁状況は良くない。土層堆積は単純で余り多く分層できない。西側は土壠状の擾乱を受けている。覆土中には遺物がなかった。なおこの発掘区付近は他に3ヶ所の堀の一部が検出されているが、最も近い8号墳のものは隣接する墳丘により、北側に巡るものなので、西側の15号墳とした堀が9号墳のものと同一になる可能性がある。

三ヶ尻林遺跡10号墳（第94図）

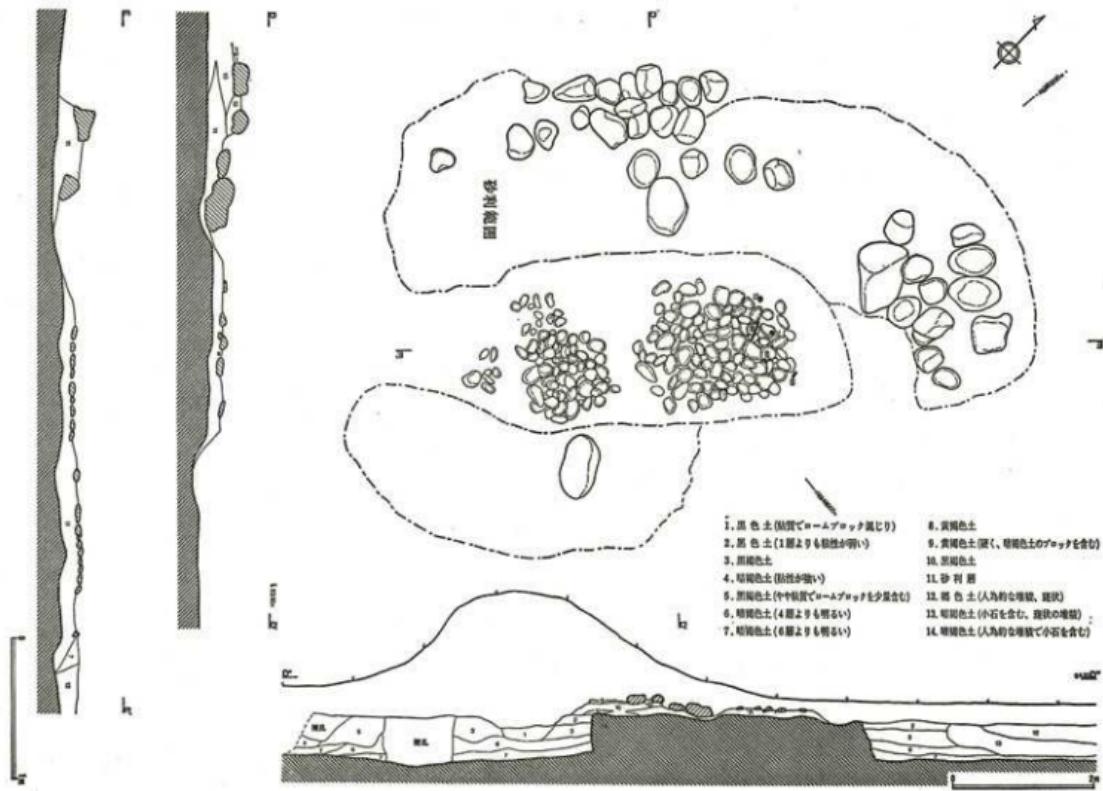
ほとんどが調査区外と道路敷にかかるており、わずかの部分のみが調査できた。幅2.6~3.2mで南へゆくに従って広くなる。南端は後世の溝（排水溝工事）により切断されている。底面は平底で確認面下10~20cmであった。覆土状況は他の例とは異なりやや灰色がかった黒色土ではほぼ一層である。当初は後世の擾乱と思われたが、プランがしっかりとしており、やや湾曲気味なので古墳の堀跡とした。この付近には他の古墳跡が隣接するが6・7・8号墳のものについてはそれぞれ墳丘を伴って巡り、位置関係はしっかりとしている。又9号墳は覆土・プラン状況、位置から南に延び、15号墳堀としたものと結びつく可能性もあるので、湾曲を重視すれば6号墳との間に墳丘存在を考えられる。なお周堀内に遺物はなかった。

三ヶ尻林遺跡11号墳（第95図）

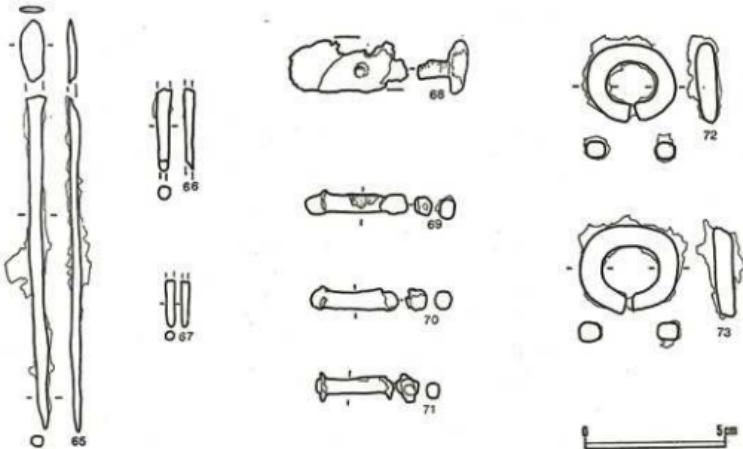
これも堀の一部のみが検出できたものである。黒色土の落ち込みが明瞭で、境界プランもかなりはっきりと確認できた。調査された範囲では最大幅5.4m、深さは確認面下30cm、現地表下1.3mで砂利混りのローム層まで達する。底面は舟底で南側が次第に浅くなり、幅も細くなっている。全体形状は不明であるが、東南側が開く馬蹄形かあるいは「逆U字形」の周堀形態と思われたが、それには対応すると思われるB区の東北寄り部分には検出できなかった。ただし位置関係を観察するとB区は既に開口部に相当すると思われる所以、「逆U字形」の可能性が強い。出土遺物は埴輪細片（円筒・形象）が堀内及び周辺のグリット中から検出された。

三ヶ尻林遺跡12号墳（第96図）

墳丘・石室は既に全く削平されていた。周堀プランはおうとつが目立つが、遺構確認面が疊混りローム層であることによる。堀底レベルが縄文時代前期住居跡床面とほぼ近いものもあり、不整形周堀にみえるが、実際は外径26.4m、堀幅2.7mのかなり整った円形プランになっている。堀底もほぼ一定レベルである。西側が一部断続しているが縄文時代住居跡部分であり、両端の堀のレベル状況から連続していた可能性がある。東側は明らかに13号墳周堀を避けた結果である。北東部が一部深く掘られ6.4m×5.2m、堀底との比高80cm、現地表下1.8mのピットがある。底面は全くの砂利層である。遺物はこのピット付近で極く少量の埴輪片（円筒形象）があった他に、ピット覆土上層でフイゴ羽口・鉄製品（角釘、帶状金具）鉄カス、灯明皿等が出土している。



第89図 三ヶ尻林道7号墳石室および断面図



第90図 三ヶ尻林遺跡7号墳 鉄鏡・弓金具(棒状金具)・耳環

三ヶ尻林遺跡13号墳（第98図）

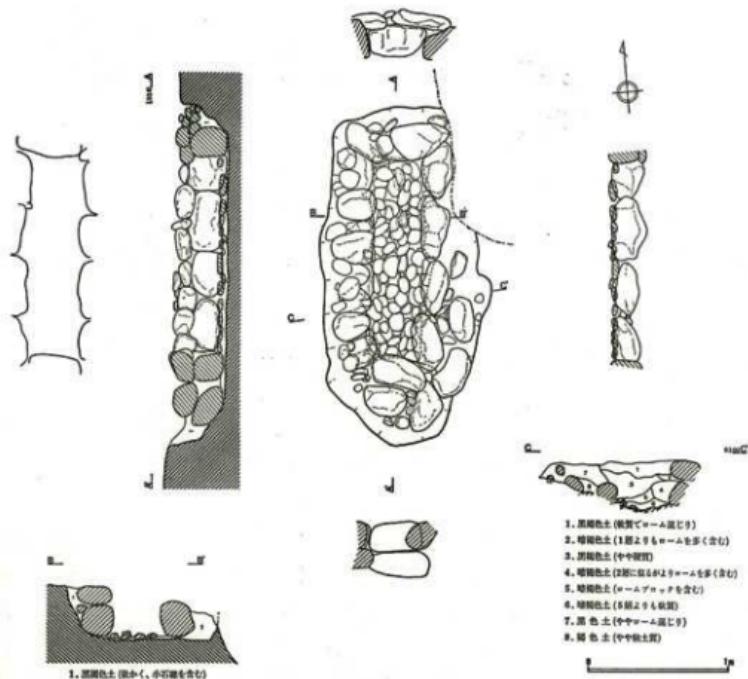
墳丘、石室は全く削平されている。検出された周堀は外径25.6m、内径18.0mでよく整ったプランを示す。堀幅は3.2~4.4mで差があるが底面は疊層上面で掘り止めているので平底である。底面レベルは東側に低く、50cmの差があるが、自然傾斜に沿っている。堀内および墳丘部に縄文時代前期住居跡及び古墳より新しい土壇、小ピットがあった周堀中の北側と西側に深掘り部分がある。直径4.0m、4.2m、堀底との比高1.3m・0.9m、現地表面下2.5m・2.0mでいざれも砂利層を深く掘ったものである。西側の覆土中に焼土層が検出された。遺物は埴輪片（円筒・形象）、須恵器裏片が西側深掘り部周辺で出土している他、縄文時代前期の石斧・土器が墳丘部内で検出された。

三ヶ尻林遺跡14号墳（第97図）

E区で発見されたものである。墳丘は全く削平されていた。現地表下90cmで黒色土の落ち込みが検出され、そのプランを追うと外径16.6mの継続的に巡る堀跡が発見された。ローム層上面が全体的に攪乱を受け、立ち上がりプランがやや不明瞭であったが黒色土の分布によって円形プランを検出した。底面は平底で、壁高は10~20cmである。幅は差があり0.8~2mである。土壇及び溝に切られていた。墳丘部の中央に長さ20~30cm、幅20cm厚さ6cm程の同形態の扁平礫が同レベルで8個検出された。列状に並び、一部重なっており、そのレベルは堀底から20~30cm上位である。ソフトローム土上に乗っており、周囲に他の造構状況は全く認められなかった。遺物は表土中から埴輪片・土師器片・灯明皿・カワラケ・古鏡、土鍋片の細片があった。

三ヶ尻林遺跡15号墳（第99図）

幅7.6m、長さ11.2mまで確認できた。黒色土の明瞭な落ち込みであったが、周辺はソフトローム壁のため、プラン検出は容易ではなかった。底面は平底で砂利混りのローム層上面で掘り止めている。覆土状況は全体的な軟質で底面近くにまで黒色土になっている。黒色土は特に他の土層の入



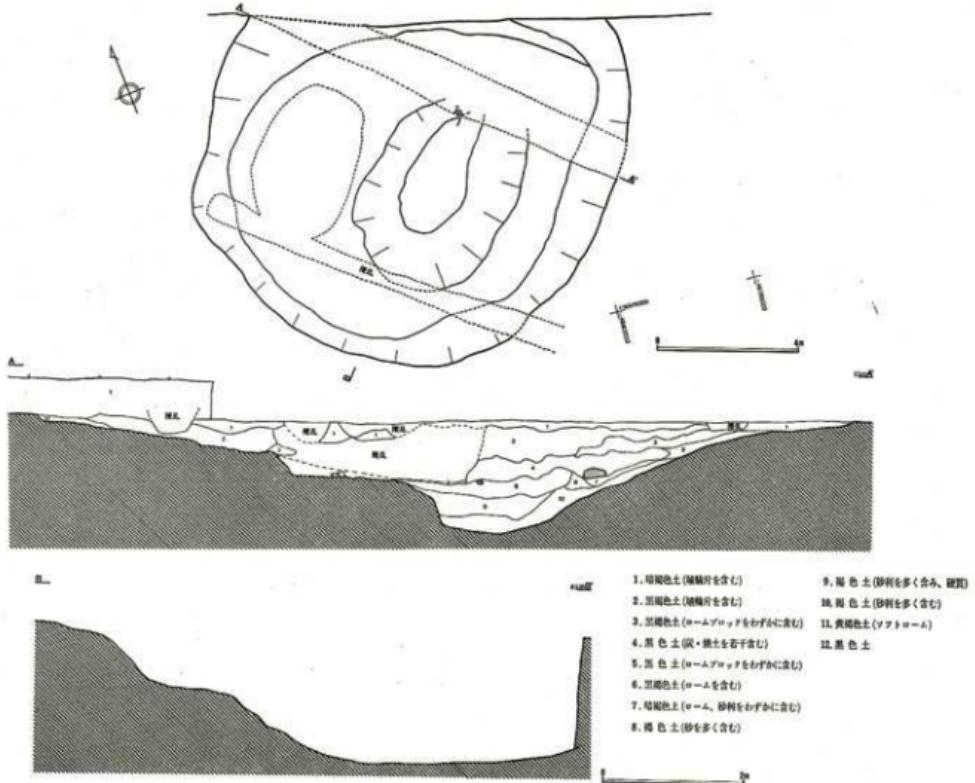
第91図 三ヶ尻林遺跡1号箱式石棺および断面図

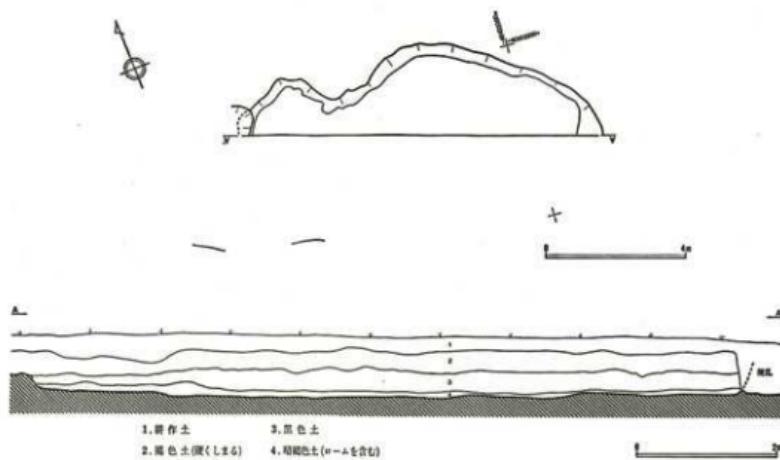
り込みは無いので、その色調で古墳壙跡の覆土とした。やや幅広で不整プランを示す。西側部分は一部調査できなかったが、隣接した発掘区に遺構が連続していない。周辺の壙と比べると、9号墳とした壙と関係する可能性も考えられる。その場合南側に墳丘が予想されるが、5号墳寄りの空間地に近づいた場合は9号墳とは異なった古墳存在も考えられる。壙の覆土中からは縄文時代の石器片が検出されたのみであった。

三ヶ尻林遺跡16号墳（第101図）

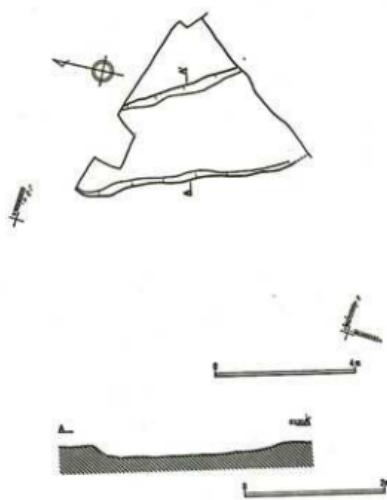
台地縁辺部に築造された古墳である。石室・墳丘は削平され、周壙のみであった。外径28m、内径18.8m程のプランであるが東側は自然傾斜地形のため、上端プランがやや不明瞭であった。平底で疊層上面で掘り止めているが東側は低く、西側と70cmの比高差がある。壙幅は2~4mで東側が幅広になっている。南側に4mの深掘り部分があり、壙底との比高90cm、現地表面下1.75mのピットになっている。その東側は更に深い(15cm)舟底ピットがあるが、土層は同じであった。概して整った全体プランといえるが東側が幅広で深いのは傾斜面で形を整えるためと思われる。遺物は深掘

第92図 三ヶ尻林道跡 8号墳全体図および断面図

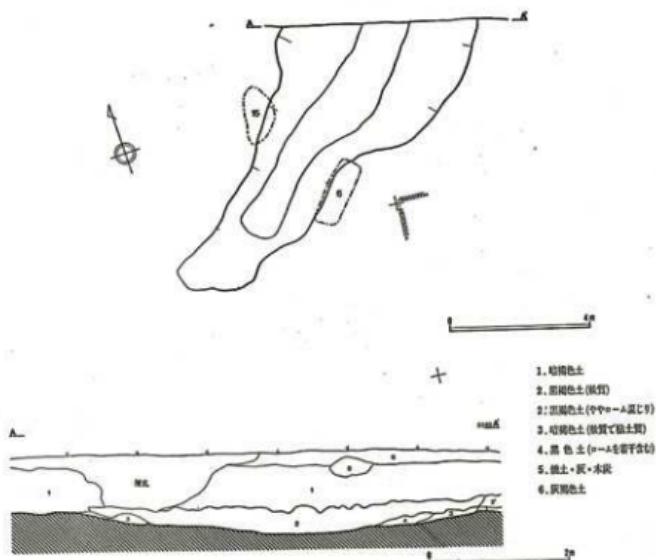




第93図 三ヶ尻林遺跡9号墳全体図および断面図



第94図 三ヶ尻林遺跡10号墳全体図および断面図



第95図 三ヶ尻林遺跡11号墳全体図および断面図

り部から円筒埴輪が出土している。№1は5cm、№2は30cm程度底面から浮いている。その他土師器片、須恵器片が堀内覆土の上面で検出された。

三ヶ尻林遺跡8号墳出土埴輪

形象埴輪

写真図版39上段の全体器形は不明であるが、両端の折れ曲った板状のものになると考へられる。いずれも周堀内出土である。器厚1、2cmの粘土紐積み上げからなり、表面に不定方向の刷毛調整が施され、そこに同心円、または渦巻文を浅く細い沈線で表わす。さらに、沈線間は一つおきに赤色塗彩される。裏面も不定方向の刷毛調整が施されるが、撫でにより部分的に消去される。胎土中にはやや粗い砂量をよく含み、表面はややザラつく、焼成は良好で橙色を呈する。

三ヶ尻林遺跡13号墳出土埴輪

胎土

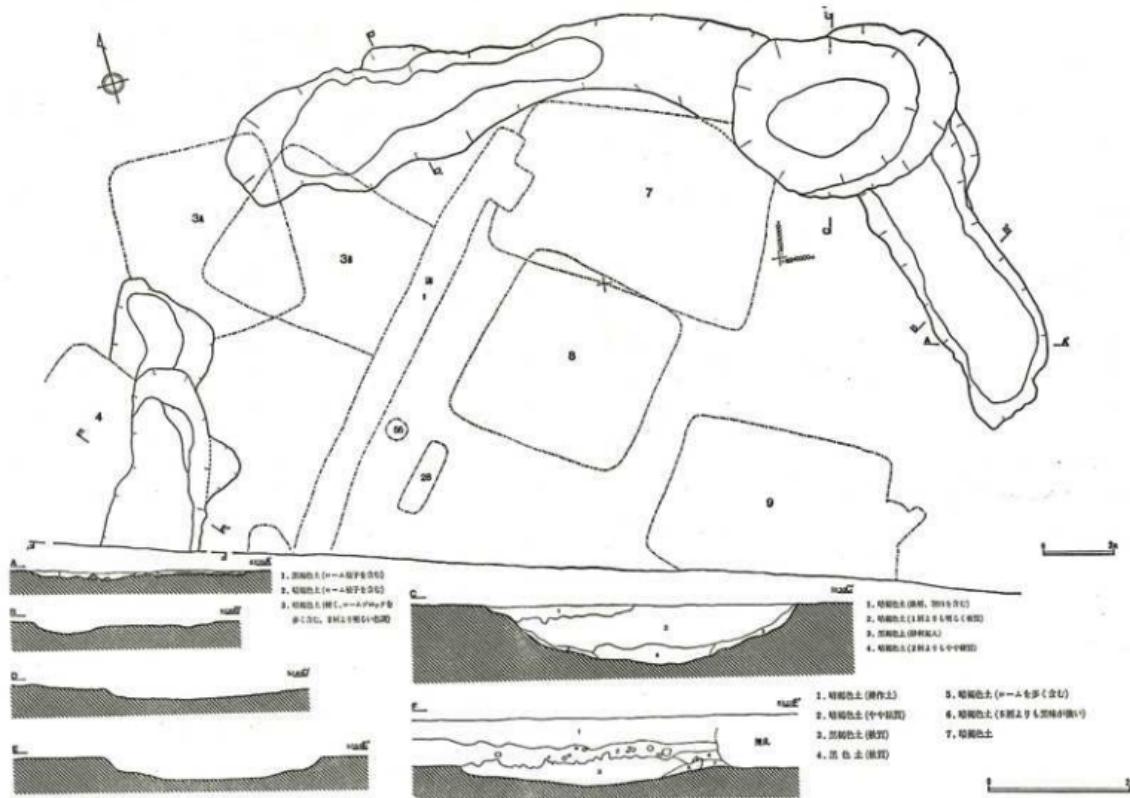
1には目の細かい砂粒が多量に、また微粒の石英も極めて多量に含まれている。2は1と同様に石英粒をよく含むが、やや粗い小石も多く含んでいる。

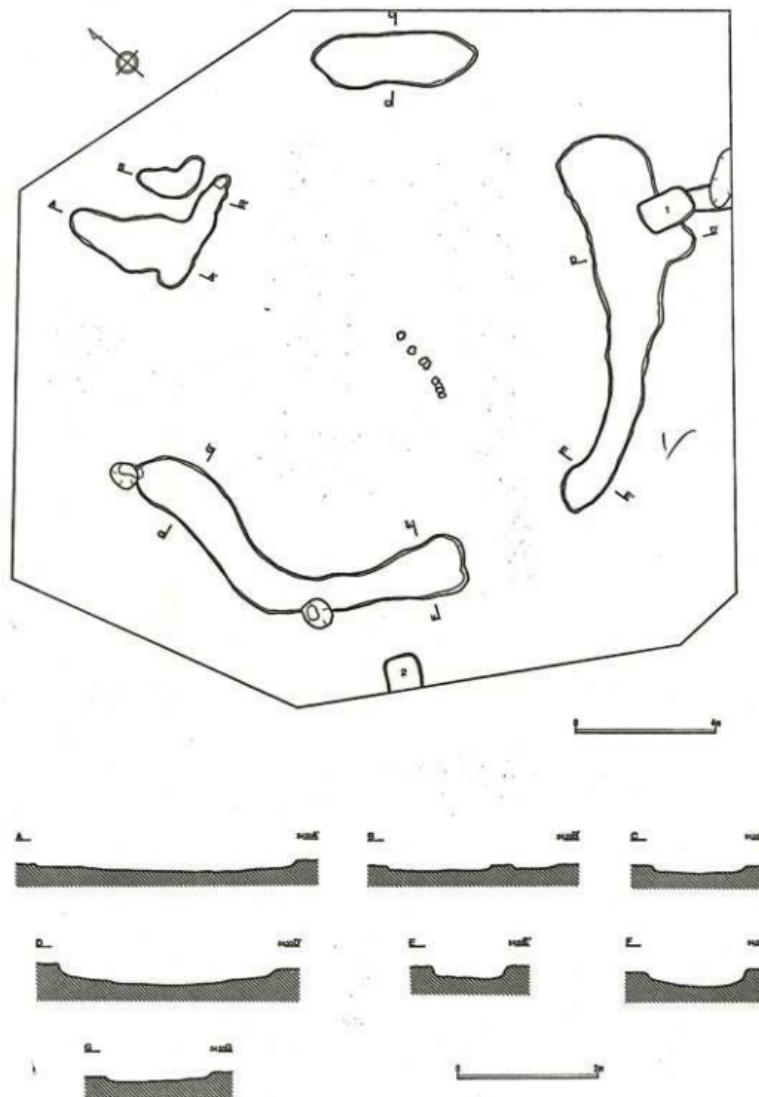
焼成

1、2ともにやや悪く、軟質な印象を受ける。1よりも2のほうが良いようであるが、器表の磨耗も激しく、のっぺりした感じである。

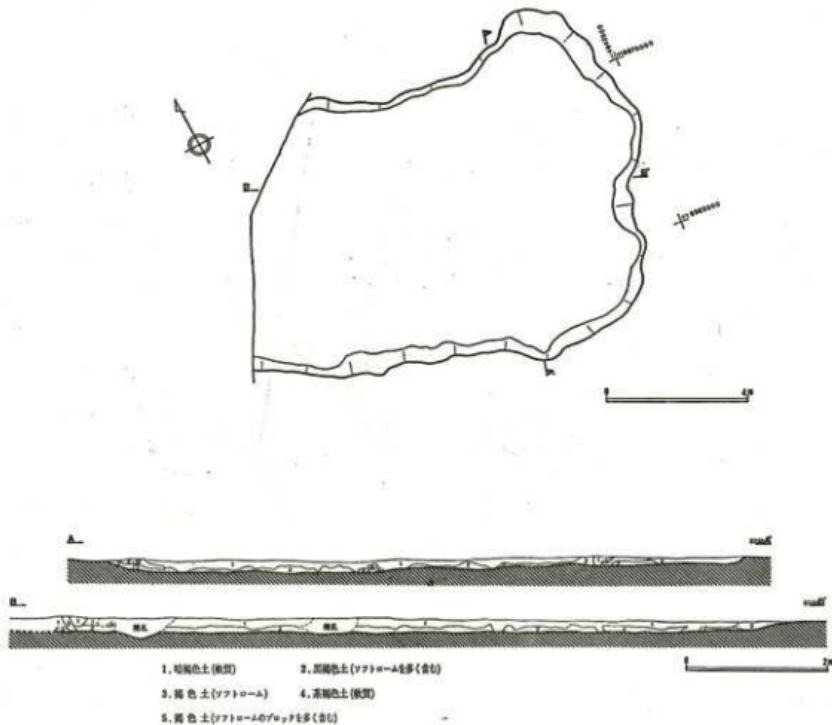
色調

第96図 三ヶ岳林道跡12号坑全体図および断面図

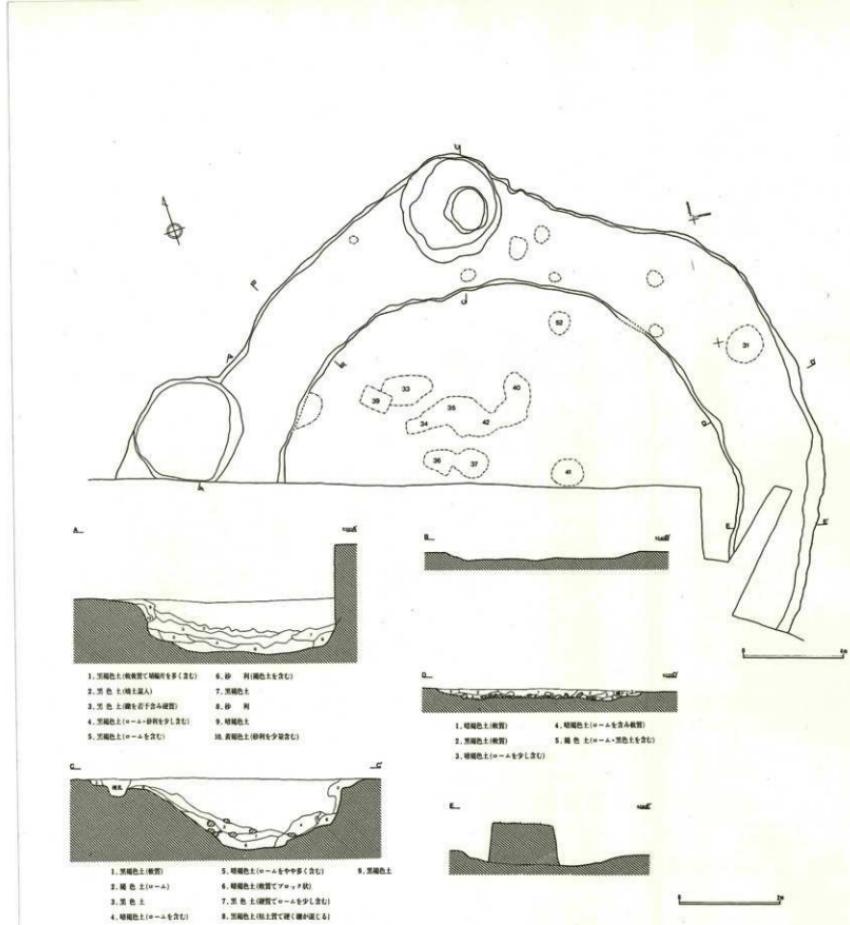




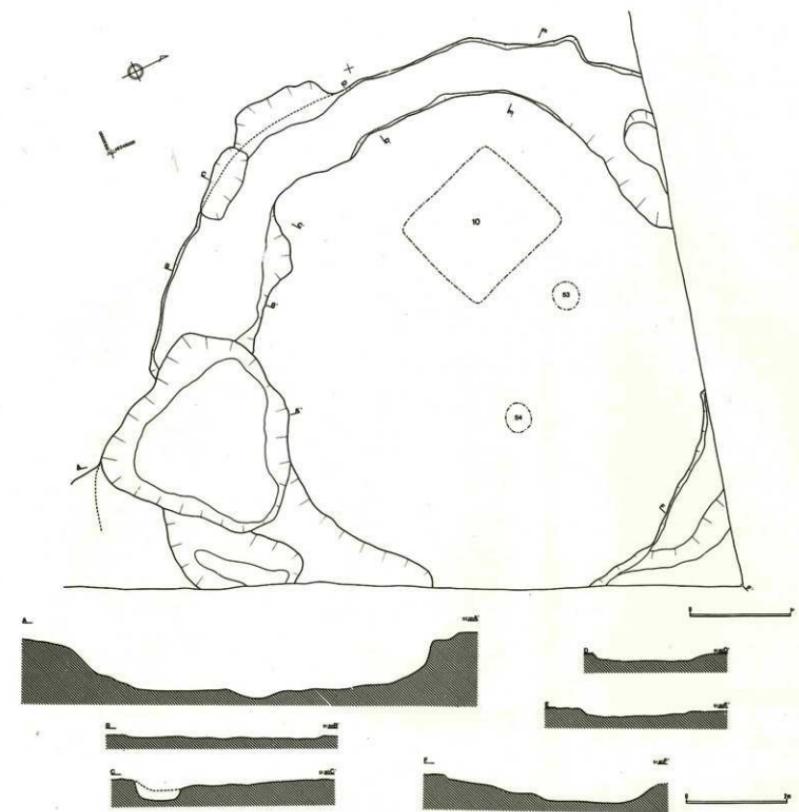
第97図 三ヶ尻林遺跡14号墳全体図および断面図



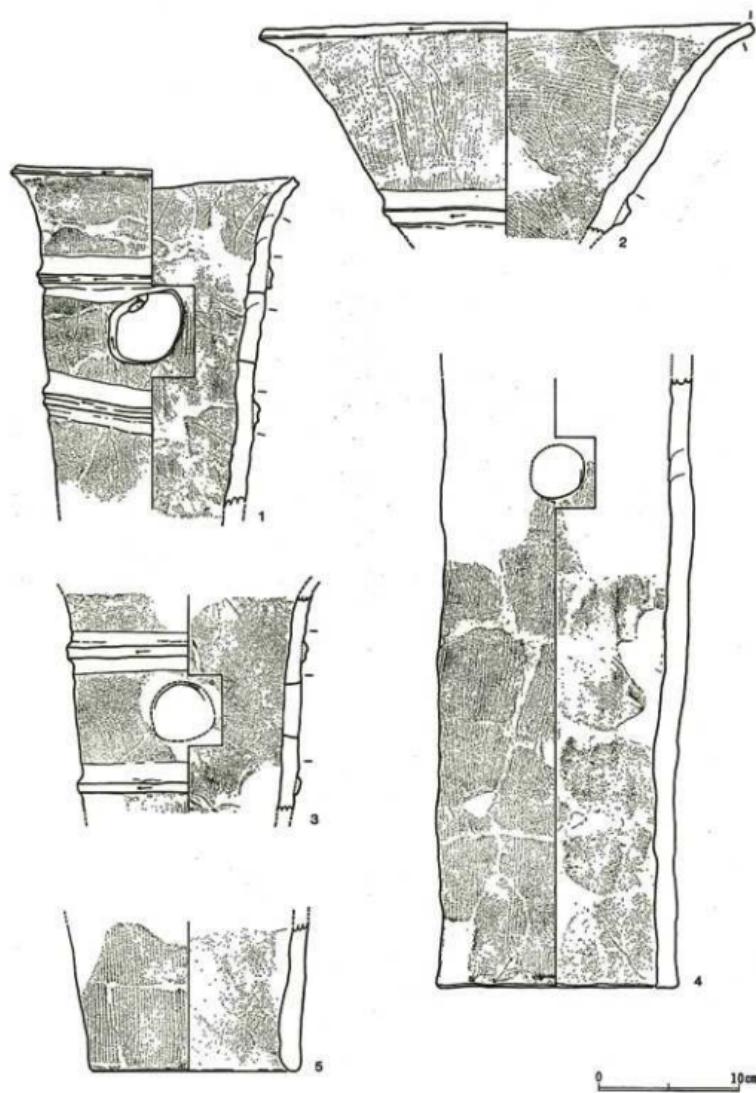
第99圖 三ヶ尻林道15号墳全体図および断面図



第98図 三ヶ民林遺跡 13号墳全体図および断面図



第101図 三・虎林遺跡16号墳全体図および断面図



第100図 三ヶ尻林遺跡13号墳他出土埴輪

1 は黄橙色、2 は明褐色を呈するが、色の明度は近いものとなっている。

器面調整

いずれも外面には縦方向の刷毛が施されている。1 の内面には口縁部で横方向の刷毛、他は縦方向の刷毛が施される。しかし、その後口縁部では横撫で、他は縦方向の布撫でが加えられ、そのほとんどが消去されている。2 の内面は口辺部では横方向、他では斜方向の刷毛が施される。

円孔の位置と形状

1 の突帯間に一对が見られるが、本体の下部を欠くために、第何段に位置するかは不明である。ヘラ穿孔によるが、ややいびつな円で、内面左上に粘土が残瘤となっている。

突帯の位置と形状

1 は2本あり、口縁から第一突帯、第一突帯から第二突帯はそれぞれの間隔がほぼ同じ（約8.5cm）である。断面形は中央の少し窪む台形（M形）である。しかし、高さはあまりなく、下端の貼付は弱い。2 は上下ともによく撫で付けられており、断面は台形を呈する。口縁下13.5cm程に位置し、突帯下での器径は5.2cmを計る。

三ヶ尻林遺跡L-1グリッド他出土埴輪

出土

3 はやや粗い砂粒を含むが均一的であり、目の大きな黒色雲母もよく含有する。4 にはあまり細かい砂粒は見られず、2mm程度の大きいものを多量に含み、さらに5~10mmの小石がかなり目立つて見られ、器表はザラザラである。5 はきめ細かく、極めて微粒の砂を多く含む。

焼成

3 はかなり良好で、器肉は薄いが堅緻な印象を受ける。逆に4 は磨耗がかなり激しく、器肉が厚い割りに脆弱である。5 は焼きしまった感じで良好といえる。

色調

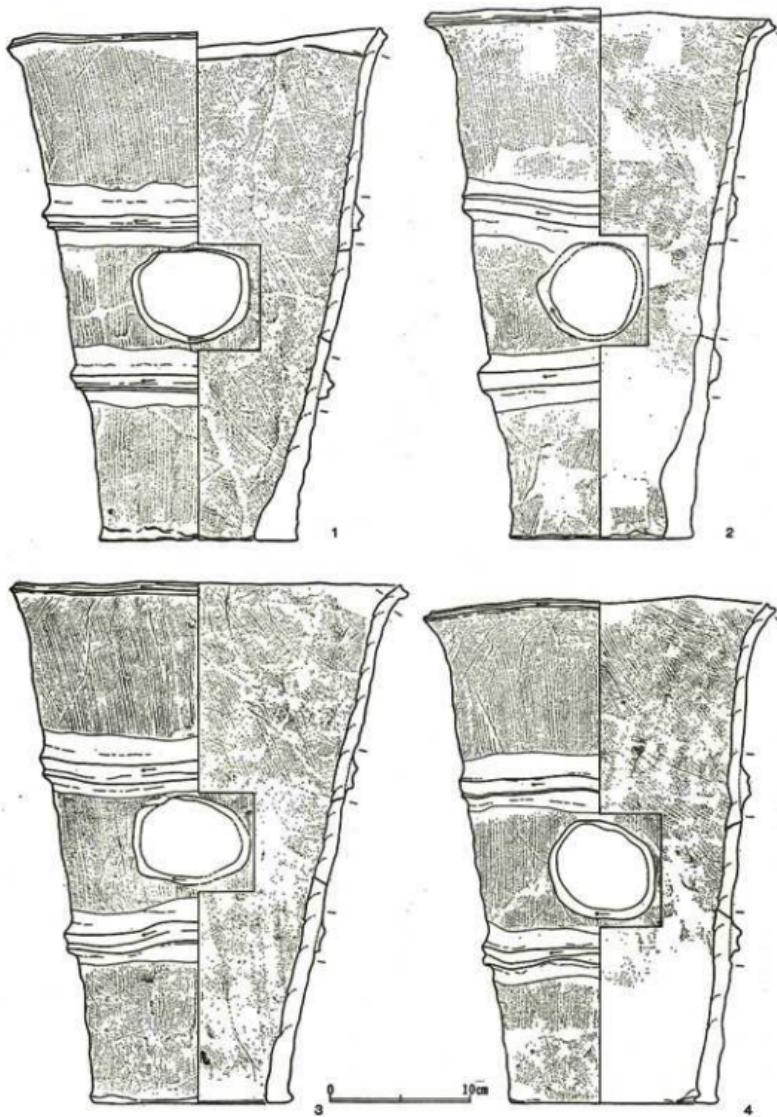
3 は赤褐色、4 は黄橙色、5 は暗褐色を呈する。

器面調整

外面はいずれも縦方向の刷毛、内面は、3 が横から斜方向の刷毛、4・5 が斜方向の刷毛となっている。但し、4 は磨耗、剥落のために不明瞭である。

第21表 三ヶ尻林遺跡13号墳・L-1・1号溝他出土埴輪観察表

| 図版番号 | 器種 | 出土位置 | 器高 | 器厚 | 器径 | 円孔 | 刷毛 | 突帯 | 備考 |
|--------|------|-----------------|------------------|-----|---------|---------|---------|---------|------|
| 第100図1 | 円筒 | 13号墳 M-2グリッド | 24.3 | 1.0 | 口 20.4 | 5.2×5.0 | 8本/2cm | 0.4/1.9 | |
| | | | | 1.3 | | | | 0.5/2.4 | |
| | | | | 1.3 | | | | | |
| 2 | 朝顔 | 13号墳 L-1グリッド | 15.0 | 1.3 | 口 35.1 | | 8本/2cm | 0.7/2.2 | 反転実測 |
| 3 | 円筒 | L-1グリッド | 15.3 | 1.0 | | | 19本/2cm | 0.3/2.0 | 反転実測 |
| | | | | 1.2 | | | | | |
| 4 | 形象基台 | L-1グリッド D区 | (43.2) (10.5) | 1.5 | 底 17.3 | | | | |
| | | | | 1.4 | 底(15.1) | | 9本/2cm | | 反転実測 |
| 5 | 円筒 | 1号溝-18 | | | | | | | |



第102図 三ヶ尻林遺跡16号墳出土埴輪(1)

円孔の位置と形状

円孔は3・4に認められるが、いずれもヘラ穿孔である。3は突帯間に一对が施され、復元径は $4.2 \times 4.5\text{cm}$ を計る。4は底部より 36.5cm 程に一对が見られ、復元径は 3.8cm 程である。

突帯の位置と形状

3に2本が存在するが、上位のものは口縁部下のものであろう。突帯間は 10cm 程で、断面は低い。



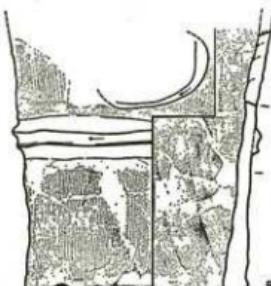
5



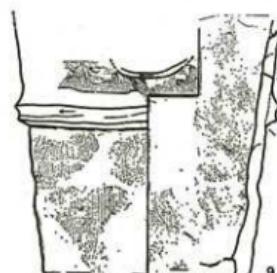
6



7



8



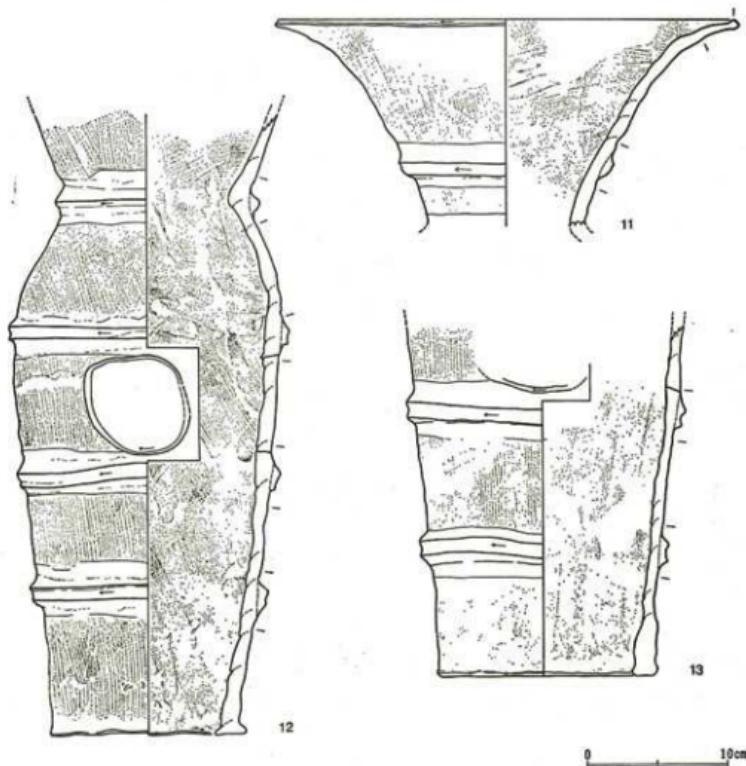
9



10



第103図 三ヶ尻林遺跡16号墳出土埴輪(2)



第104図 三ヶ尻林遺跡16号墳出土埴輪(3)

台形を呈する。器体への貼付はていねいである。尚、4には円孔まで、またそれ以上にも何ら貼付された痕跡は見られない。形象の基台部であろうか。

三ヶ尻林遺跡16号墳出土埴輪

その大半は、きめ細かいが径3~5mmの小石、及び目の粗い砂粒を多く含み、赤斑も多く見られる。砂粒含有の粗密は若干あるが、ほぼ同様といえるだろう。但し、12はさらに目の粒い砂粒13は白色の砂粒をそれぞれ多量に含んでおり、他とはやや異ったものに見受けられる。

焼成土

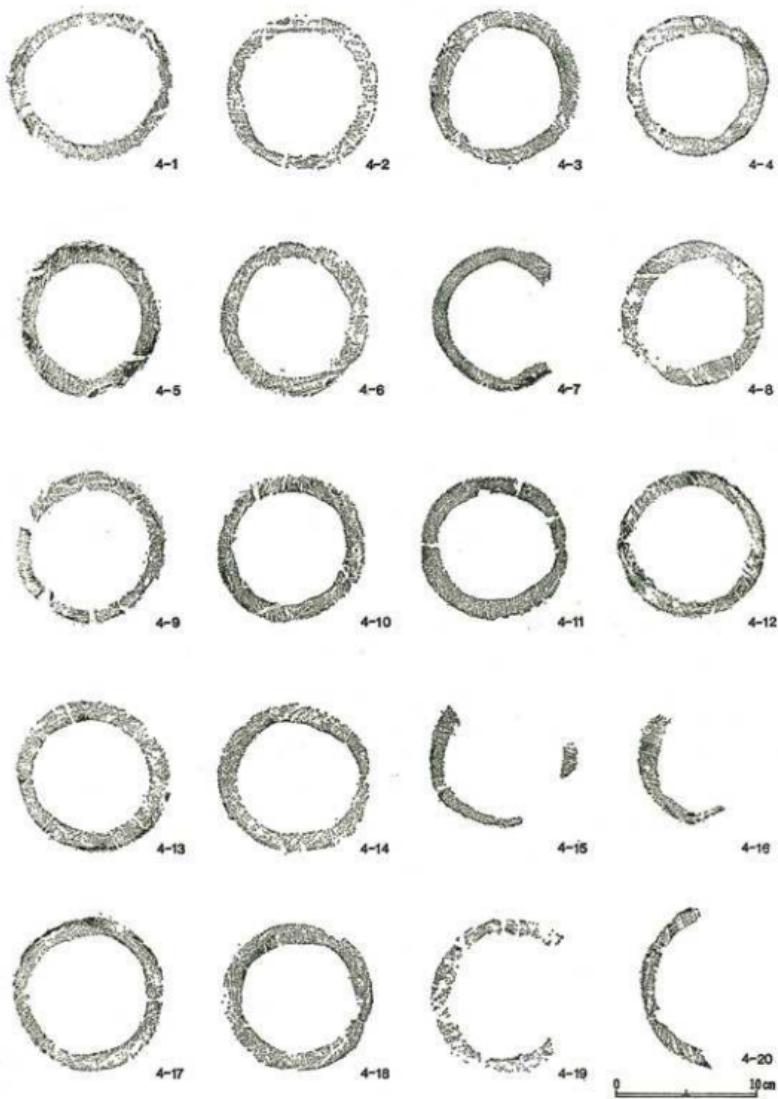
他墳のものに比し、かなり良好であるといえる。磨耗もほとんど見られず、極めて硬質的である。なかでも2・13・19~21などは須恵質の焼成で、特に19~21は須恵器そのものといってよい。

色調

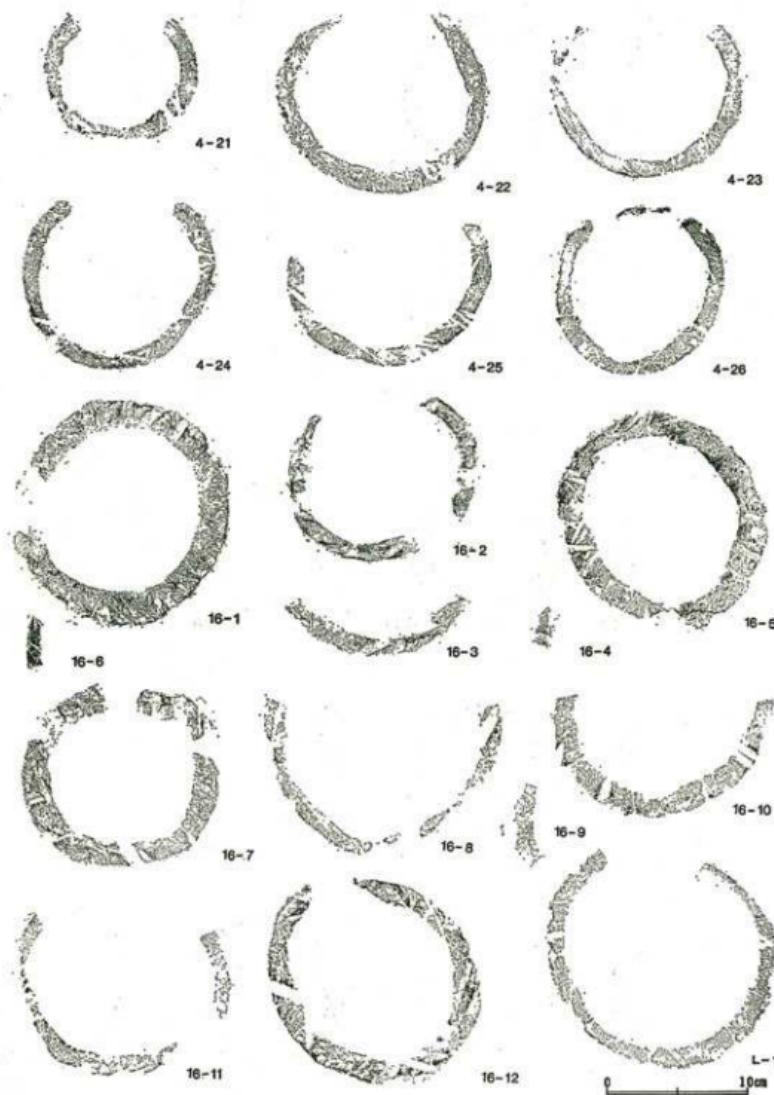
1・4~6・8~11・16~18・23~29には若干の明度差があるもののほぼ橙色を呈する。2・13



第105圖 三ヶ尻林遺跡16号墳出土埴輪(4)



第106図 三ヶ尻林遺跡円筒埴輪底部拓影 (1)



第107図 三ヶ尻林遺跡円筒埴輪底部拓影 (2)

・19~21は灰褐色を呈し、須恵質のものである。3・7・12・14・15は明赤褐色を呈する。

器面調整

普通円筒埴輪の外面はいずれも縦方向の刷毛調整であるが、内面には2つの方法が見られる。①全面に斜方向の刷毛が施されるもの、②①の後、これの第一段部を斜方向の布撫でによって消去してしまうものの2者である。①によるもの及びそれと思われるものは、1・5・6・10である。このうち第一突帯部内面には、不明瞭ながらも連続する指頭圧痕が見られる。②によるもの及びそれと思われるものは、2~4・7~9である。2の第二段中央部内面、4の第二突帯部内面には、それぞれ連続する指頭圧痕が見られる。2のそれはこの部位での器体接合、もしくは整形のためのものと思われる。

朝顔形円筒埴輪は、器体の成形方法が異なるために分けたが、原則としては上記②の方法を取っている。成形方法を含めて述べると、まず第三段までを成形し、外面に縦方向の刷毛調整を行う。内面は斜方向の刷毛を施し、その後同方向の布撫でも加えて底部より第二段中央辺までを消去する。第三突帯まで貼付を行い、次に第四段以上を成形する。外面は新たに縦方向の刷毛が施されるが、このとき第三突帯にも一部刷毛がかかる。内面は第四段部に横~斜方向の撫でが施され、朝顔部は横方向の刷毛となっている。この後に第四突帯が貼付される。

14~29の外面もすべて縦方向の刷毛調整である。内面は15・26に刷毛とその後の布撫でが見られ、27・29には布撫でのみが見られる。他は斜方向の刷毛である。

円孔の位置と形状

普通円筒埴輪では第二段に一对、朝顔形円筒埴輪には第三段に一对が各々見られる。いずれもヘラ穿孔によるが、5・9・10・23~25はその後撫で付けられている。左上より時計回りに穿孔されており、円から橢円を呈する大きな孔である。

突帯の位置と形状

普通円筒埴輪には2本が貼付されるが、いずれも布による横撫でが施される。突帯の間隔は約12cmを計る。断面は台形を呈するものと、M形を呈するものに大別される。前者には2・4(上)・5~7・10・19~26が挙げられ、後者には1・3・4(下)・8・9・29が挙げられる。同一体に両者が認められ、中間位的なもののが存在することも考慮すると、これは力の具合や指の角度などによるものと思われる。いずれも突帯下部は貼付が弱く、まったく撫で付けられていない箇所もある。

朝顔形円筒埴輪は突帯間隔が狭く、8~10cm程度である。12は4本の突帯を有し、そのうち第三突帯までは台形の断面である。しかし、第四突帯は鋭角に突出した三角形を呈し、しかも貼付幅は狭い。朝顔部(11)では、また台形のものとなっている。

第22表 三ヶ尻林遺跡16号墳出土埴輪観察表

| 図版番号 | 器種 | 出土位置 | 器高 | 器厚 | 器径 | 円孔 | 刷毛 | 突帯 | 備考 |
|--------|----|---------|------|-----|----------------------|-------------------|--------|--------------------|-------|
| 第102図1 | 円筒 | T-2グリッド | 36.4 | 0.6 | 口 27.0 1.0 1.7 | 6.6×8.4 底 14.2 | 9本/2cm | 0.6/2.0 0.9/1.8 | 80%残存 |
| 2 | 円筒 | T-2グリッド | 37.6 | 0.8 | 口 24.9 | 6.9×7.6 | 9本/2cm | 0.4/2.4 | 40%残存 |

| 図版番号 | 器種 | 出土位置 | 器 高 | 器厚 | 器 径 | 円 孔 | 刷 毛 | 突 带 | 備 考 |
|---------|-----|------------|--------|---------------------------------|--------------------|---------|---------|--------------------|---------------|
| | | (グリッパー) | | 1.4 1.6 | 底 13.0 | | | 0.6/3.0 | |
| 3 | 円 筒 | T-2 S-2 | 37.0 | 0.8 1.1 1.1 | 口(28.4) 底(14.2) | 6.3×8.4 | 10本/2cm | 0.4/2.1 0.4/2.3 | 50%残存 反転夾測 |
| 4 | 円 筒 | T-2 | 35.9 | 0.9 1.0 1.0 | 口 25.1 底(14.9) | 6.9×7.5 | 10本/2cm | 0.7/2.6 0.7/2.7 | 80%残存 |
| 第103図5 | 円 筒 | S-2 | (17.3) | 0.7 1.1 | 底 14.2 | | 8本/2cm | 0.7/2.0 | |
| 6 | 円 筒 | T-2 | (18.4) | 0.9 0.6 | 底 13.6 | | 8本/2cm | 0.6/2.5 | |
| 7 | 円 筒 | T-2 | (17.3) | 0.8 0.9 | 底(17.0) | | 10本/2cm | 0.7/2.6 | 反転夾測 |
| 8 | 円 筒 | T-2 | (18.7) | 1.0 1.1 | 底 15.9 | | 10本/2cm | 0.5/2.6 | |
| 9 | 円 筒 | T-2 | (17.7) | 0.8 0.9 | 底(14.8) | | 10本/2cm | 0.7/2.7 | 反転夾測 |
| 10 | 円 筒 | T-2 | (15.9) | 0.8 1.1 | 底(16.1) | | 9本/2cm | 0.6/2.6 | 反転夾測 |
| 第104図11 | 朝 頭 | T-2 S-2 | (14.7) | 1.0 1.0 | 口 31.0 | | 11本/2cm | 0.6/2.1 | 反転夾測 |
| 12 | 朝 頭 | P-2 | 44.0 | 0.8 0.9 1.1 0.9 1.1 | 底 14.0 | 7.5×7.2 | 9本/2cm | 0.7/2.3 0.6/2.1 | 肩部以下70% 残存 |
| 13 | 朝 頭 | S-2 | (24.8) | 0.8 0.9 0.7 | 底(15.7) | | 9本/2cm | 0.6/2.6 0.5/2.6 | |
| 第105図14 | 円 筒 | T-2 | (6.2) | 1.0 | | | 12本/2cm | | |
| 15 | 円 筒 | T-2 | (5.0) | 0.9 | | | 9本/2cm | | |
| 16 | 円 筒 | T-2 | (8.1) | 0.9 | | | 9本/2cm | | |
| 17 | 円 筒 | V-3 | (7.4) | 1.0 | | | 12本/2cm | | |
| 18 | 円 筒 | V-6 | (9.4) | 0.9 | | | 10本/2cm | | |
| 19 | 円 筒 | R-4 | (5.3) | 0.9 | | | 8本/2cm | 0.8/2.1 | |
| 20 | 円 筒 | S-6 | (7.2) | 1.0 | | | 10本/2cm | 0.5/2.4 | |
| 21 | 円 筒 | S-3 | (5.0) | 1.0 | | | 9本/2cm | 0.6/2.0 | |
| 22 | 円 筒 | V-6 | (7.5) | 1.1 | | | 11本/2cm | 0.7/2.5 | |
| 23 | 円 筒 | T-2 | (11.2) | 1.0 | | | 10本/2cm | 0.6/2.4 | |
| 24 | 円 筒 | T-2 | (9.3) | 1.0 | | | 8本/2cm | 0.5/2.3 | |
| 25 | 円 筒 | T-2 | (12.9) | 0.9 | | | 10本/2cm | 0.8/2.6 | |
| 26 | 円 筒 | T-2 | (9.2) | 1.0 | | | 9本/2cm | 0.6/2.5 | |
| 27 | 円 筒 | V-6 | (5.6) | 1.0 | | | 9本/2cm | | |
| 28 | 円 筒 | S-6 | (5.0) | 1.6 | | | 8本/2cm | | |
| 29 | 円 筒 | S-2 | (16.2) | 1.1 | | | 8本/2cm | 0.7/3.6 | |

23, 24, 25と

同一個体?

同一個体

16と同一個

体?

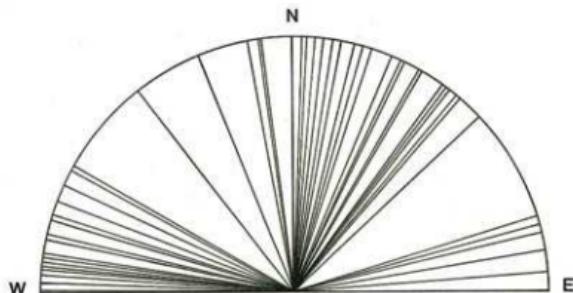
2. 土壌と出土遺物

三ヶ尻林遺跡の土壌 (第109~119図)

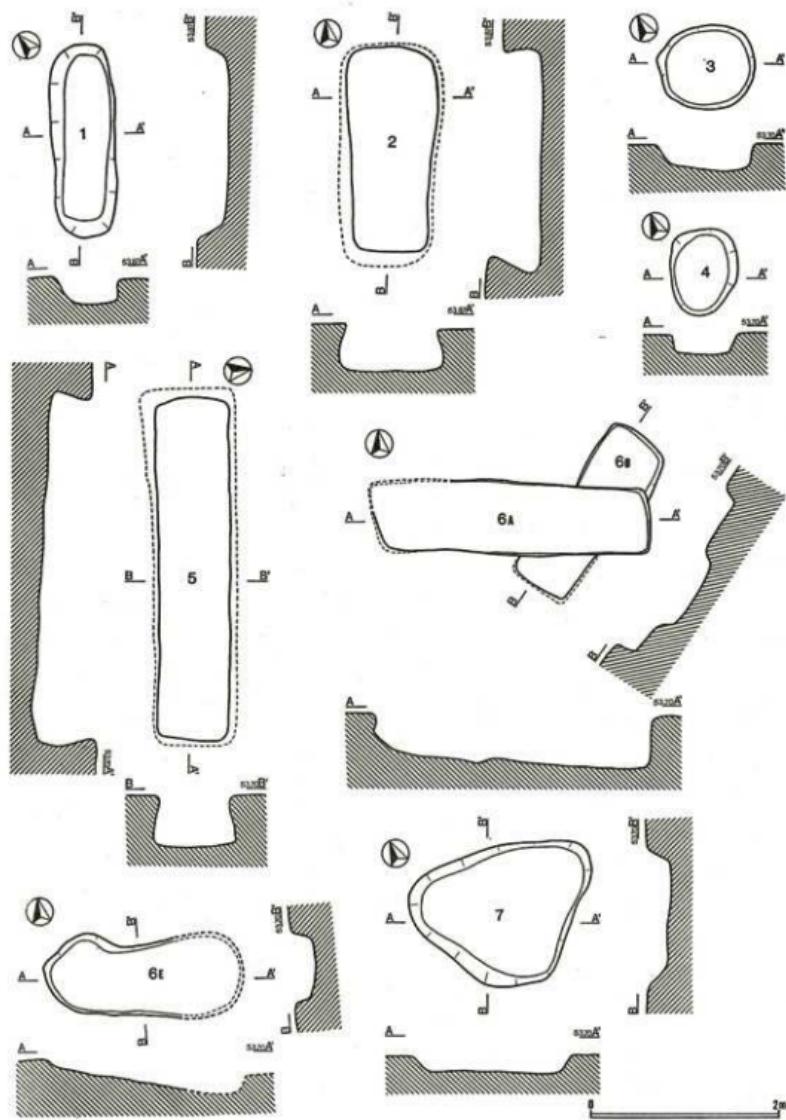
合計103個の土壌が検出された。形態分類は三ヶ尻天王遺跡と同様の基準で分けることができる。基本的特徴は全く同じである。しかし規模、方位等に差がみとめられる。A 1-1型は長方形の典型形態である。24例ある。長さの偏差分布は天王遺跡と同じであるが、幅の偏差分布が異なり、1mのものが多く、70、80、90cmの間ではほぼ同じ数になり、個々の差の幅がやや広くなっている。A 1-2型は長方形の定型化したものである。27例ある。A 1-1型と同じものになる可能性が強い。規模の差等もA 1-1型に含まれている。A 2型は長さに対して幅の割合が大きいもので5例ある。天王遺跡例とほぼ同じである。A 3型は長方形の小型のもので10例ある。天王遺跡例と全く同じ形態である。B 1-1型は円形の典型土壌である。4例ある。天王遺跡例とは異なり、径1mのものが加わり、1.2m、1.4mのクラスが多い。0.9mのものは天王遺跡では円形の小型(B 2型)と同一である。

長方形土壌の長軸分布は天王遺跡例とやや異なる。しかし大局的にみると両者に同じ傾向があることがわかる。図示したA区では東偏するものは大きく3群に分かれ、特に多い群はやや角度を変えて2群に分かれるが、この偏角傾向は天王遺跡例と全く同じである。偏角もほぼ同じものとして良いであろう。林遺跡で東に大きく偏る群も天王遺跡にもある。なおC区では東偏する2番目の群に一致するグループがある。次にA区の西偏する群をみると、大きく偏る群は天王遺跡では少なくなっている。しかしC区例では天王遺跡の西偏する最も多い一群と同じ方向で集中が認められる例があった。また特に分布が空白になる方向も一致する傾向があり、土壌長軸方位に、かなり広範囲にわたる地域で規格性があることが知られる。

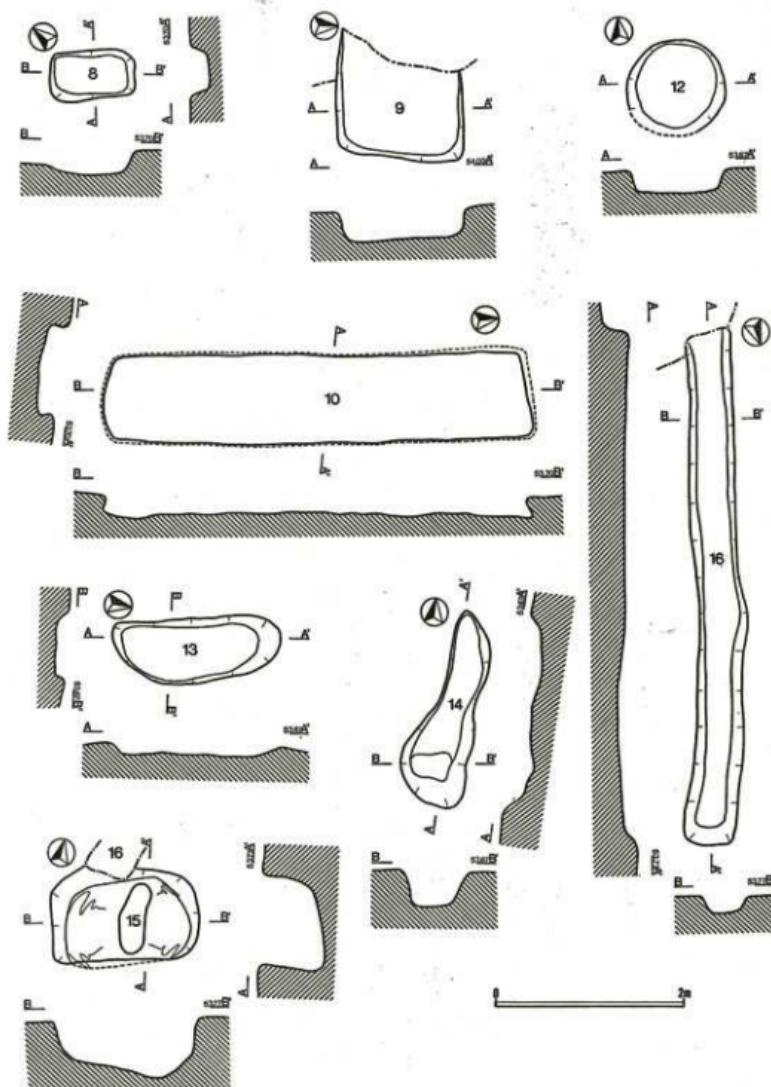
出土遺物は土壌に直接伴うと思われる出土状況を示すものは無かった。また土層堆積も天王遺跡例と同じ傾向を示すものがあり、特に水平堆積が明瞭なものがある。層序が粗なもので水平堆積を示すものは、一時に大量の土が落ち込んだ状況であろう。



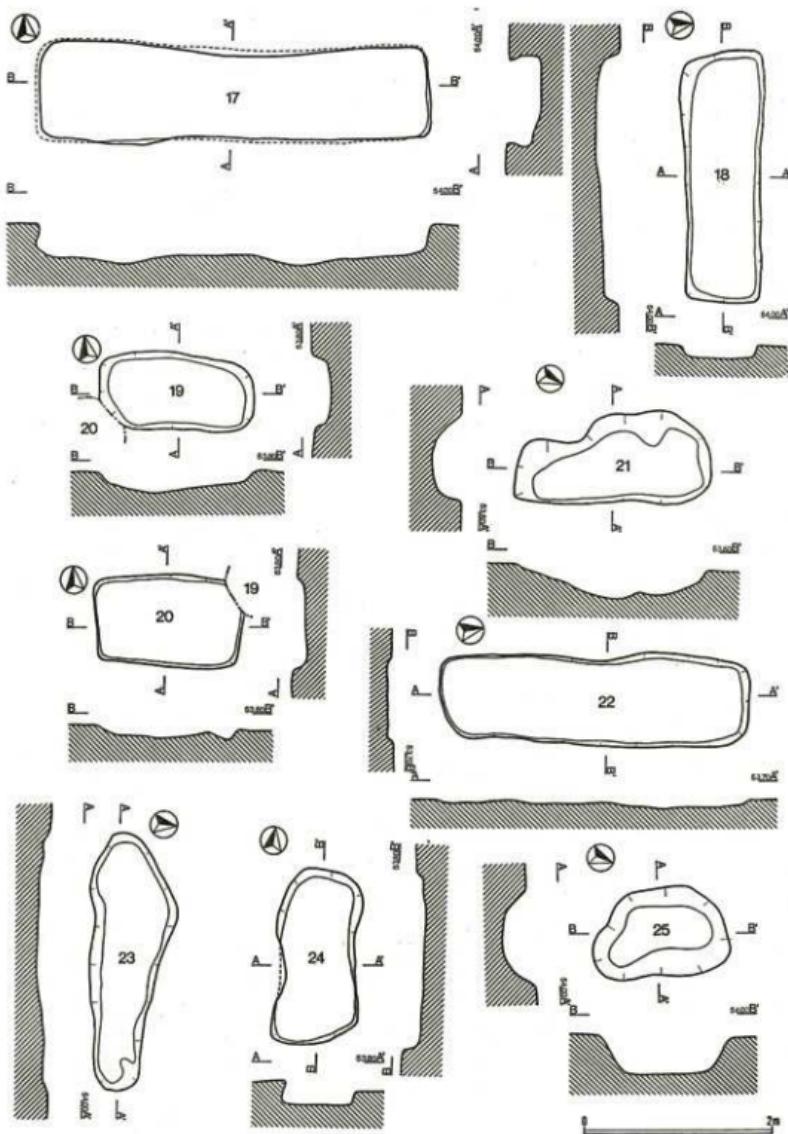
第108図 三ヶ尻林遺跡長方形土壌の長軸方向



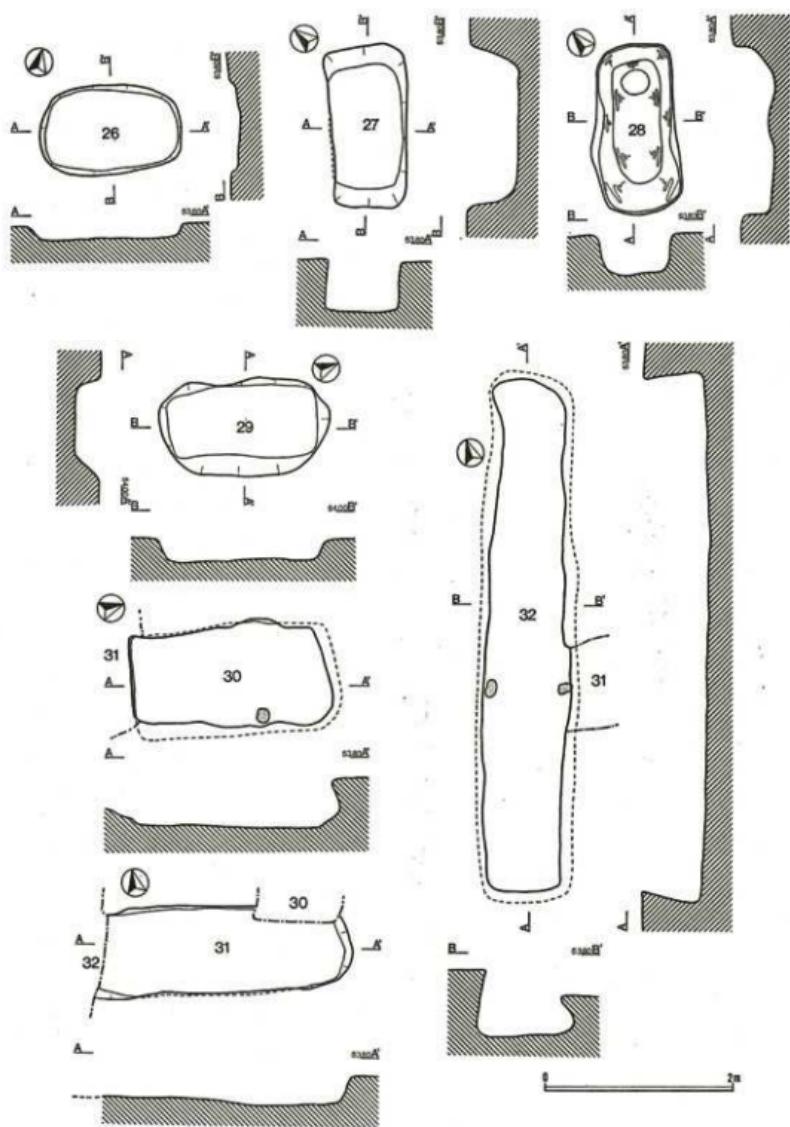
第109図 三ヶ尻林遺跡A区土壇全体図および断面図(1)



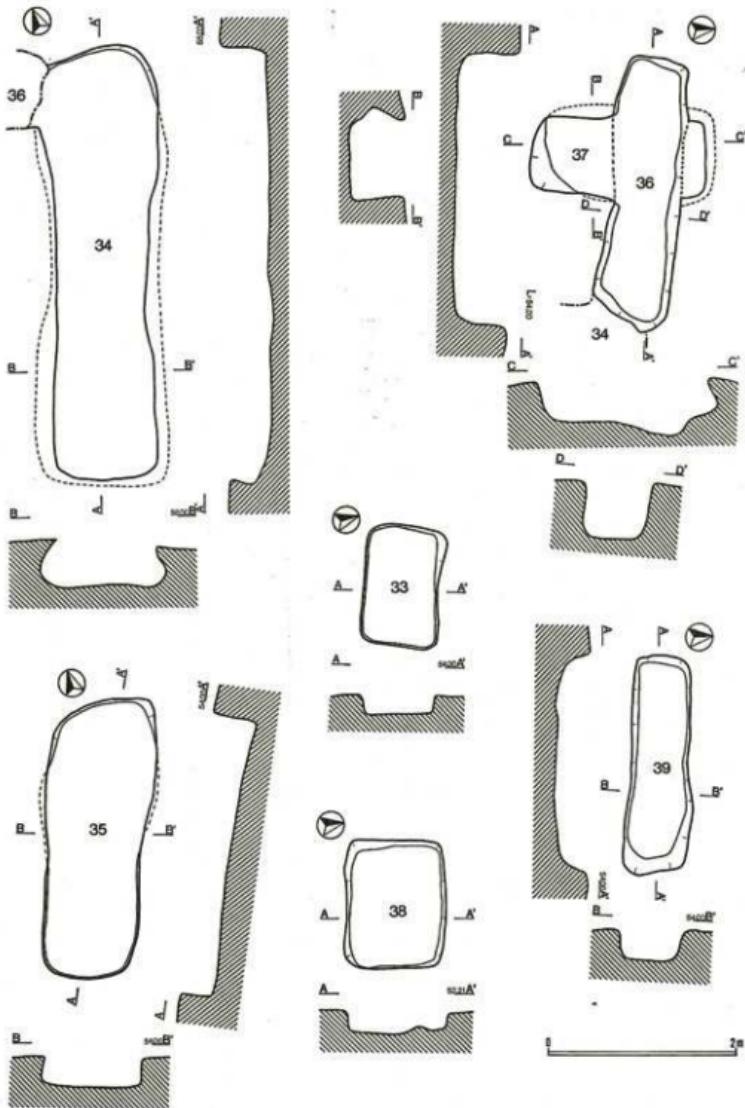
第110図 三ヶ尻林遺跡A区土壤全体図および断面図(2)



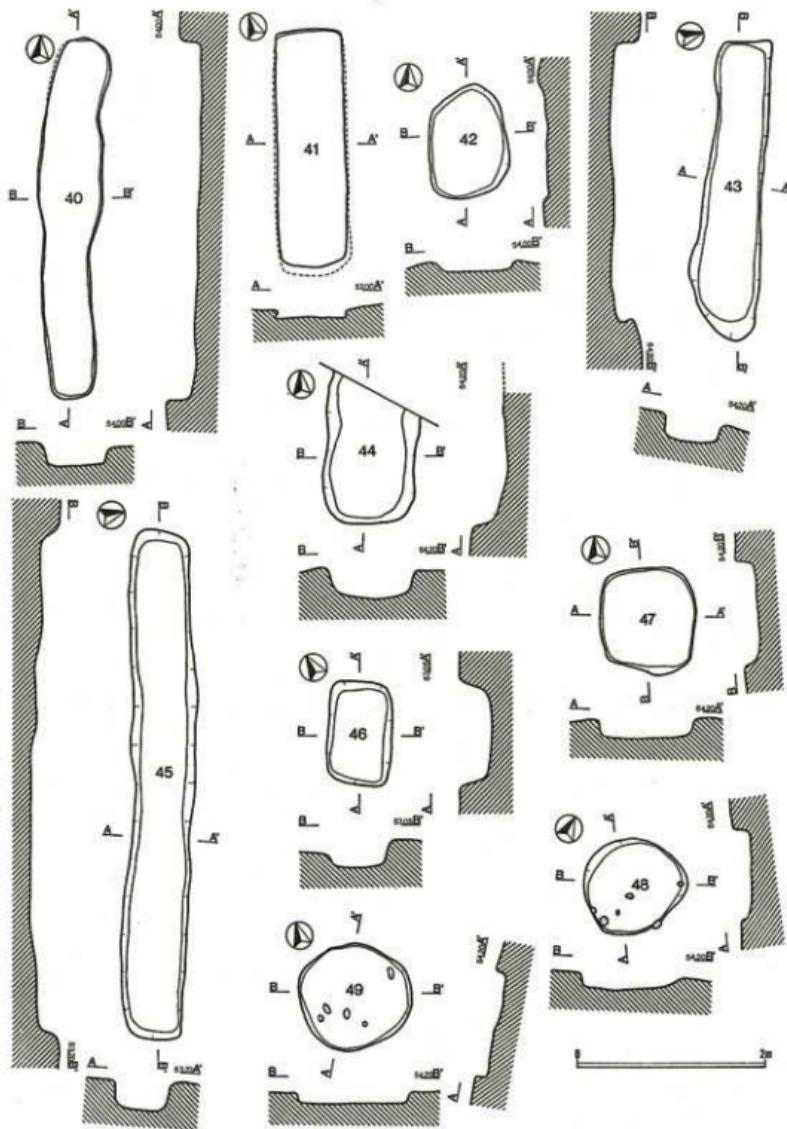
第111図 三ヶ尻林遺跡A区土壤全体図および断面図(3)



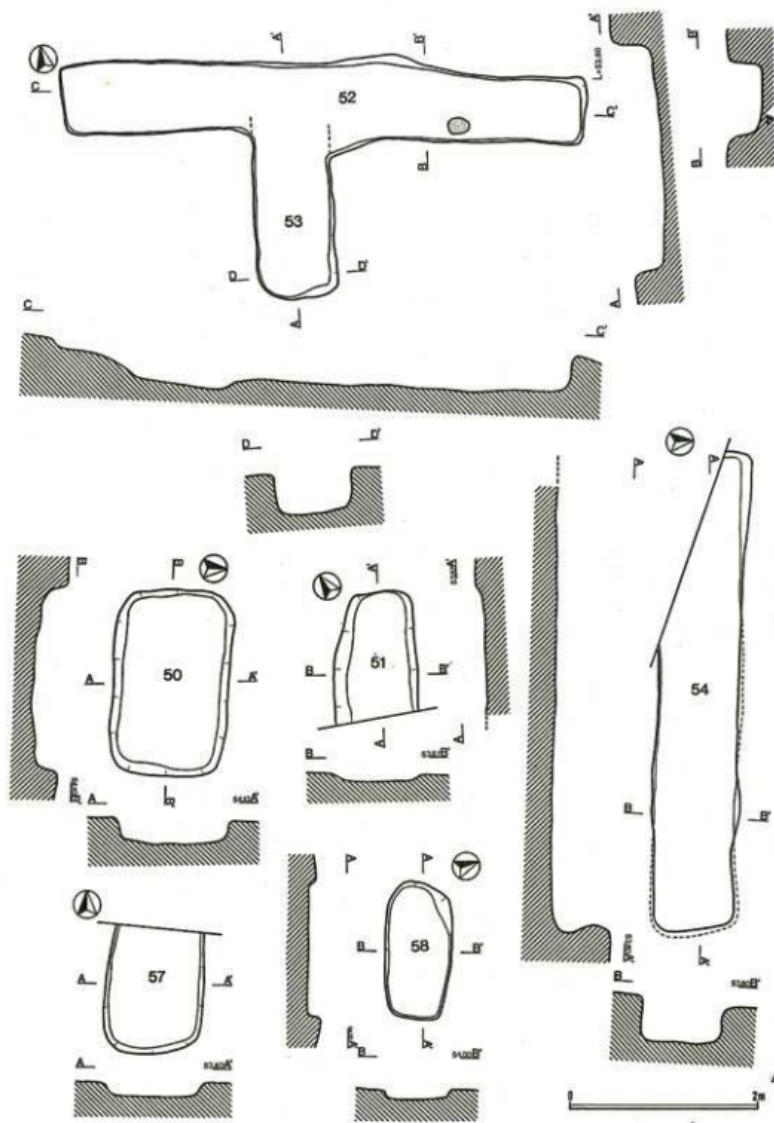
第112図 三ヶ尻林遺跡A区土塁全体図および断面図(4)



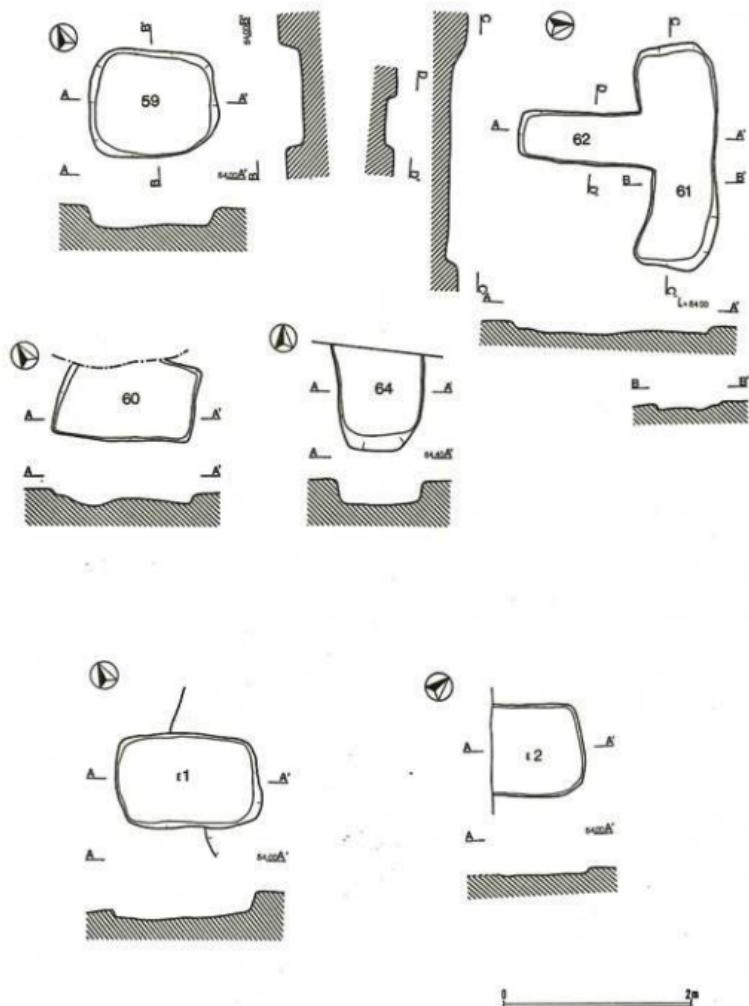
第113図 三ケ尻林遺跡A区土壤全体図および断面図(5)



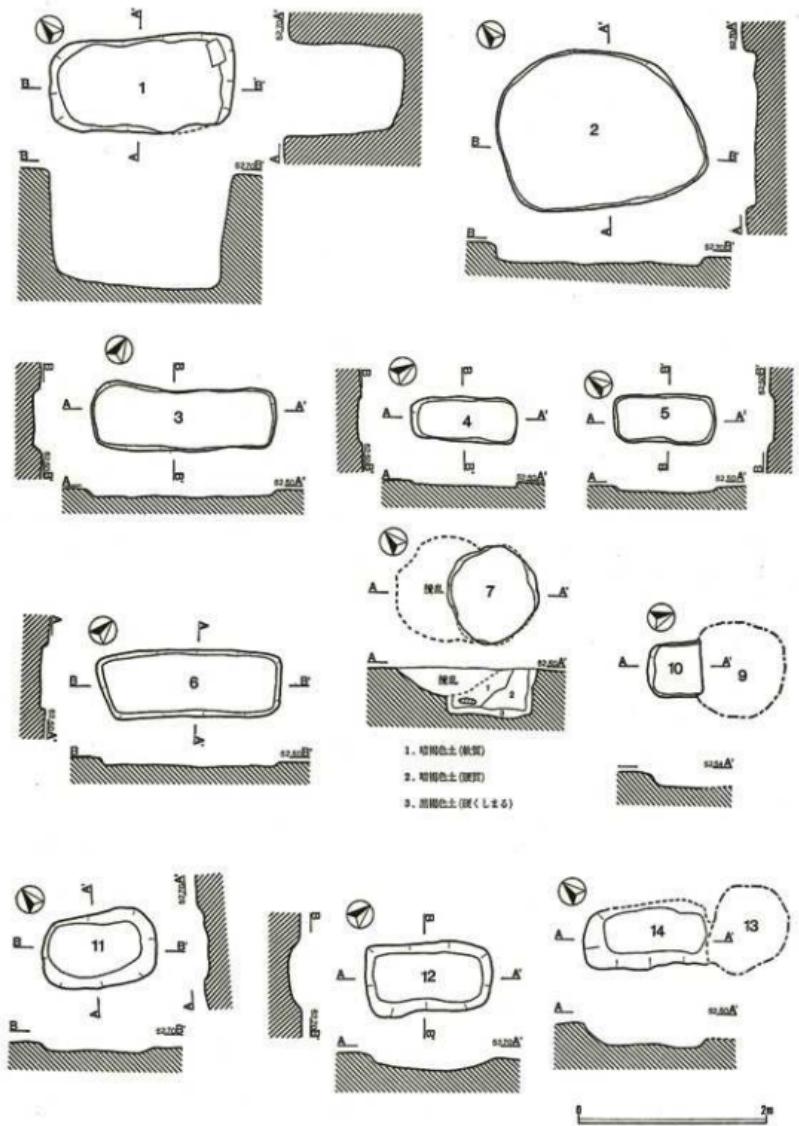
第114図 三ヶ尻林遺跡A区土壌全体図および断面図(6)



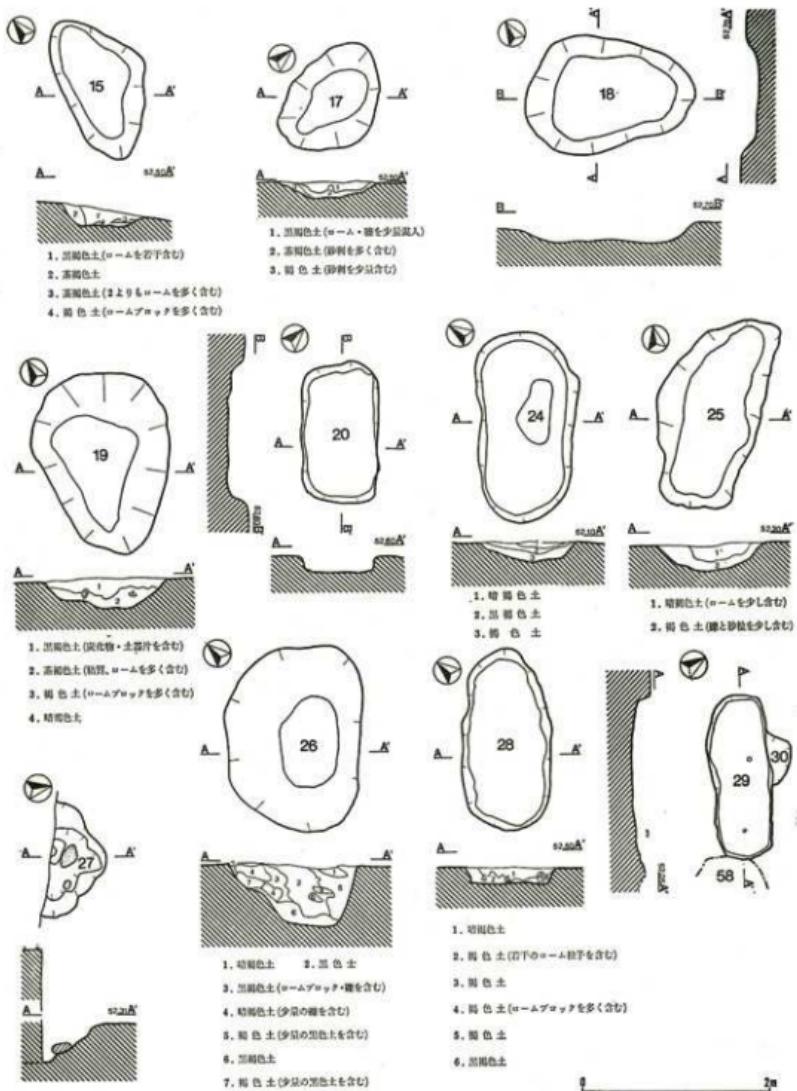
第115図 三ヶ尻林遺跡A区土壤全体図および断面図(7)



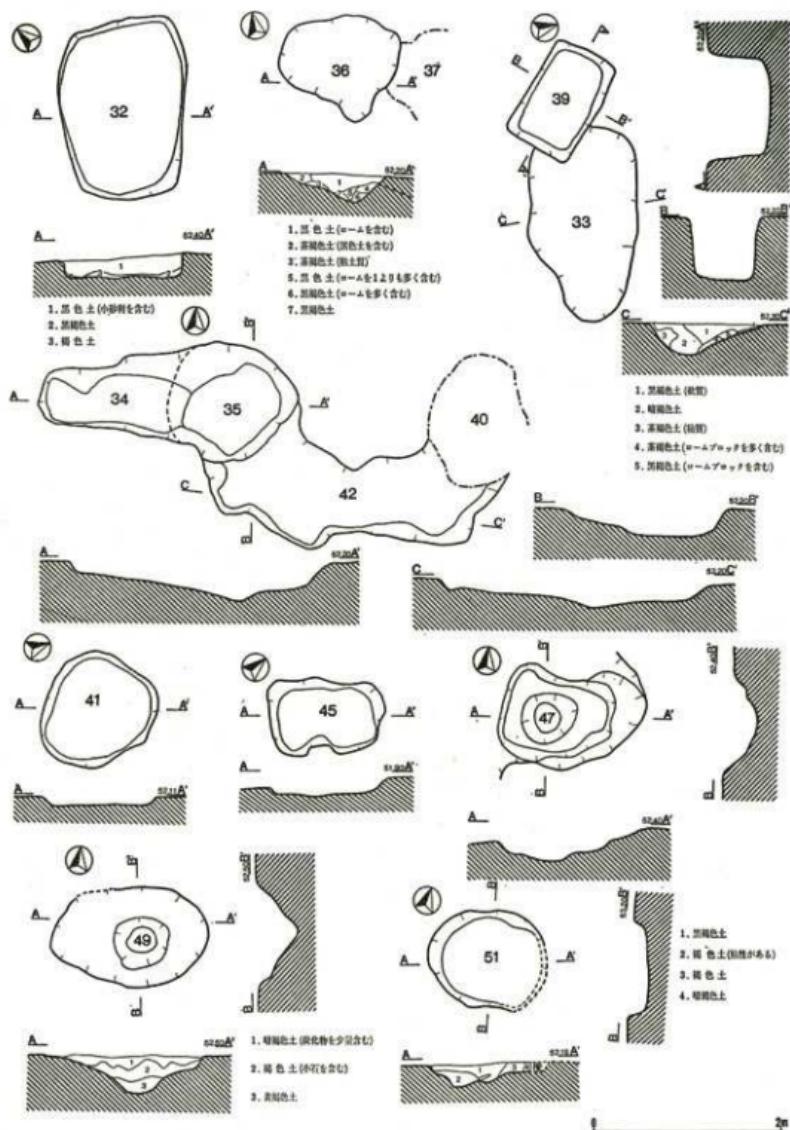
第116図 三ヶ尻林遺跡A・E区土壤全体図および断面図(8)



第117図 三ヶ尻林遺跡C区土壤全体図および断面図(1)



第118図 三ヶ尻林遺跡C区土壤全体図および断面図(2)



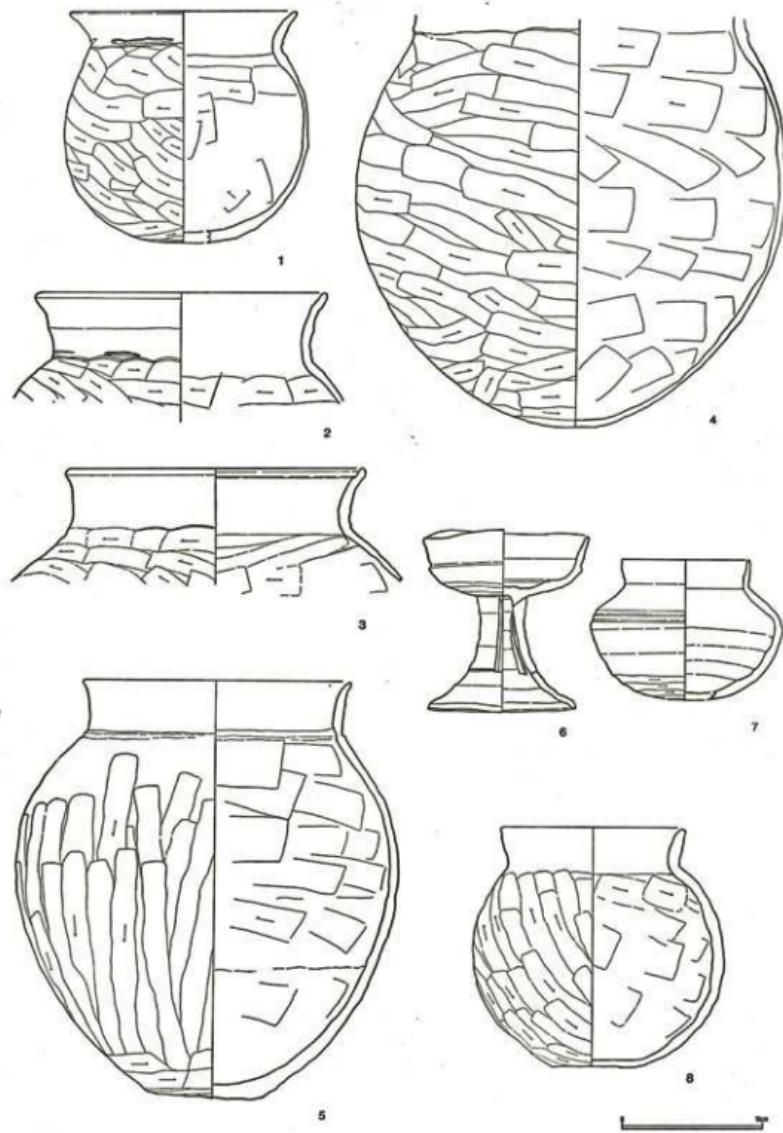
第119図 三ヶ尻林造跡C区土壤全体図および断面図(3)

第23表 三ヶ尻林遺跡の土壤計測表（縄文土壌を除く）

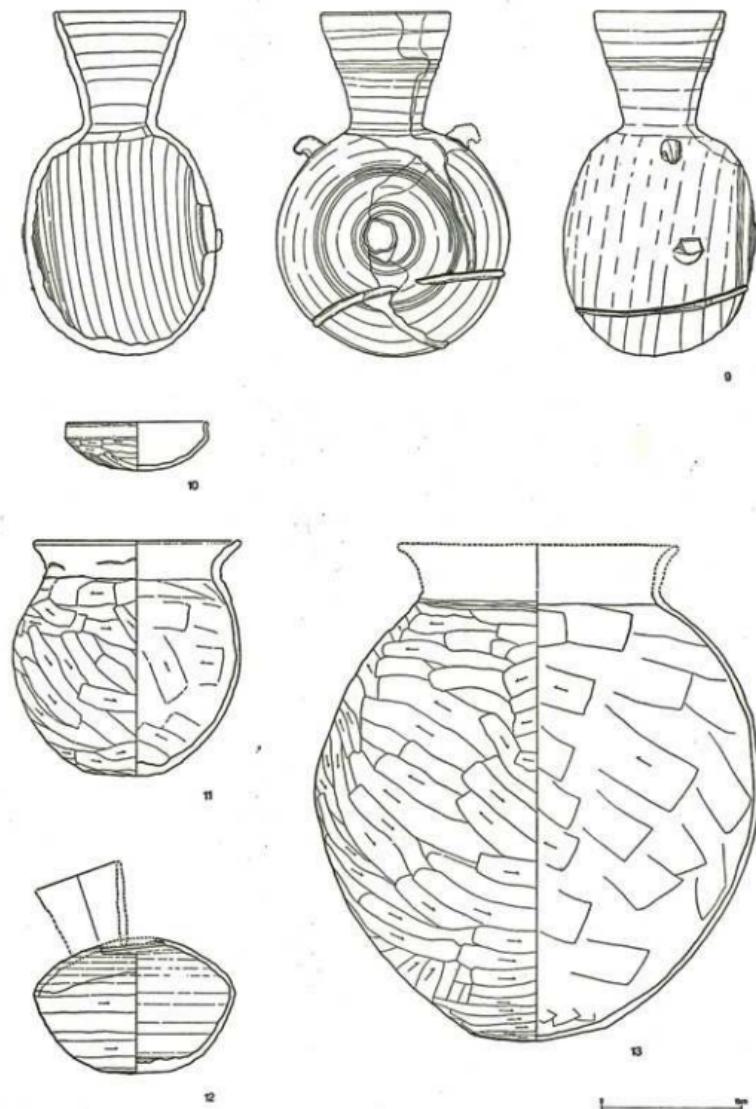
| 区 | 番号 | 平面形 | 長軸×短軸 | 深さ | 長軸方位 | 備 考 | 分類 |
|---|-----|---------|------------------------|------------------|---------|--------------------|-------|
| | 1 | 長方形 | 2.05×0.65 ^m | 30 ^{cm} | N-41°-E | | A 1-2 |
| | 2 | * | 2.38×1.05 | 50 | N-40°-E | 内傾壁、埴輪片、近世陶磁 器片 | A 1-1 |
| | 3 | 不整円形 | 1.2×0.89 | 30 | | | B 1-1 |
| | 4 | 橢円形 | 0.90×0.71 | 20 | | | B 2 |
| | 5 | 長方形 | 3.80×0.87 | 58 | N-83°-W | | A 1-1 |
| | 6 A | * | 2.97×0.68 | 50 | N-88°-W | | A 1-1 |
| | 6 B | * | 1.98×0.70 | 22 | N-38°-E | | A 1-1 |
| | 6 E | * | (1.5)×0.75 | 5 | N-77°-W | | A 1-2 |
| | 7 | 不整三角形 | 1.80×1.70 | 22 | | | A 4 |
| | 8 | 長方形 | 0.90×0.49 | 20 | N-38°-W | 角底、1号墳を切る | A 3 |
| | 9 | * | × | 35 | N-85°-E | 1号墳を切る | A 2 |
| | 10 | * | 4.62×0.98 | 28 | N-3°-E | 1号墳を切る | A 1-1 |
| | 11 | (欠) | | | | | |
| | 12 | 円 形 | 1.4 | 24 | | | B 1-1 |
| | 13 | 不整不定長方形 | 1.78×0.68 | 11 | N-7°-W | | A 4 |
| A | 14 | * | 2.05×0.40 | 38 | N-2°-E | | A 4 |
| | 15 | 長方形 | 1.55×1.10 | 67 | N-73°-E | | A 2 |
| | 16 | * | (5.35)×0.45 | 20 | N-23°-E | 舟底 | A 1-2 |
| | 17 | * | 4.12×1.0 | 35 | N-78°-W | 縄文土器片 | A 1-1 |
| | 18 | * | 2.65×0.80 | 20 | N-81°-W | | A 1-1 |
| | 19 | 不整長方形 | 1.62×0.78 | 22 | N-85°-W | 舟底 | A 1-2 |
| | 20 | 長方形 | 1.60×0.97 | 17 | N-86°-E | | A 1-2 |
| | 21 | 不整不定長方形 | 1.62×0.78 | 22 | N-22°-W | 舟底 | A 4 |
| | 22 | 長方形 | 3.3×0.9 | 6 | N-14°-E | | A 1-1 |
| | 23 | 不整不定長方形 | 2.75×0.70 | 15 | N-81°-E | | A 4 |
| | 24 | 長方形 | 1.86×0.78 | 23 | N-8°-W | | A 1-2 |
| | 25 | 不整不定長方形 | 1.25×0.95 | 40 | | | A 4 |
| | 26 | 長方形 | 1.50×0.97 | 10 | N-77°-E | | A 1-2 |
| | 27 | 長方形 | 1.72×0.80 | 50 | N-47°-E | 内傾壁 | A 1-1 |
| 区 | 28 | * | 1.81×0.78 | 35 | N-36°-E | | A 1-2 |
| | 29 | 不整長方形 | 1.65×1.00 | 25 | N-18°-E | | A 1-2 |
| | 30 | 長方形 | 2.18×1.17 | 50 | N-14°-E | 内傾壁 | A 1-1 |
| | 31 | * | (2.66)×0.95 | 35 | N-77°-E | 内傾壁 | A 1-1 |
| | 32 | * | 5.65×1.02 | 75 | N-16°-W | 内傾壁 | A 1-1 |
| | 33 | * | 1.29×0.77 | 20 | N-69°-W | | A 3 |
| | 34 | * | 4.80×1.35 | 50 | N-23°-E | 内傾壁 | A 1-1 |
| | 35 | * | 2.95×1.30 | 30 | N-25°-E | 内傾壁 | A 1-1 |
| | 36 | * | 2.93×0.76 | 65 | N-82°-W | | A 1-1 |
| | 37 | * | 1.95×0.85 | 60 | N-9°-E | 内傾壁 | A 1-1 |
| | 38 | * | 1.35×1.05 | 24 | N-82°-W | | A 2 |
| | 39 | * | 2.32×0.60 | 35 | N-89°-W | | A 1-2 |
| | 40 | * | 3.30×0.60 | 45 | N-5°-E | | A 1-2 |
| | 41 | * | 2.61×0.75 | 9 | N-16°-E | 内傾壁 | A 1-1 |
| | 42 | 不整長方形 | 1.10×0.88 | 11 | N-10°-W | | A 4 |
| | 43 | 長方形 | 3.18×0.60 | 25 | N-72°-W | | A 1-2 |
| | 44 | * | (1.55)×0.98 | 30 | N-5°-E | 舟底 | A 1-2 |

| 区 | 番号 | 平面形 | 長軸×短軸 | 深さ | 長軸方位 | 備考 | 分類 |
|--------|-----|---------|------------------------|------------------|---------|-------------------------|-------|
| A 区 | 45 | 長方形 | 5.40×0.70 ^m | 30 ^{cm} | N-73°-W | 縄文土器片 | A 1-2 |
| | 46 | " | 1.08×0.68 | 25 | N-30°-E | 2号墳を切る | A 3 |
| | 47 | 方 形 | 1.20×1.05 | 20 | N-86°-W | | A 4 |
| | 48 | 円 形 | 1.1×1.0 | 15 | | | B 1-1 |
| | 49 | " | 1.17×1.1 | 15 | | | B 1-1 |
| | 50 | 長方形 | 2.00×1.21 | 30 | N-84°-W | | A 2 |
| | 51 | " | (1.30)×0.89 | 5 | N-31°-E | | A 1-2 |
| | 52 | " | ×0.62 | 33 | N-78°-W | 1号墳穴を切る、土師器(杯)片 | A 1-1 |
| | 53 | " | (1.6)×0.82 | 38 | N-7°-E | 1号墳穴を切る、土師器(杯)片 | A 1-1 |
| | 54 | " | 5.15×0.85 | 40 | N-84°-W | 1号墳を切る | A 1-1 |
| B 区 | 55 | (欠) | | | | | |
| | 56 | (欠) | | | | | |
| | 57 | 長方形 | 1.05× | 20 | N-14°-E | | A 1-2 |
| | 58 | " | 1.44×0.69 | 10 | N-73°-W | | A 3 |
| | 59 | " | 1.35×1.12 | 15 | N-60°-W | | A 2 |
| | 60 | 不整長方形 | 1.45×0.88 | 10 | N-61°-W | 2号墳を切る | A 1-2 |
| | 61 | 長方形 | 2.34×0.84 | 20 | N-82°-W | | A 1-2 |
| | 62 | " | (1.5)×0.52 | 10 | N-11°-E | | A 1-2 |
| | 63 | (欠) | | | | | |
| | 64 | 長方形? | ×0.9 | 25 | N-65°-W | | A 1-2 |
| C 区 | B 1 | 長方形 | 1.55×0.68 | 25 | N-56°-E | | A 1-1 |
| | B 2 | " | 2.48×0.75 | 20 | N-54°-E | | A 1-1 |
| | 1 | 長方形 | 1.9×1.0 | 125 | N-52°-W | 2号土壙を切る、近世陶磁器片、鉄片、縄文土器片 | 近代墓壙 |
| | 2 | 不整円形 | 2.2×1.65 | 13 | | 1号土壙を切る、近代陶磁器片、瓦片、縄文土器片 | " |
| | 3 | 長方形 | 1.95×0.67 | 10 | N-56°-E | J 1住を切る | A 1-1 |
| | 4 | 長方形 | 1.13×0.5 | 5 | N-32°-E | | A 3 |
| | 5 | " | 1.08×0.5 | 6 | N-36°-W | 鉄片、土鍋片、縄文土器片 | A 3 |
| | 6 | " | 1.95×0.7 | 8 | N-44°-E | スリ鉢、灯明皿、カワラケ、縄文土器片 | A 1-1 |
| | 7 | 円 形 | 1.03×0.95 | 47 | | | 近代墓壙 |
| | 8 | 不整円形 | 0.7×0.55 | | | | B 3 |
| D 区 | 9 | (縄文土壤) | | | | | |
| | 10 | 長方形? | ? × 0.59 | 14 | N-15°-E | 9号土壙を切る | ? |
| | 11 | 不整不定長方形 | 1.25×0.8 | 7 | N-63°-W | 近代陶磁器、鉄塊、カワラケ、縄文土器片 | A 1-2 |
| | 12 | 長方形 | 1.35×0.72 | 15 | N-37°-E | | A 3 |
| | 13 | (縄文土壤) | | | | | |
| | 14 | 不整長方形 | (1.30)×0.65 | 26 | N-50°-W | 13号土壙を切る、土鍋片、鉢 | A 1-2 |
| | 15 | 不整長方形 | 1.6×0.9 | 15 | | 舟底、縄文土器片 | A 4 |
| | 16 | (縄文土壤) | | | | | |
| | 17 | 不整梢円形 | 1.3×0.95 | 20 | | 舟底、縄文土器片、縄文土壙? | B 3 |
| | 18 | " | 1.8×1.28 | 15 | | 縄文土器片、縄文土壙? | B 3 |
| | 19 | " | 2.0×1.5 | 32 | | 舟底 | A 3 |

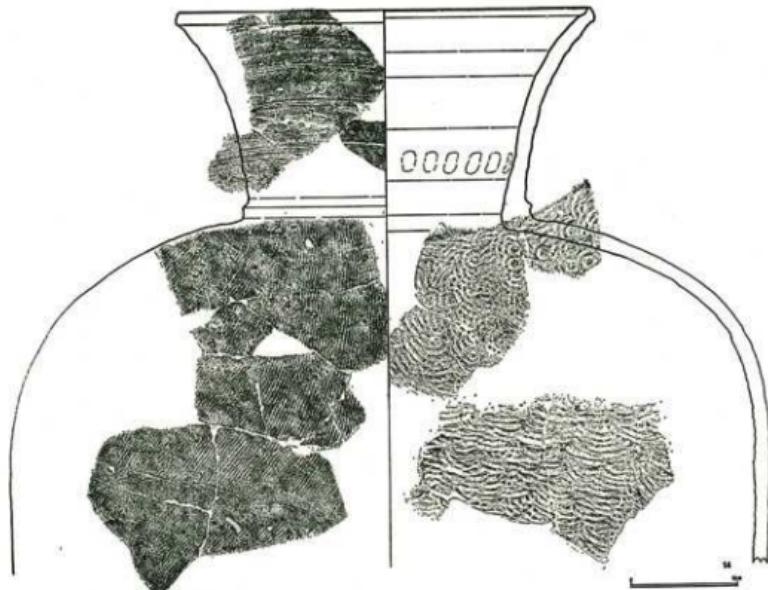
| 区 | 番号 | 平面形 | 長軸×短軸 | 深さ | 長軸方位 | 備考 | 分類 |
|---|------|---------|-------------|------------------|---------|-----------------------|-------|
| | 20 | 長方形 | 1.5×0.8 m | 18 ^{cm} | N—40°—W | 縄文土器片 | |
| | 21 | (縄文土壙) | | | | | |
| | 22 | (") | | | | | |
| | 23 | (") | | | | | |
| | 24 | 不整不定長方形 | 2.3×1.0 | 25 | | 舟底、陶磁器片、縄文土器片 | A 4 |
| | 25 | (縄文土壙) | | | | | |
| | 26 | 不整不定長方形 | 1.95×1.43 | 66 | | 縄文土器片、倒木痕? | B 3 |
| | 27 | 不整精円形 | 1.25×? | 47 | | 舟底、1号溝に切られる、疊、縄文土器片 | B 3 |
| | 28-1 | 不整長方形 | 1.95×0.93 | 18 | N—45°—E | 縄文土器片 | B 3 |
| | 28 | (縄文土壙) | | | | | |
| | 29 | 不整長方形 | 1.75×0.6 | 25 | N—57°—W | 縄文土器片 | A 1—2 |
| | 30 | ? | ? | 18 | | 舟底、小ピット、29号土壙に切られる | ? |
| C | 31 | (縄文土壙) | | | | | |
| | 32 | 不整長方形 | 0.95×0.65 | 10 | N—44°—E | 木炭、縄文土器片 | A 1—2 |
| | 33 | 不整精円形 | 2.07×1.15 | 33 | | 39号土壙に切られる | B—3 |
| | 34 | 不整長方形 | (1.6)×0.65 | 20 | N—90°—W | | A 1—2 |
| | 35 | 不整不定円形 | (1.0)×1.25 | 42 | | | B 1—2 |
| | 36 | " | 1.25×1.1 | 30 | | 37号土壙を切る、縄文土器片 | B 3 |
| | 37 | (縄文土壙) | | | | | |
| | 38 | (") | | | | | |
| | 39 | 長方形 | 1.2×0.75 | 65 | N—44°—W | 33号土壙を切る、陶磁器片、瓦、縄文土器片 | A 3 |
| | 40 | (縄文土壙) | | | | | |
| | 41 | 不整円形 | | | | | B 1—2 |
| | 42 | 不定形 | | 25 | | | A 4 |
| | 43 | (縄文土壙) | 1.79×(1.05) | 15 | | | |
| | 44 | (") | | | | | |
| | 45 | 不整長方形 | 1.25×0.8 | 17 | N—42°—E | | A 4 |
| | 46 | 不整精円形 | 1.35×0.85 | 不明 | | 縄文土器片 | B 3 |
| | 47 | 不整不定方形 | 1.50×0.97 | 35 | | 舟底、縄文土器片 | B 3 |
| | 48 | (縄文土壙) | | | | | |
| | 49 | 不整精円形 | 1.65×1.05 | 40 | | 舟底、縄文土器片 | B 3 |
| | 50 | (縄文土壙) | | | | | |
| | 51 | 不整円形 | (1.0)×1.12 | 20 | | | B 1—2 |
| | 52 | (縄文土壙) | | | | | |
| | 53 | (") | | | | | |
| | 54 | (") | | | | | |
| | 55 | (") | | | | | |
| | 56 | (") | | | | | |
| | 57 | (") | | | | | |
| E | 1 | 長方形 | 1.55×1.0 | 35 | N—65°—W | 土師器片、縄文土器片 | A 1—2 |
| 区 | 2 | " | (1.0)×1.0 | 10 | N—37°—E | | A 1—2 |



第120図 三ヶ尻林遺跡古墳出土土器(1)



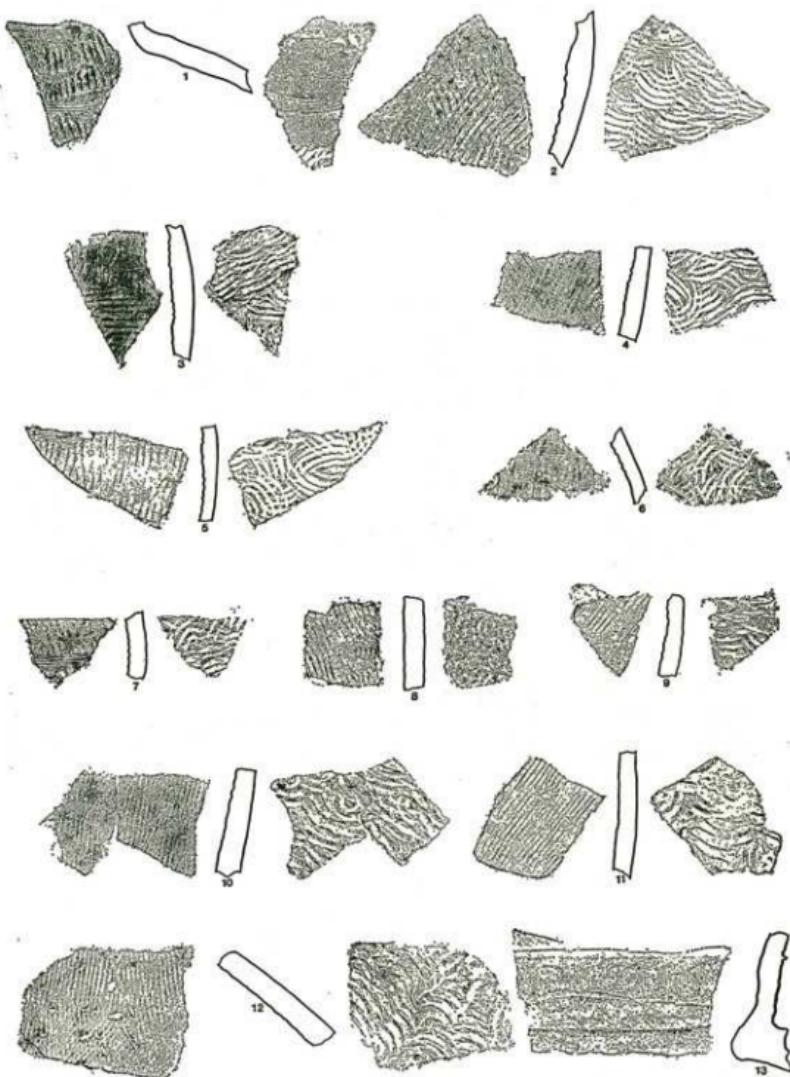
第121図 三ヶ尻林遺跡古墳・堅穴造構出土土器(2)



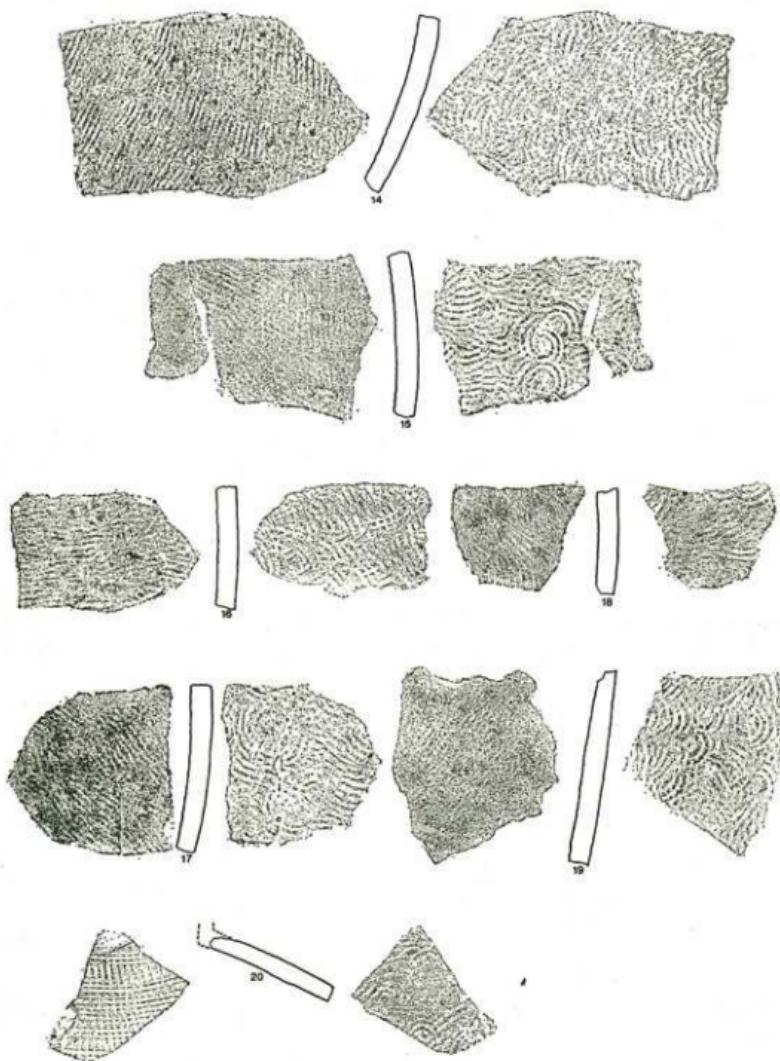
第122図 三ヶ尻林遺跡古墳出土土器(3)

第24表 三ヶ尻林遺跡1号墳出土土器観察表（第120図）

| 番号 | 器種 | 大きさ(cm) | 形態の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|----|----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| 1 | 鉢 | 口径16.2cm 胴径17.4cm 器高16.4cm | 口縁部はゆるく外反して立ち、口唇部は細まるが、丸い上上げ。頸部はゆるく「く」の字に屈曲して、胴部へ移行。胴部は張り出しある。底部との境は明瞭でなく、底部やや丸いが、平底風。底部との境は明瞭でなく、底部やや丸いが、平底風。 | 口縁部～頸部内外面ヨコナデ（左回転）。胴部内面横位斜位ヘラナデ丁寧。同外面横位・斜位ヘラケズリ。底面ヘラケズリ無方向。 | 胎土細。角閃石・長石細粒砂多量に含む。淡橙褐色。焼成良。完存率50%。周溝出土。 |
| 2 | 甕 | 口径20.8cm | 口縁部は長く、外反して立ち、口唇部は内湾気味につまみ上げられ、丸い。口縁部中位にゆるい段をもつ。頸部はゆるく「く」の字に屈曲し、ヘラ痕の連続により、小さい段となる。胴部は大きく張り出す丸胴。 | 口縁部～頸部内外面ヨコナデ（左回転）、やや強め。胴部内面横位ヘラナデ平滑。同外面横位・斜位ヘラケズリ。 | 胎土細。角閃石細粒砂多量、石英細粒砂若干含む。淡橙褐色。焼成良。口縁部のみ1/4残存。前庭部出土。 |
| 3 | 甕 | 口径21.4cm | 口縁部やや外反気味に直立し、口唇部はさらに外反して、外側に面をもつ。内側に | 口縁部～頸部内外面ヨコナデ（左回転）。胴部内面横位ヘラナデ。同外面横位ヘラ | 胎土細。角閃石・長石・石灰質粒等の細粒砂多量に含む。淡橙褐色。焼成良。完 |



第123図 三ヶ尻林遺跡出土須恵器拓影図(1)



第124図 三ヶ尻林遺跡出土須恵器拓影図(2)

| 番号 | 器種 | 大きさ(cm) | 形態の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|----|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4 | 甕 | 口径30.6cm | 幅広の沈線一周。頸部はゆるく「く」の字に屈曲し、大きく張り丸い胴部に移行。口縁部を欠く。頸部はヘラ痕による段をもつて、ゆるく屈曲して、胴部へ移行。胴部は丸く張り出し、急速につぼまり、削り出し、丸底の底部に移行。 | ケズリ。 口縁部～頸部内外面ヨコナデか？ 脇部内面横位・斜位ヘラナデ丁寧。同外面横位・斜位ヘラケズリ。 | 存率12%。周溝出土。 胎土細、わずかにザラつく。チャート質粒・石灰質粒・長石等の細粒砂多量、角閃石・石英細粒砂もやや多く含む。淡橙褐色、焼成良。完存率80%。周溝出土。 |

第25表 三ヶ尻林遺跡3号墳出土土器観察表(第120図)

| 番号 | 器種 | 大きさ(cm) | 形態の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|----|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 5 | 甕 | 口径19.1cm 胴径27.2cm 器高29.6cm | 口縁部やや外傾気味に直立し、口唇部外反し、丸い仕上げ。頸部はゆるく「く」の字に屈曲し、ゆるい段をもつて胴部へ移行。胴部は大きく張り出し丸い。底部は削り出しの平底。 | 口縁部～頸部内外面ヨコナデ(左回転)。胴部内面横位ヘラナデ。同外面上半縱位ヘラケズリ後ナデ、下半縱位ヘラケズリ、下端横位ヘラケズリ。底面ヘラケズリ無方向。 | 胎土細。角閃石・石英細粒砂・長石・石灰質粒・チャート質粒・赤褐色粒の小石を多量に含む。橙褐色。焼成良。完形。 |

第26表 三ヶ尻林遺跡4号墳出土土器観察表(第120~122図)

| 番号 | 器種 | 大きさ(cm) | 形態の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|----------------|------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 6 | 須恵器 壺 底坏 | 口径11.8cm 底径 10.45cm 器高12.9cm | 坏部・脚部とも歪みあり。口縁部外傾して立ち、口唇部はややとがる。坏体部との境に稜があり。坏体部はやや丸い。脚部はまっすぐ立って接合され、やや長脚で一段三方透し。孔は三角形に切られる。裾部に向って大きくラッパ状に開き、端部はゆるく内側に折り曲げられ、とがる。 | 坏部内面・口縁部内外面・坏部外面上半ロクロナデ(ロクロ右回転)。坏体部下半回転ヘラケズリ。脚部内外面ロクロナデ(逆位ならばロクロ右回転)。透し孔はヘラで切断、やや傷が残り、不揃い。 | 胎土緻密。鉄分粒含み、環元で黒色粒となる。灰白褐色。焼成堅緻。完存率80%。N _a 103。 |
| 7 | 須恵器 短甕 | 口径 9.1cm 胴径13.6cm 器高 9.9cm | 口縁部やや外傾気味に直立し、口唇部は内窓気味で、とがる。頸部は「く」の字に屈曲し、やや張り出す肩部に移行。肩部にはゆるい沈線2条。胴部はゆるくつぼまり、丸底を呈する。 | 粘土紐巻き上げ後、ロクロ整形(ロクロ右回転)。底部外面回転ヘラケズリ(逆位でロクロ左回転?)。 | 胎土緻密。黒灰色。焼成堅緻。完存率80%。N _a 103。 |
| 9 | 須恵器 瓶 | 口径 9.2cm 胴径16.6cm 器高24.4cm | 口縁部はややラッパ状に開き、口唇部はつまみ出され、直立する。口縁部中位に2条の沈線あり。頸部はゆるく屈曲して胴部に接合される。胴部は偏球形で、肩部 | 口縁部ロクロナデ(ロクロ右回転)。胴部もロクロナデ(ロクロ右回転)後、中位に回転ヘラケズリ(ロクロ右回転)。接合部内面はヘラケズリで調整。 | 胎土緻密。長石・チャート質粒の小石を少量、鉄分粒も少量含まれる。灰褐色。口縁部の半面と肩部から胴部にかけて、自然釉がかかり、褐色がかかった深緑色に発 |

| 番号 | 器種 | 大きさ(cm) | 形態の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|-------|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 14 | 須恵器大甕 | 口径39.3cm 胴径71.3cm | に鉤状突起あり、片側はとれています。胴部のつぶれた方向には両側に2本の沈線の輪が同心円状に、二重に施される。 口縁部やや外反して立つ。口唇部はつまみ出され、外側に丸味のある面を作り、上下に肥厚する。口縁部には幅2cm程の櫛描波状文があり、それぞれの間に沈線を施す。頸部はややゆるい補強帯がまわり、強く「く」の字に屈曲する。胴部はなで肩で上半部に最大径もつ。下半部を失するが急速につぼまり、丸底を呈するであろう。 | 口縁部～頸部内外面ロクロナデ(ロクロ右回転)。一部に叩き目の痕跡残存。内面にヘラケズリ状の痕跡残存。胴部平行叩き目。原体は1cm当たり4本。最大径の部分に一部ヘラケズリ。内面同心円当て道具痕、やや深く明顯。 | 色焼成堅緻。完存率90%。No.1。 |

第27表 三ヶ尻林遺跡7号墳出土土器観察表(第120図)

| 番号 | 器種 | 大きさ(cm) | 形態の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|----|---------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 8 | 鉢 | 口径13.2cm 胴径17.85cm 器高17cm | 厚手の作り。口縁部外傾気味に直立し、口唇部は細るが、やや丸い。頸部はゆるく「く」の字形状に屈曲。胴部は丸く、やや張り出し、平底の底部へ移行。木葉痕を底部に残す。 | 口縁部～頸部内外面ヨコナデ(左回転)。胴部内面斜位ヘラナデ丁寧。同外面縦位斜位ヘラケズリ。 | 胎土やや細。長石・石灰・チャート質粒の小石を多量に、角閃石細粒砂を少量含む。橙褐色。焼成良。完存率50%。周溝出土。 |

第28表 三ヶ尻林遺跡1号墳穴道構出土土器観察表(第121図)

| 番号 | 器種 | 大きさ(cm) | 形態の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|------|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 10 | 壺 | 口径10cm 器高3.4cm | 小振りの器形。口縁部やや内傾気味に直立し、口唇部は外につまみ出され、丸い。体部との境は稜あり。体・底部丸く、やや深い。 | 口縁部内外面ヨコナデ(左回転)。体・底部内面ヘラナデ丁寧。同外面ヘラケズリ。 | 胎土細。角閃石・石英・チャート質粒の中～細粒砂多量に含む。淡橙褐色。焼成良。完存率85%。No.2。 |
| 11 | 鉢 | 口径14.8cm 胴径16.2cm 器高16.2cm | 口縁部外反して立ち、口唇部はつまみ出され、内側に肥厚気味で丸い。頸部は湾曲し、胴部との境はヘラケズリの段があり、上位にもヘラ痕目立つ。胴部はやや張り丸い。底部との境はやや曖昧で、底部は平底風。 | 口縁部～頸部内外面ヨコナデ(左回転)、強め。胴部内面横位・斜位ヘラナデ。同外面上位・下端横位ヘラケズリ。中・下位斜位ヘラケズリ。 | 胎土細、ややザラつく。角閃石・石英・チャート質粒の細粒砂多。橙褐色。焼成良。完存率75%。No.2。 |
| 12 | 須恵器平 | 胴径14.3cm | 口縁部・頸部丸く。天井部はやや丸く、肩部は張り、 | 胴部内面・天井部～肩部外側ロクロナデ(ロクロ右回転) | 胎土緻密。鉄分粒やや目立つ。青灰褐色。肩部に自然 |

| 番号 | 器種 | 大きさ(cm) | 形態の特徴 | 手法の特徴 | 備考 |
|----|----|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 13 | 甕 | 31.65cm | ゆるく屈曲して、ややつぼまりながら底部に移行。底部は平底風でやや丸い。 口縁部を欠く。器高は35cmに達する大型甕。頸部は浅い2条の沈線を有し、ゆるく屈曲して、胴部へ移行。胴部は大きく張り、卵形を呈する。底部との境は不明瞭で、やや丸い底部平底風。 | 転か?肩部~底面外面回転ヘラケズリ(逆位ならクロ左回転)。 口縁部~頸部ヨコナデ(左回転)。胴部内面斜位ヘラナデ丁寧。外面上位・下端横位・斜位ヘラケズリ。中位斜位ヘラケズリ。 | 釉かかり、一部海綿状。釉は深緑色に発色。焼成堅緻。完存率30%。上層出土。 胎土細。長石・チャート質粒・石灰質粒の小石多量、石英細粒砂やや多く含む。淡橙褐色。焼成良。完存率50%。上層出土。No.1・3・4。 |

三ヶ尻林遺跡出土須恵器(第123・124図)

三ヶ尻林遺跡出土の須恵器は総量は三ヶ尻天王遺跡より多く実測図に示した以外に50点以上の破片があった。第123・124図には20点の拓影を示した。1~8は4号壙、9~11は5号壙、13~18は7号壙、19は8号壙、12・20は表土の出土品である。1・13・20は口縁部・頸部・胴部上端の破片である。1は浅い平行叩き目の上をナデて、5本単位のカキ目もある。内面は同心円当て道具痕が施された後、頸部付近に工具のナデがあり、青海波文が消失している。13は11本単位の簡描波状文を口縁下端に施し、その上に断面三角形の鋭い小さな突包をもち、頸部にも断面のしっかりした補強帶が張りつけられる。内面は頸部付近まで同心円当て道具痕が残りナデが入って不明瞭である。20は浅い平行叩き目の上を木口状工具で、執拗に調整して、内面の当て道具痕もナデ消されていく。2~5は焼成・胎土・色調・調整手法の類似から同一個体の可能性がある。2と4は周堀の出土例。条の間隔の広い平行叩き目とやや深い同心円当て道具痕(径6cm程度)を特徴とする。6・7は8本単位のカキ目を施すが、ごく浅い平行叩き目が残り内面の当て道具痕は2~5に類似する。8も平行叩き目がやや浅く残るが8本2.5cmを単位とするようである。9~12は2~5の一組にくらべ整美な平行叩き目が施される。色調や調整の特徴は4号壙出土の大甕(第120図14)に類似する。内面の当て道具痕は間隔が粗く、径6cm程度で、木質の征目もやや顯著に見える。10・11は壙丘、9は周堀覆土から出土した。14~19も胎土・焼成・調整などが類似し、14・16・17は叩き目がやや明瞭で描っている。当て道具痕はやはり径6cm程だが4・5号壙にくらべ整っていて彫りが浅い。15・18・19は表面がナデられ、外面重視の整形の志向性を持つ。

胎土・色調・焼成については、まず2~5が外面赤褐色・内面青黒灰色で、長石・石灰質粒の小石を若干含む。1・6・7は内外面青黒灰色で、石灰質粒・長石の細粒砂や小石をやや多く含み、よく焼けている。9~12は内外面灰白色でチャート質の小石を若干含む。14・16・17・19は外面青灰褐色・内面青灰色でチャート質・石灰質の小石を多く含む。15・18・19は外面青黒灰色、内面青灰色で長石・石灰質粒の小石を少量含む。13は外面青黒色・内面青灰色で、長石・チャート質粒の小石を多量に含む。1は外面青黒色・内面青灰色、20は外面青灰褐色、内面青灰色でそれぞれチャート質粒・長石等の小石を多く含む。また15と18は外面が微妙に海綿状に変質している。総じて叩き目がきれいに施され、天王遺跡のものより、やや古相を示すように思われるが、完形土器の時期を考察すれば6世紀末葉ぐらいの年代が考えられるが、現状では再検討が必要である。